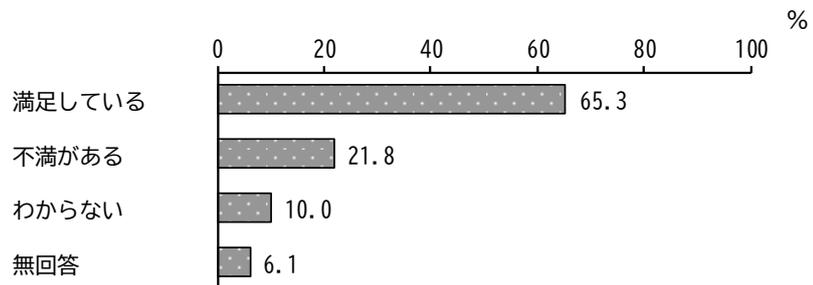


問 15-1 問 15 で「利用している」と答えた方におうかがいします。現在利用しているサービスに満足されていますか。(〇はいくつでも) その利用サービス名を問 15 の「就労移行支援」～「就労定着支援」で () 内に〇をつけてください。

「満足している」の割合が 65.3%、「不満がある」の割合が 21.8%となっています。

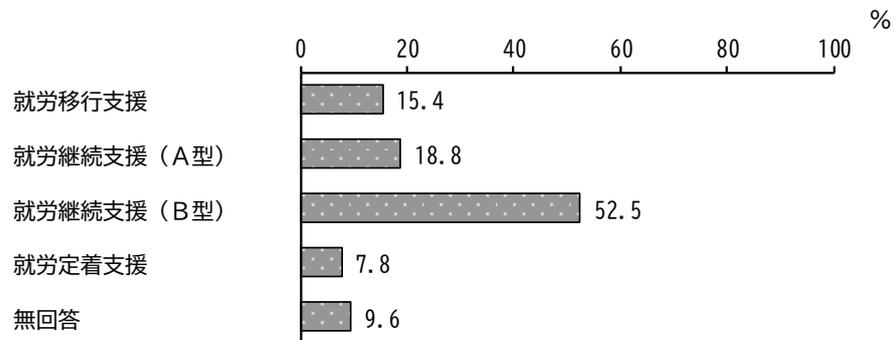
回答者数 = 528



満足している利用サービス名

「就労継続支援(B型)」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」の割合が 18.8%、「就労移行支援」の割合が 15.4%となっています。

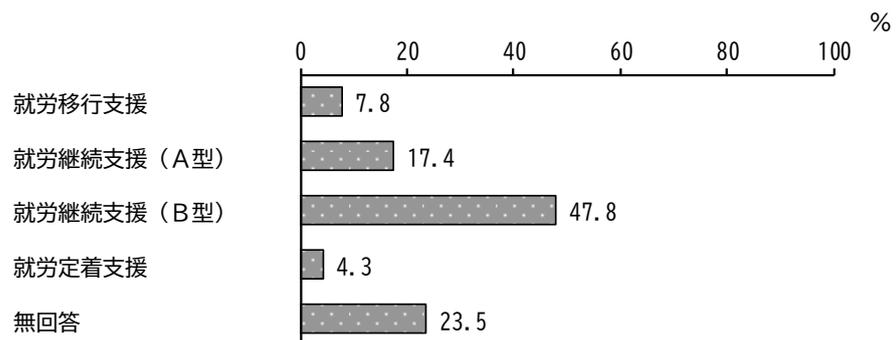
回答者数 = 345



不満がある利用サービス名

「就労継続支援(B型)」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」の割合が 17.4%となっています。

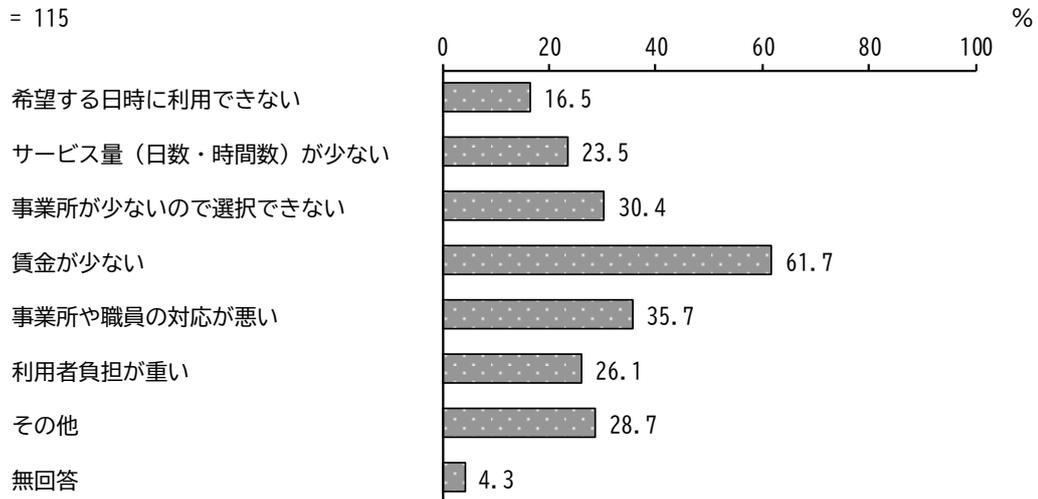
回答者数 = 115



問 15-2 問 15-1 で「不満がある」と答えた方の不満の内容は、どのようなことでしょうか。(○はいくつでも) その利用サービス名を問 15 の「就労移行支援」～「就労定着支援」で () 内に○をつけてください。

「賃金が少ない」の割合が 61.7% と最も高く、次いで「事業所や職員の対応が悪い」の割合が 35.7%、「事業所が少ないので選択できない」の割合が 30.4% となっています。

回答者数 = 115



その他の記載内容は次のとおりです。

就労移行支援

区 分	記載内容
精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受けたい訓練が受けられない。 ・ A I に仕事をうばわれて給与がさがった。 ・ 就労先企業とのトラブル時の仲介について権限も対応も不十分。(発達障がい, 医療的ケア者)

就労継続支援 (A型)

区 分	記載内容
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人に合っているかわからない ・ 利用者に怖い人がいる。(発達障がい, 医療的ケア者)
精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人に適したきめ細やかな訓練を実施していない。経験出来る仕事は、限られ新たなチャレンジはあまり無い。 ・ 作業内容が辛い。 ・ 支援員の対応は良いが、サービス管理責任者と、事業所を取り仕切るトップの対応が信用できない。(医療的ケア者) ・ 事業所の不正。会社が、A型事業所とその子会社の役員が理事を務める子会社に一般就労し、半年以上続いた場合に出される「就労移行支援体制加算」を不正受給していたニュースがありましたが、ある事業所は、施設外として扱っていることも、ある組合も一般就労加算を受け取っていたり明らかに不正が行なわれていると思われる。(発達障がい, 医療的ケア者)

就労継続支援（B型）

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・事業所名がよく変わり不安である。（医療的ケア者）
	肢体不自由	・工賃が安すぎる。
知的障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・平日の強制参加がある。ヘルパー代を取られる。 ・在宅で仕事できない。（発達障がい，医療的ケア者） ・探るのが大変でした、仕方ない。 ・突然契約解除を言われた。（発達障がい，医療的ケア者） ・保護者との関係性があまり良好ではない。 ・ほかのりょうしゃとのやりとりが負担。
精神障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・遠い、駐車場代金がかかる。 ・作業内容に在宅やPC関連が少ない。 ・仕事の種類が少なく選べない。（医療的ケア者） ・能力に合わない。 ・ステップアップできるか不安。学習を積極的に行いたい。（発達障がい，医療的ケア者） ・事業所の職員も精神の手帳持っており、通所時にしんどい・・・と話しをきかされている。

就労定着支援

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・月8日しか休日がない。
知的障がい		・ボーナス有りなしが。（高次脳機能障がい，医療的ケア者）
精神障がい		・主治医の許可がある。（発達障がい，医療的ケア者）

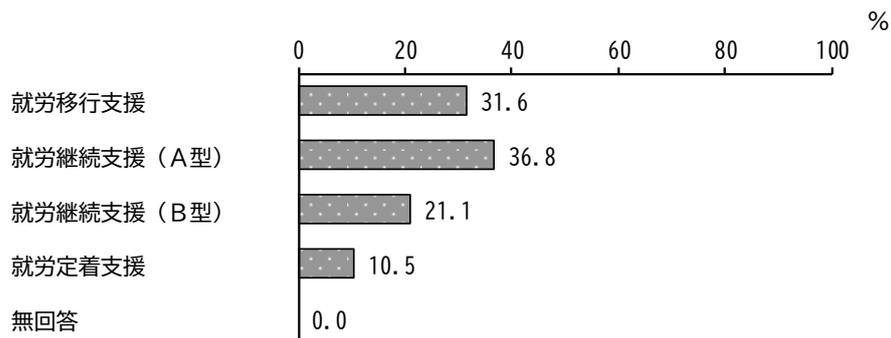
サービス未回答

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所、事業のシステムに問題あります。以前に（市役所に）TELしましたが、車に乗って施設外に行って作業しなくても、施設外をもらっている人がいます。もう6年以上も前からやってます。違反ではないですか。調査してもらったのでしょうか。 ・とくになし（医療的ケア者）
知的障がい		・空調環境が悪い。
精神障がい		・プライバシーを守って下さい！！バカにした言葉使いはやめろ！！（医療的ケア者）

希望する日時に利用できない利用サービス名

「就労継続支援（A型）」の割合が36.8%と最も高く、次いで「就労移行支援」の割合が31.6%、「就労継続支援（B型）」の割合が21.1%となっています。

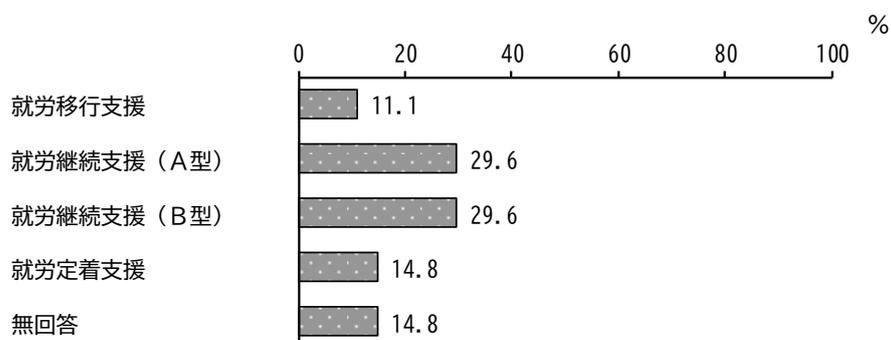
回答者数 = 19



サービス量（日数・時間数）が少ない利用サービス名

「就労継続支援（A型）」、「就労継続支援（B型）」の割合が29.6%と最も高く、次いで「就労定着支援」の割合が14.8%となっています。

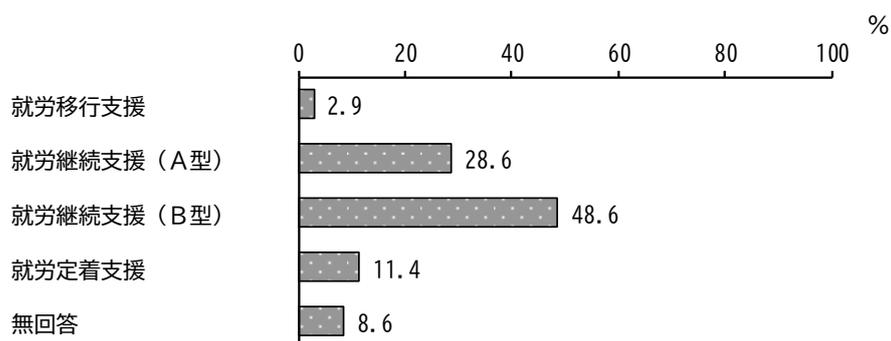
回答者数 = 27



事業所が少ないので選択できない利用サービス名

「就労継続支援（B型）」の割合が48.6%と最も高く、次いで「就労継続支援（A型）」の割合が28.6%、「就労定着支援」の割合が11.4%となっています。

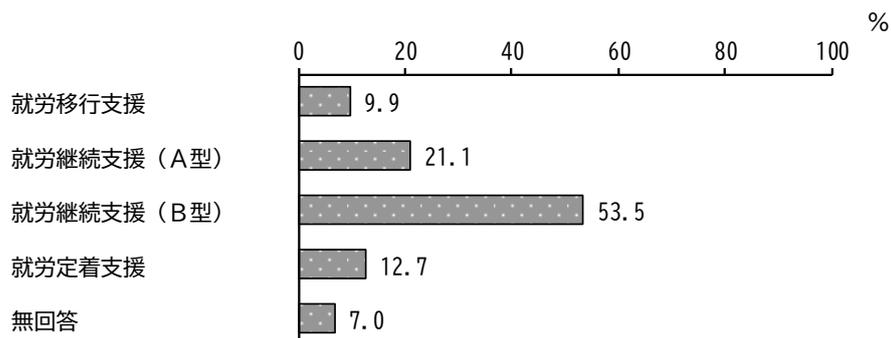
回答者数 = 35



賃金が少ない利用サービス名

「就労継続支援(B型)」の割合が53.5%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」の割合が21.1%、「就労定着支援」の割合が12.7%となっています。

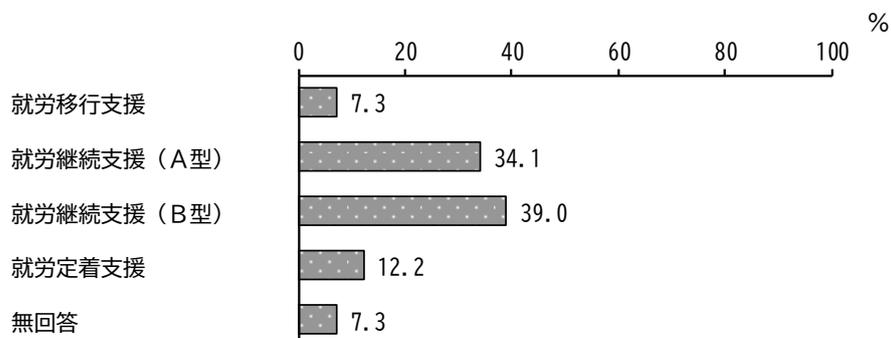
回答者数 = 71



事業所や職員の対応が悪い利用サービス名

「就労継続支援(B型)」の割合が39.0%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」の割合が34.1%、「就労定着支援」の割合が12.2%となっています。

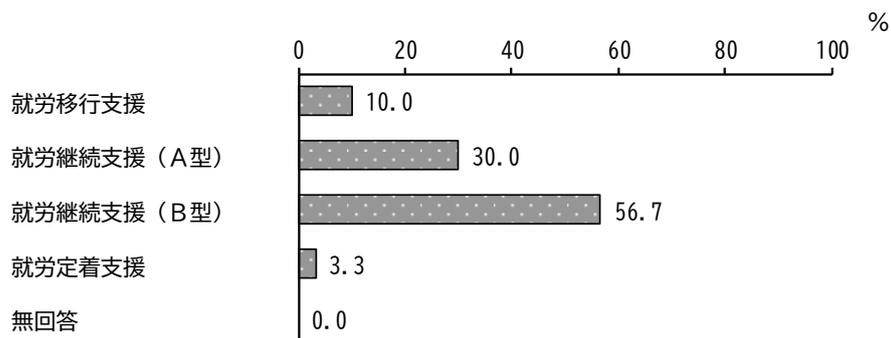
回答者数 = 41



利用者負担が重い利用サービス名

「就労継続支援(B型)」の割合が56.7%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」の割合が30.0%、「就労移行支援」の割合が10.0%となっています。

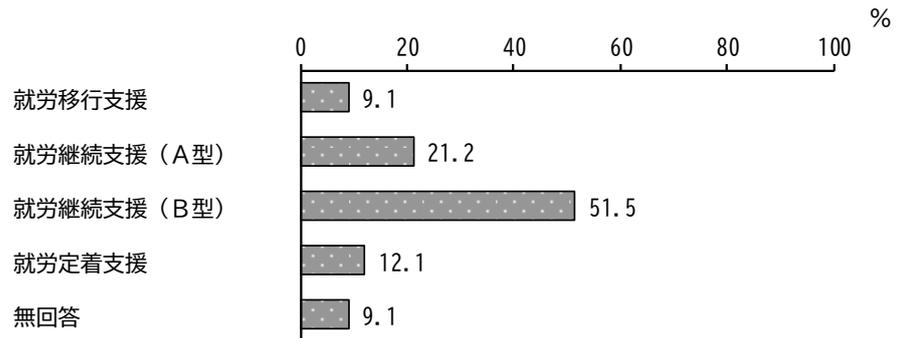
回答者数 = 30



その他の不満がある利用サービス名

「就労継続支援(B型)」の割合が51.5%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」の割合が21.2%、「就労定着支援」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 33

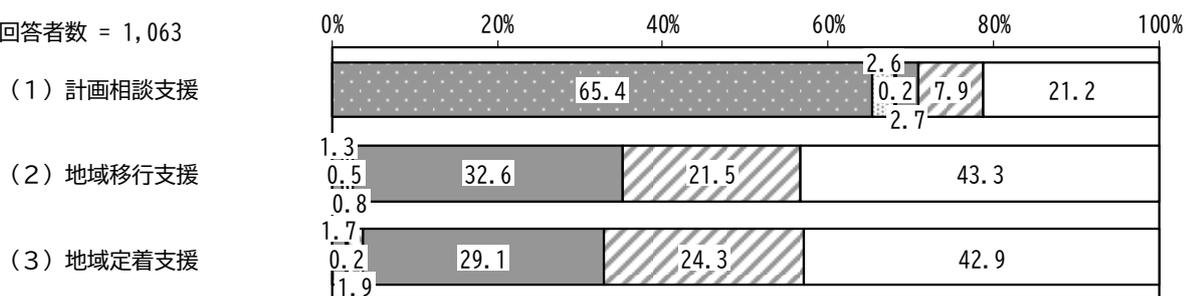


問16 次の(1)～(3)の相談支援のすべての項目について、「利用している」～「わからない」のあてはまる番号を記入してください。

『(1) 計画相談支援』で「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」が、『(3) 地域定着支援』で「利用したことはない」「わからない」が、今後3年以内に利用したい」が、『(2) 地域移行支援』で「利用したことはなく、今後も利用しない」が高くなっています。

- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▨ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- わからない
- 無回答

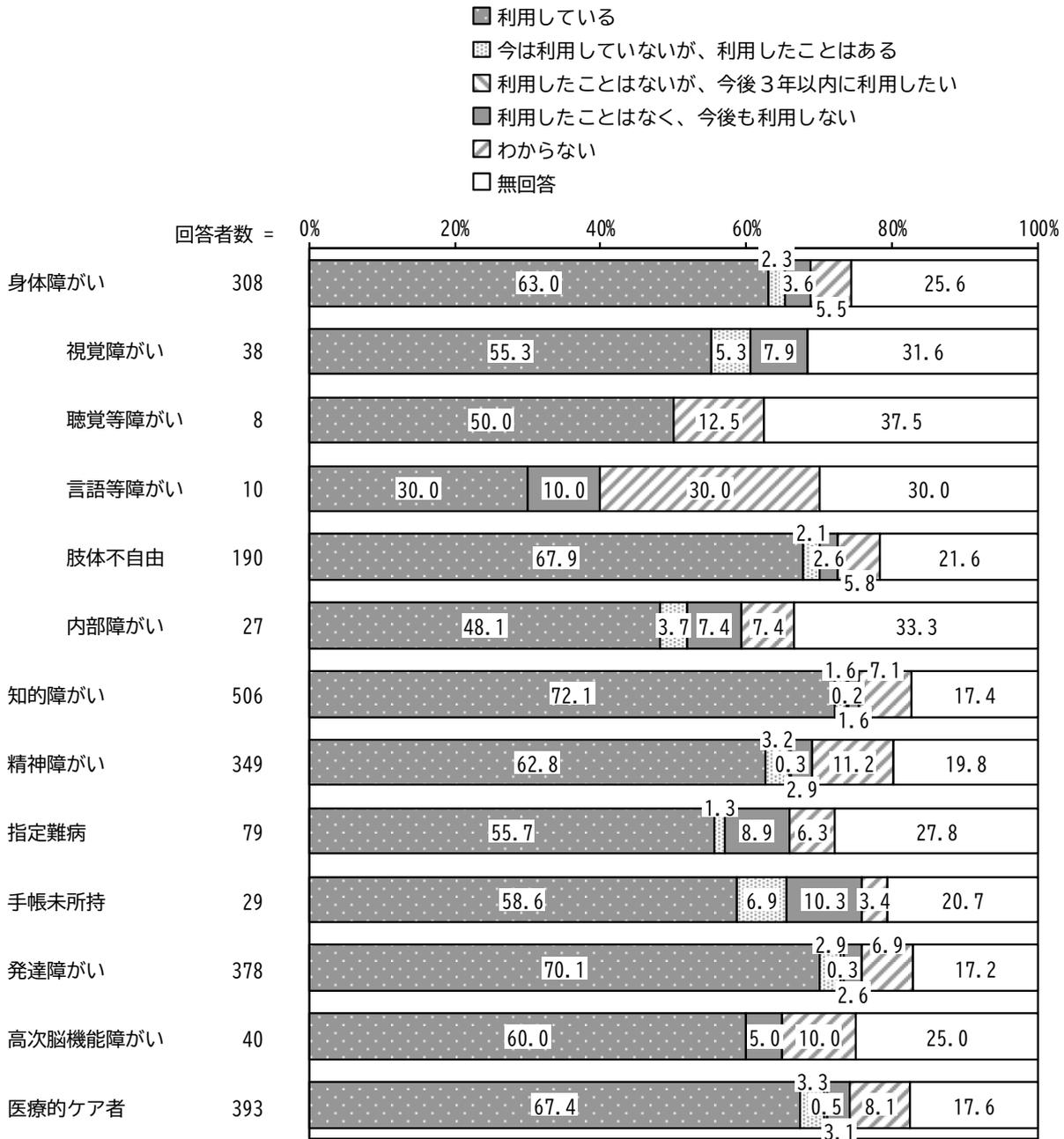
回答者数 = 1,063



(1) 障害福祉サービス利用者に対するサービスなど利用計画の作成とサービスなどの利用状況の検証を行う計画相談支援

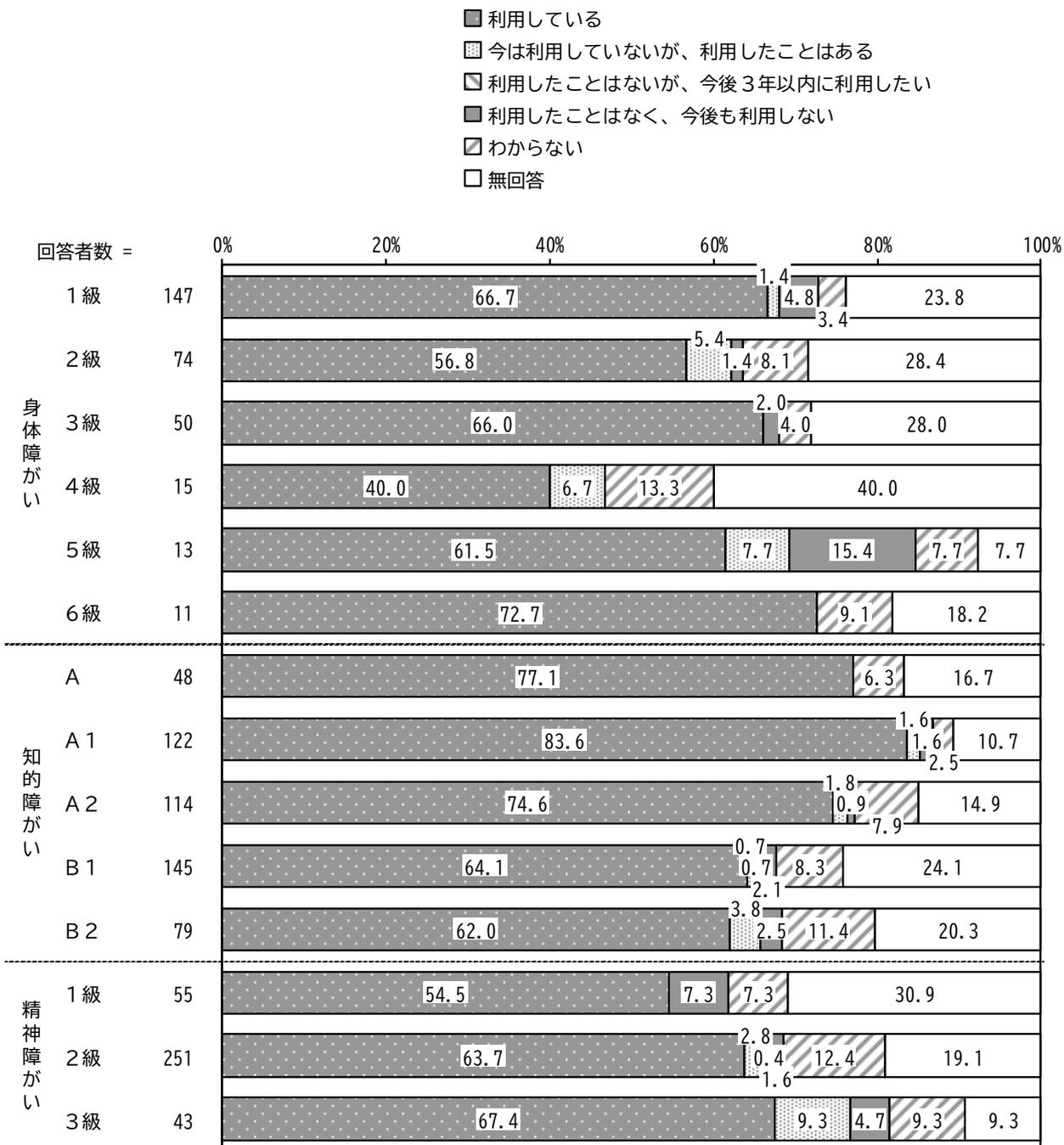
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて知的障がい、「利用している」、視覚障がい、言語等障がい、指定難病、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



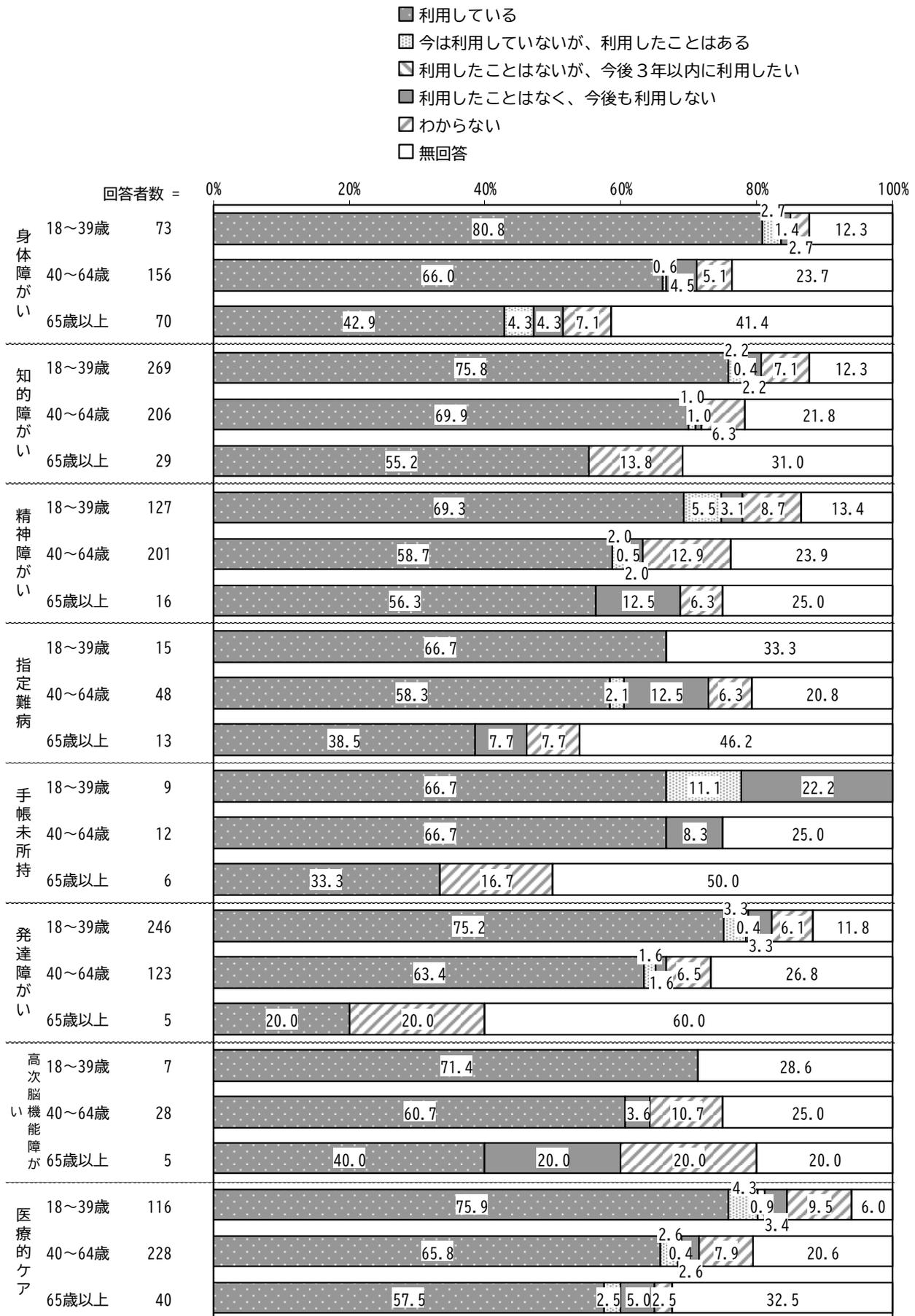
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳A1で「利用している」、身体障害者手帳5級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

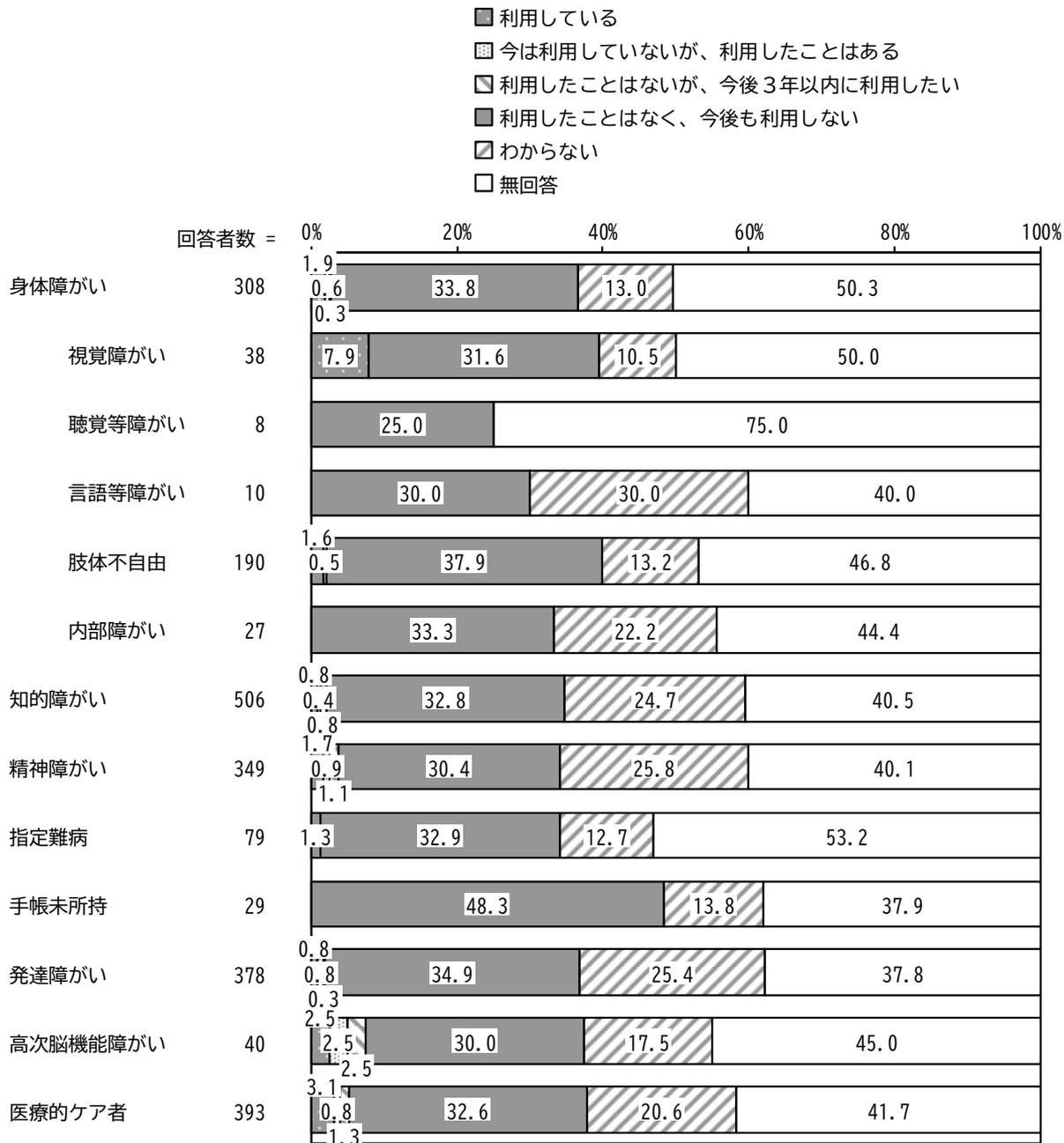
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の18～39歳で「利用している」の割合が高くなっています。



(2) 施設に入所している人や入院している精神に障がいのある人などの地域生活への移行を支援する地域移行支援

【障がい種別】

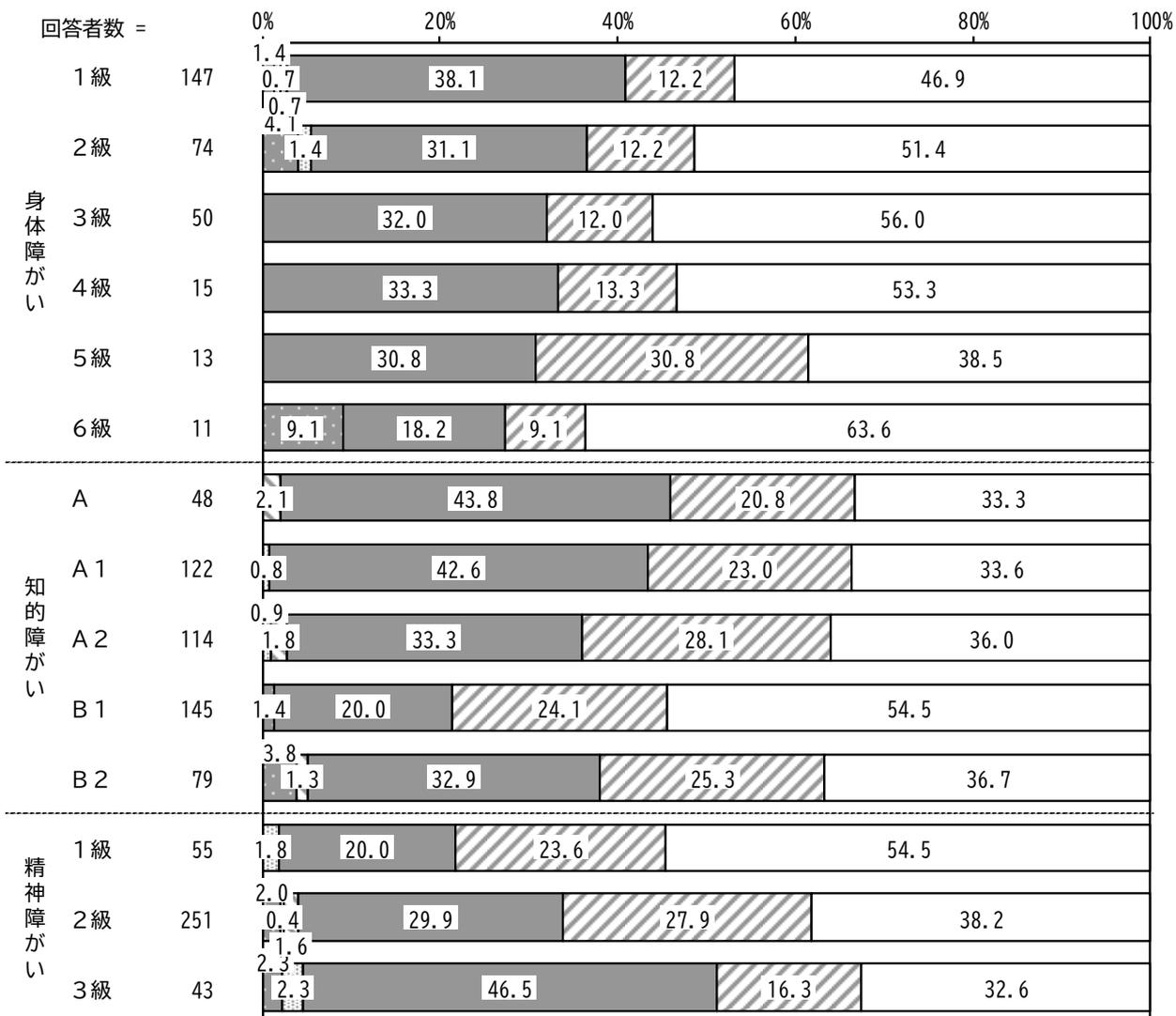
障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳6級で「利用している」、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳3級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

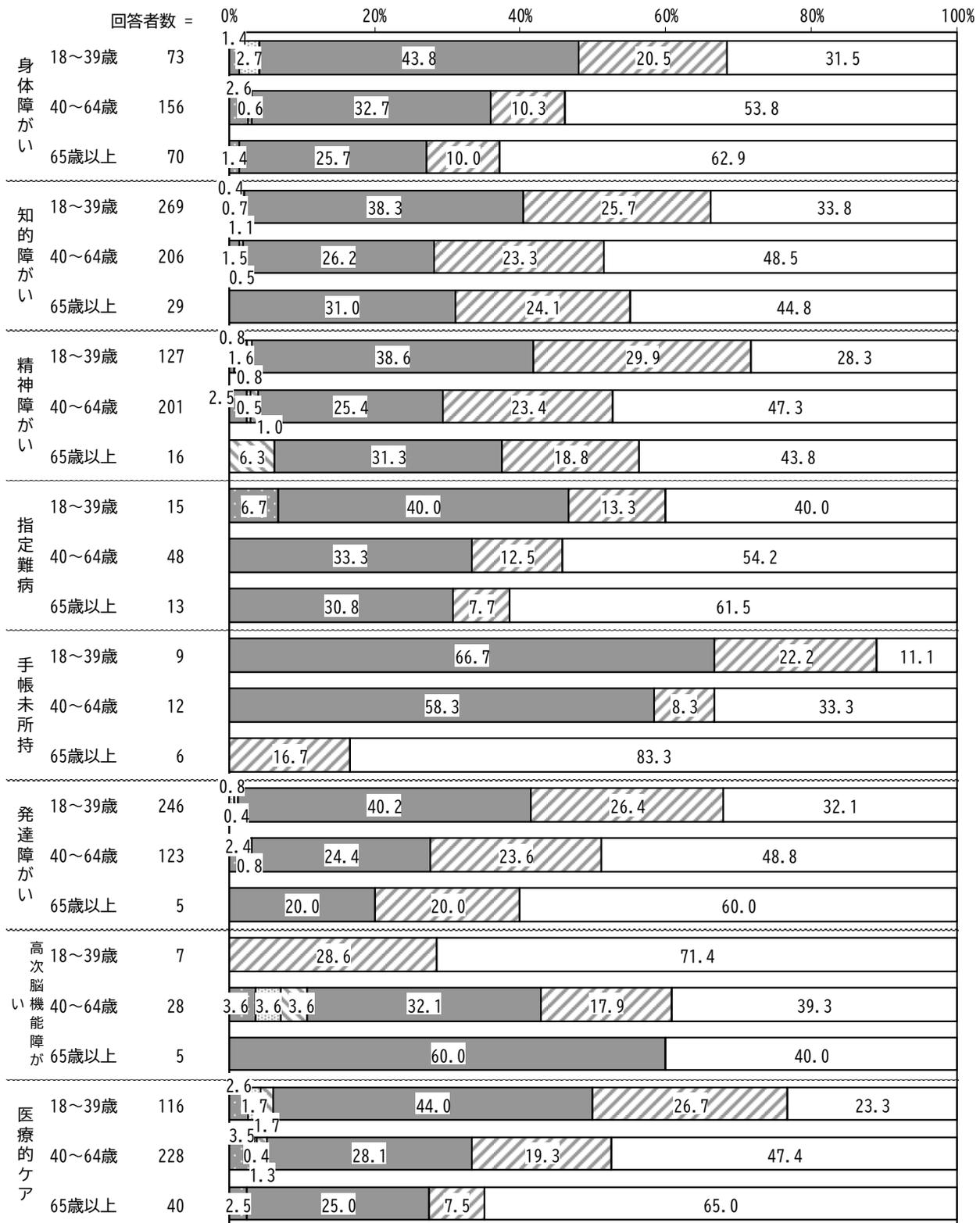
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて手帳未所持者の40～64歳で「利用したことはなく、今後もしも利用しない」の割合が高くなっています。

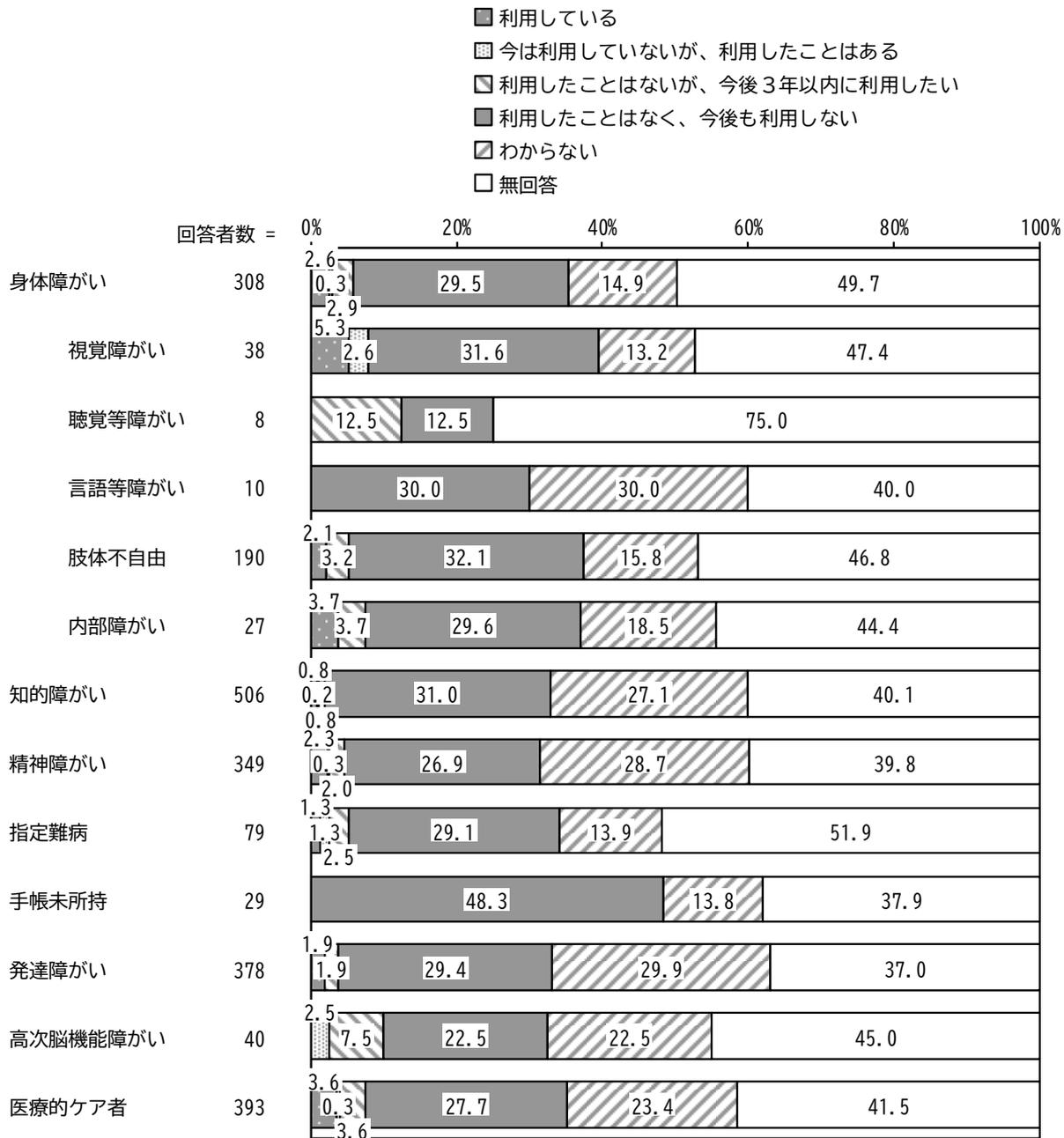
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



(3) 自宅でひとり暮らしをしている障がいのある人などが夜間も含む緊急時における連絡、相談などの支援を受ける地域定着支援

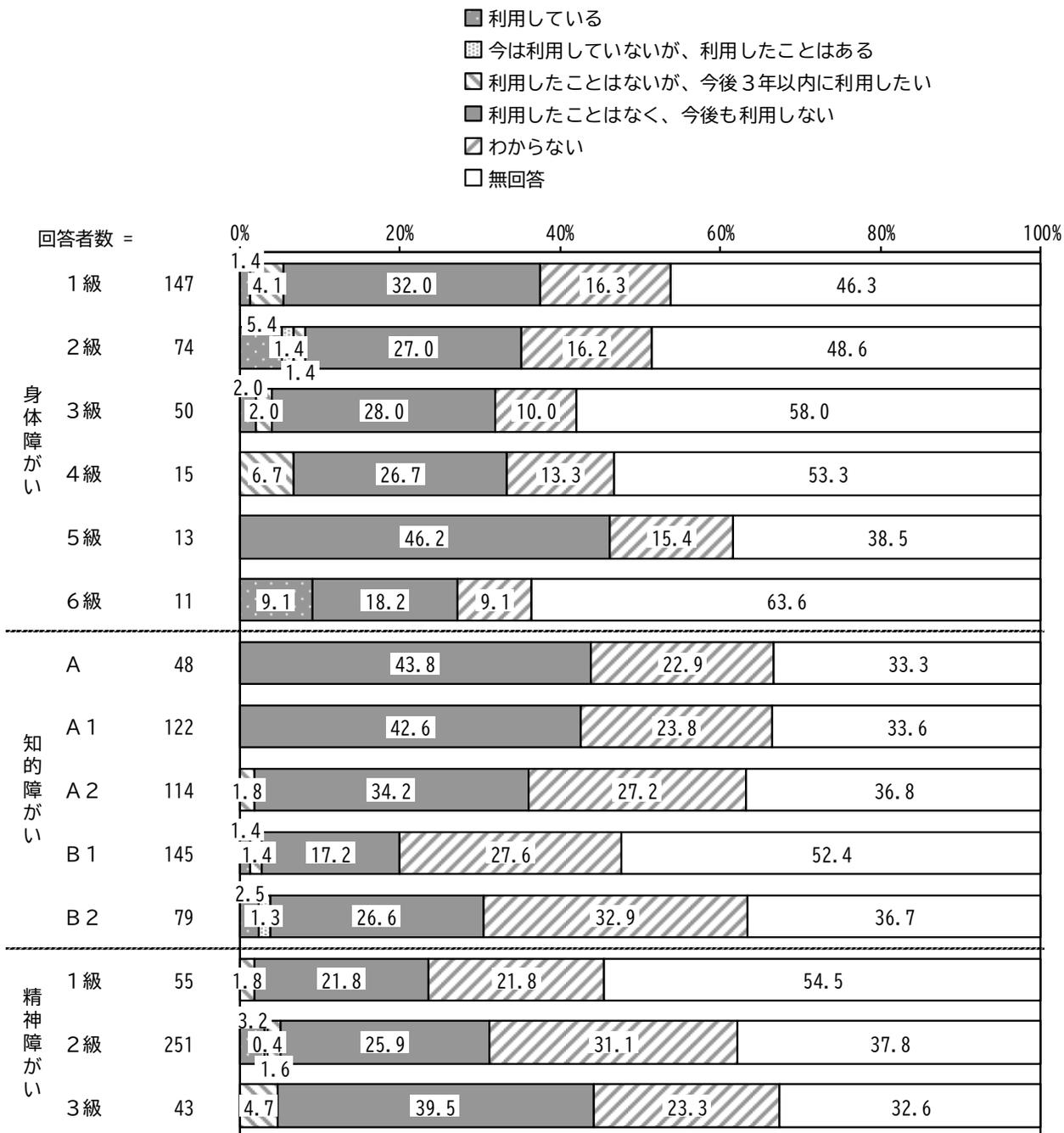
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて高次脳機能障がいで「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

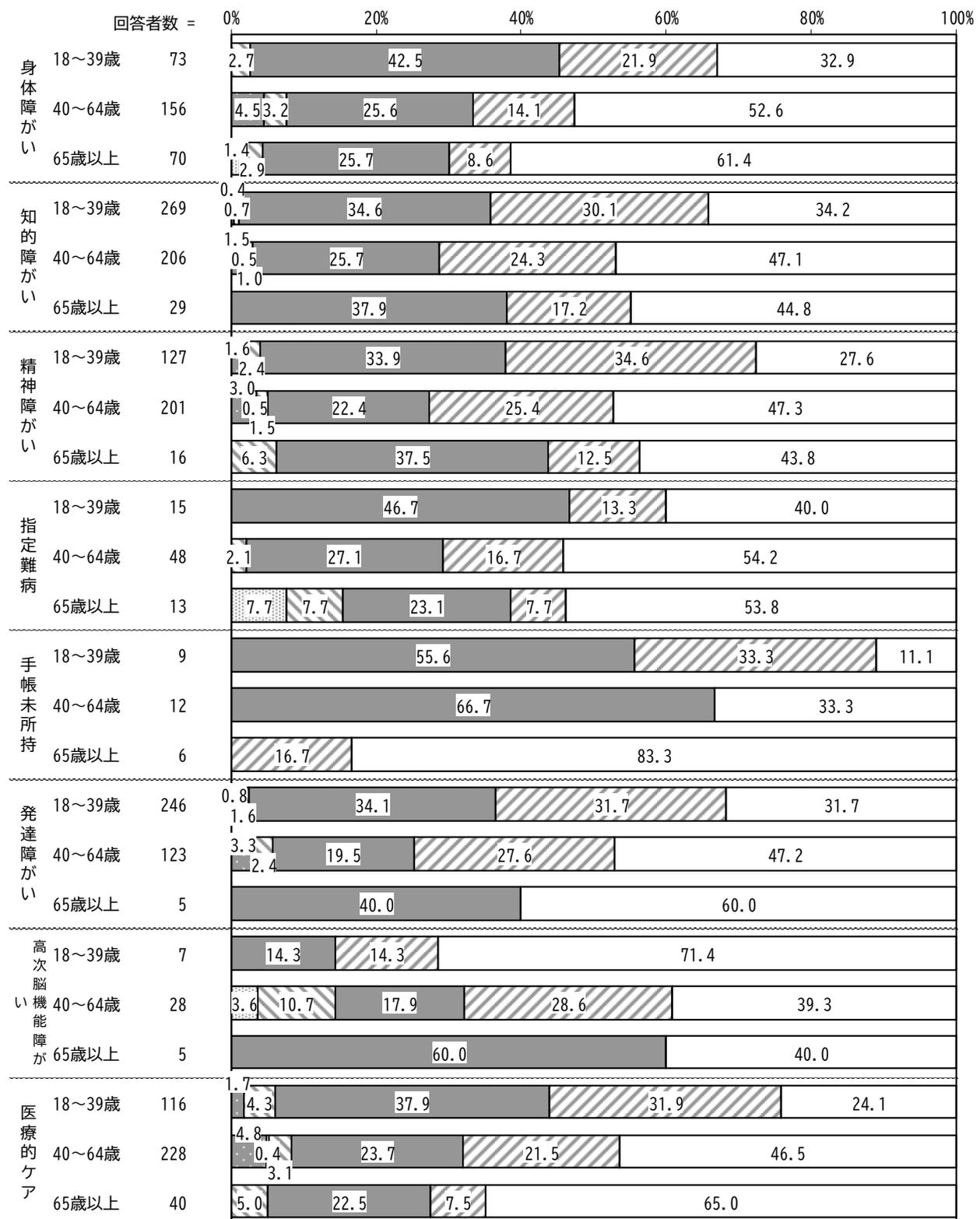
手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳6級で「利用している」、身体障害者手帳5級、療育手帳Aで「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて手帳未所持者の40～64歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

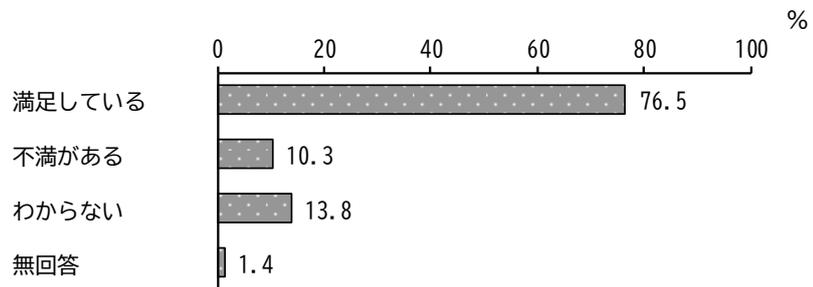
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



問16-1 問16で「利用している」と答えた方におうかがいします。現在利用している相談支援に満足されていますか。(○は1つ) その利用サービス名を問16の「計画相談支援」～「地域定着支援」で()内に○をつけてください。

「満足している」の割合が76.5%、「不満がある」の割合が10.3%となっています。

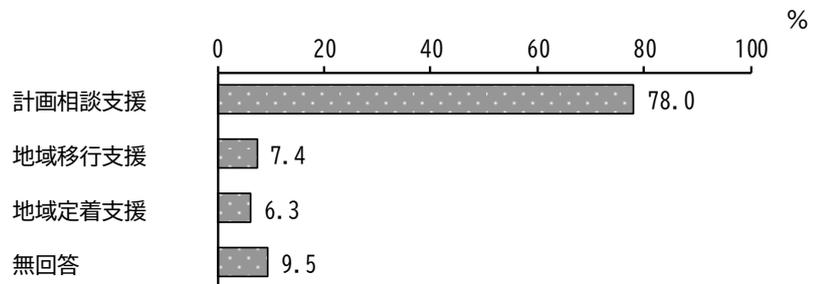
回答者数 = 702



満足している利用サービス名

「計画相談支援」の割合が78.0%、「地域移行支援」の割合が7.4%、「地域定着支援」の割合が6.3%となっています。

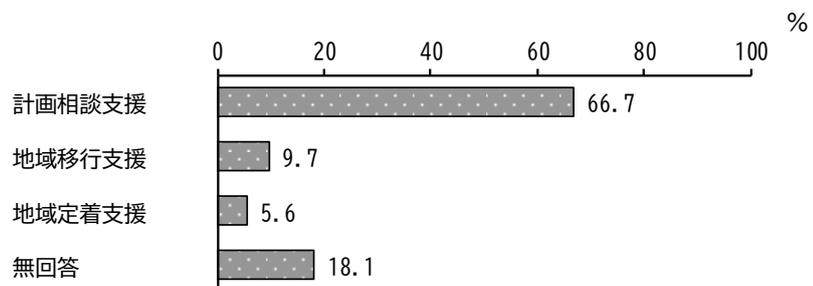
回答者数 = 537



不満がある利用サービス名

「計画相談支援」の割合が66.7%、「地域移行支援」の割合が9.7%、「地域定着支援」の割合が5.6%となっています。

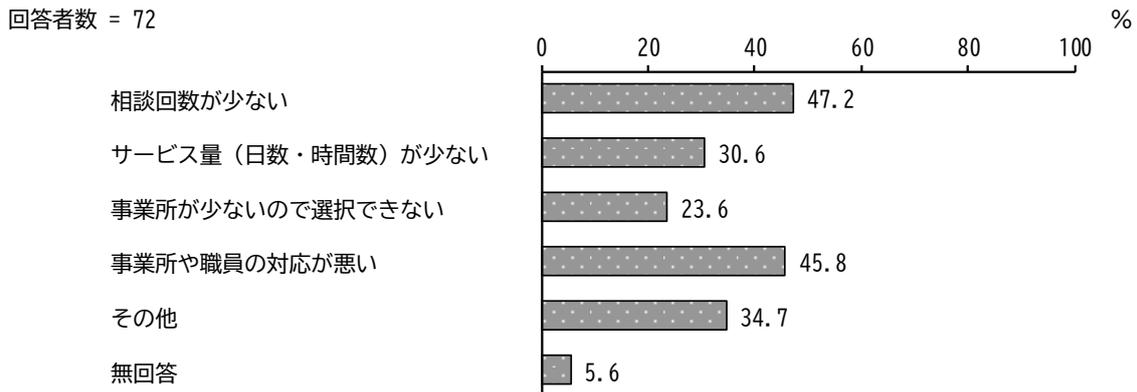
回答者数 = 72



問16-2 問16-1で「不満がある」と答えた方の不満の内容は、どのようなことでしょうか。(○はいくつでも) その利用サービス名を問16の「計画相談支援」～「地域定着支援」で()内に○をつけてください。

「相談回数が少ない」の割合が47.2%と最も高く、次いで「事業所や職員の対応が悪い」の割合が45.8%、「サービス量(日数・時間数)が少ない」の割合が30.6%となっています。

県調査では、希望する暮らしを送るために必要な支援については、「いつでも気軽に相談できる」が最多となっています。また、本調査の相談支援についても、「相談回数が少ない」ことが不満の内容の最多となっており、相談支援を含めた、相談できる環境の整備が必要であると考えられます。



その他の記載内容は次のとおりです。

計画相談支援

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・根ほり葉ほり聞かれる。次のサービスをどんどんすすめられる。
	内部障がい	・何もアドバイスや相談にのらない。(発達障がい, 医療的ケア者)
知的障がい		・あまり活用できていない。 ・担当している人数が多いようで、いつも大変そうに見える。 ・何を支援して本当にいる支援なのかきもん。 ・今後の進歩がない。将来どうしたらいいのか、先がみえない内容。解決につながらない。
精神障がい		・その支援の必要性がわからない。 ・支援内容がうすいと感じる。 ・1度の面談は数分、書類の為に存在してるだけ。何か相談出来る親しみやすいシステムではない。 ・職員が精神疾患の知識がない。 ・予告なしに変わる。 ・担当職員と話すと気持ちが落ちこむ。

地域移行支援

区 分	記載内容
精神障がい	・バカにするな!!ウソつくな!! (医療的ケア者)

地域定着支援

区 分	記載内容
精神障がい	・B型じゃ生活出来ない。(発達障がい, 医療的ケア者)

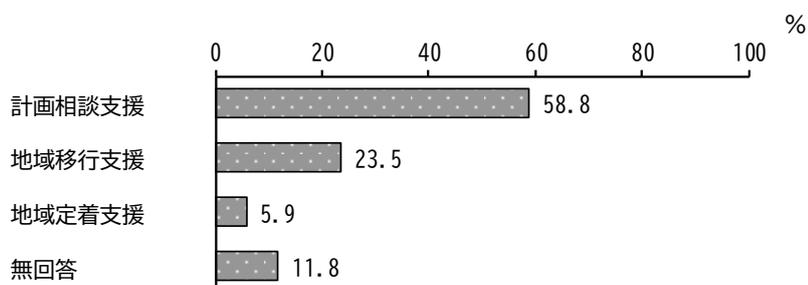
サービス未回答

区 分	記載内容
知的障がい	・電話で、10分の対応。(発達障がい)
	・家族も同席相談にしてほしい。(医療的ケア者)

相談回数が少ない利用サービス名

「計画相談支援」の割合が 58.8%、「地域移行支援」の割合が 23.5%、「地域定着支援」の割合が 5.9% となっています。

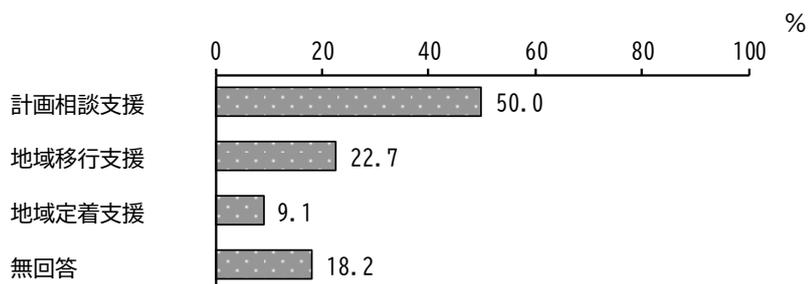
回答者数 = 34



サービス量（日数・時間数）が少ない利用サービス名

「計画相談支援」の割合が 50.0%、「地域移行支援」の割合が 22.7%、「地域定着支援」の割合が 9.1% となっています。

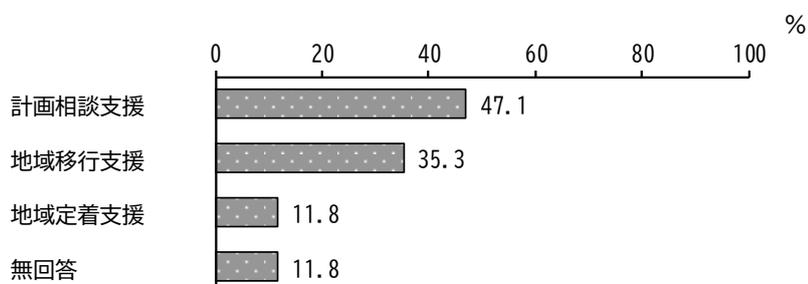
回答者数 = 22



事業所が少ないので選択できない利用サービス名

「計画相談支援」の割合が 47.1%、「地域移行支援」の割合が 35.3%、「地域定着支援」の割合が 11.8% となっています。

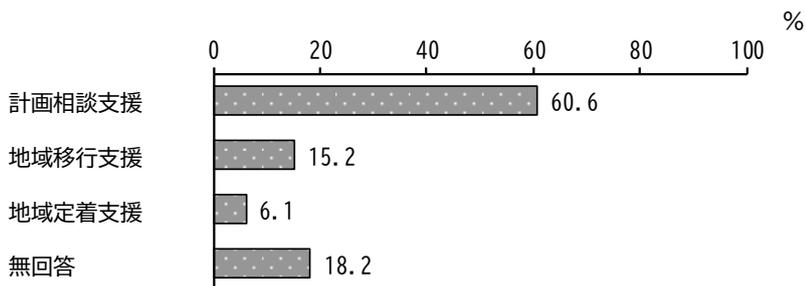
回答者数 = 17



事業所や職員の対応が悪い利用サービス名

「計画相談支援」の割合が 60.6%、「地域移行支援」の割合が 15.2%、「地域定着支援」の割合が 6.1% となっています。

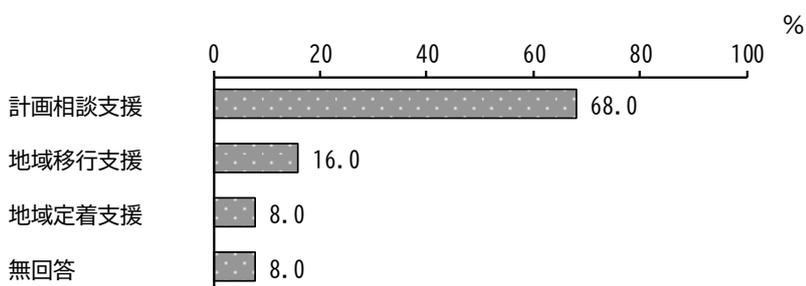
回答者数 = 33



その他の不満がある利用サービス名

「計画相談支援」の割合が 68.0%、「地域移行支援」の割合が 16.0%、「地域定着支援」の割合が 8.0% となっています。

回答者数 = 25



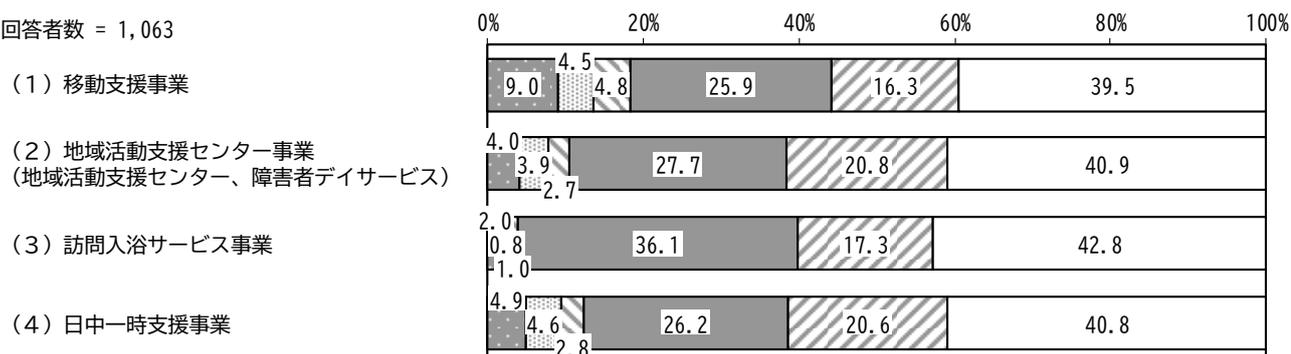
問 17 次の (1) ~ (4) のサービス (地域生活支援事業) のすべての項目について、「利用している」~「わからない」のあてはまる番号を記入してください。

(1) 屋外での移動が困難な障がいのある人が、外出の支援を受ける移動支援事業

『(1) 移動支援事業』で「利用している」「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」が、『(4) 日中一時支援事業』で「今は利用していないが、利用したことはある」が、『(3) 訪問入浴サービス事業』で「利用したことはなく、今後も利用しない」が、『(2) 地域活動支援センター事業 (地域活動支援センター、障害者デイサービス)』で「わからない」が高くなっています。

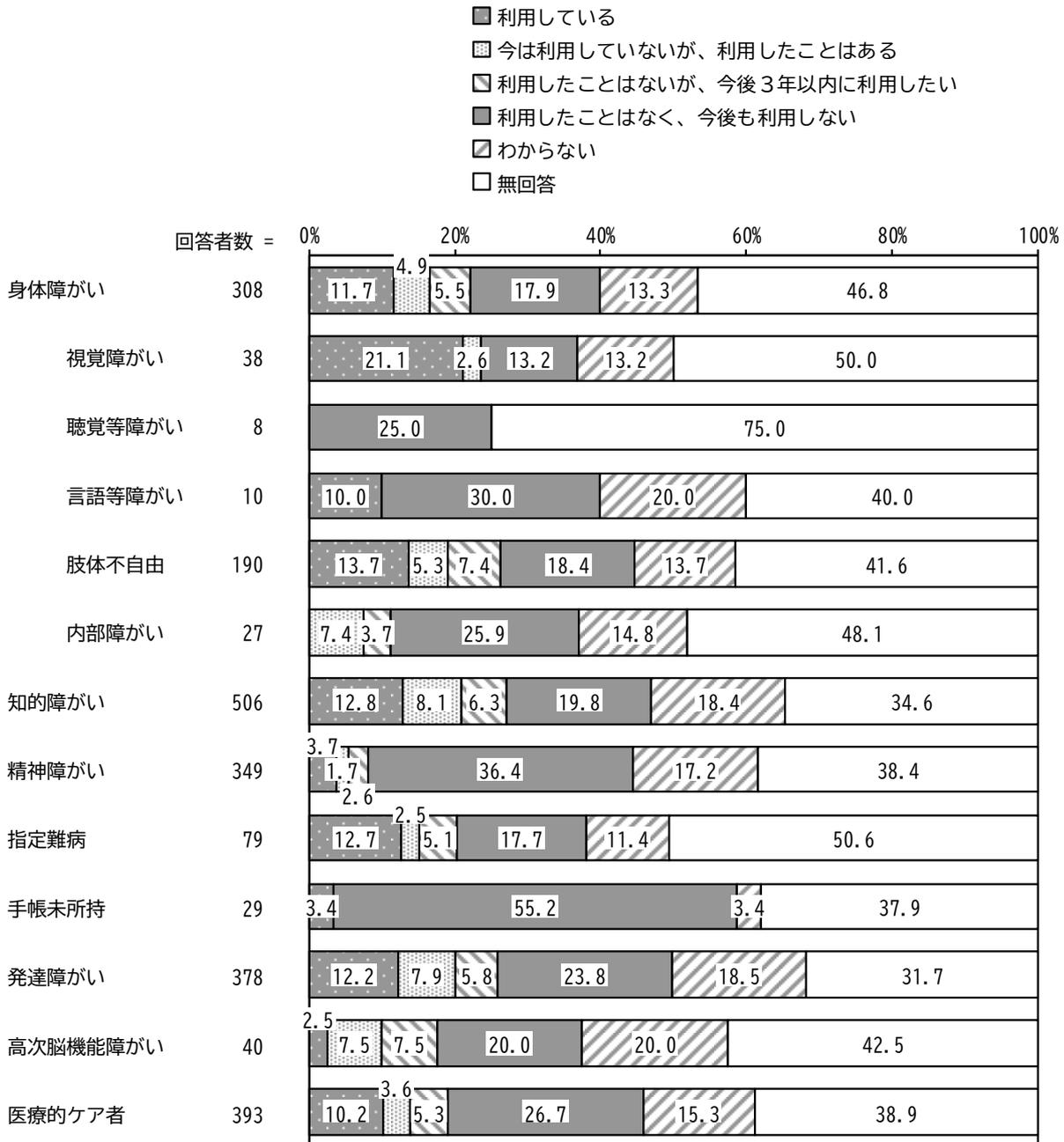
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▨ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答

回答者数 = 1,063



【障がい種別】

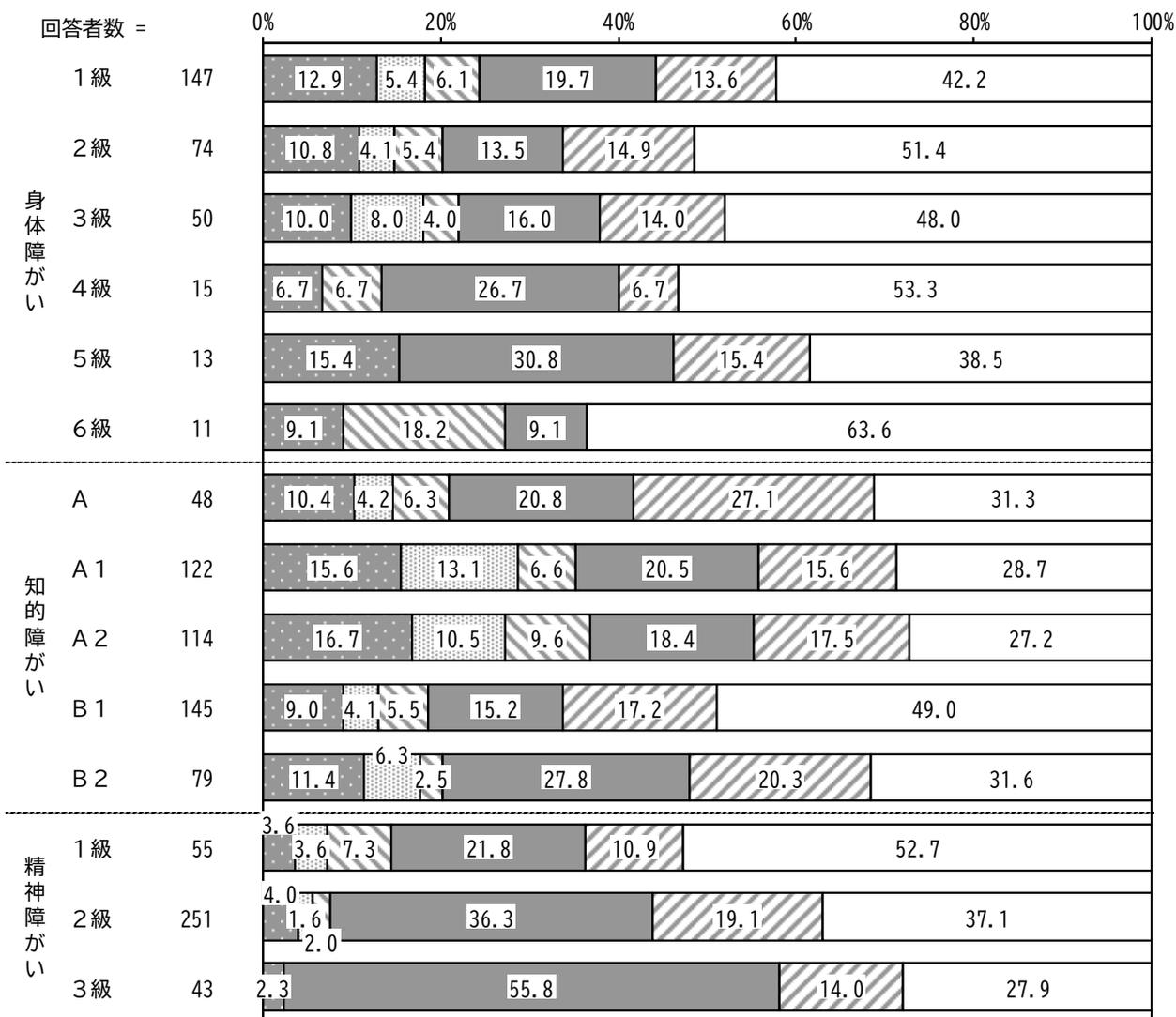
障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいでは「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳6級で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳3級で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

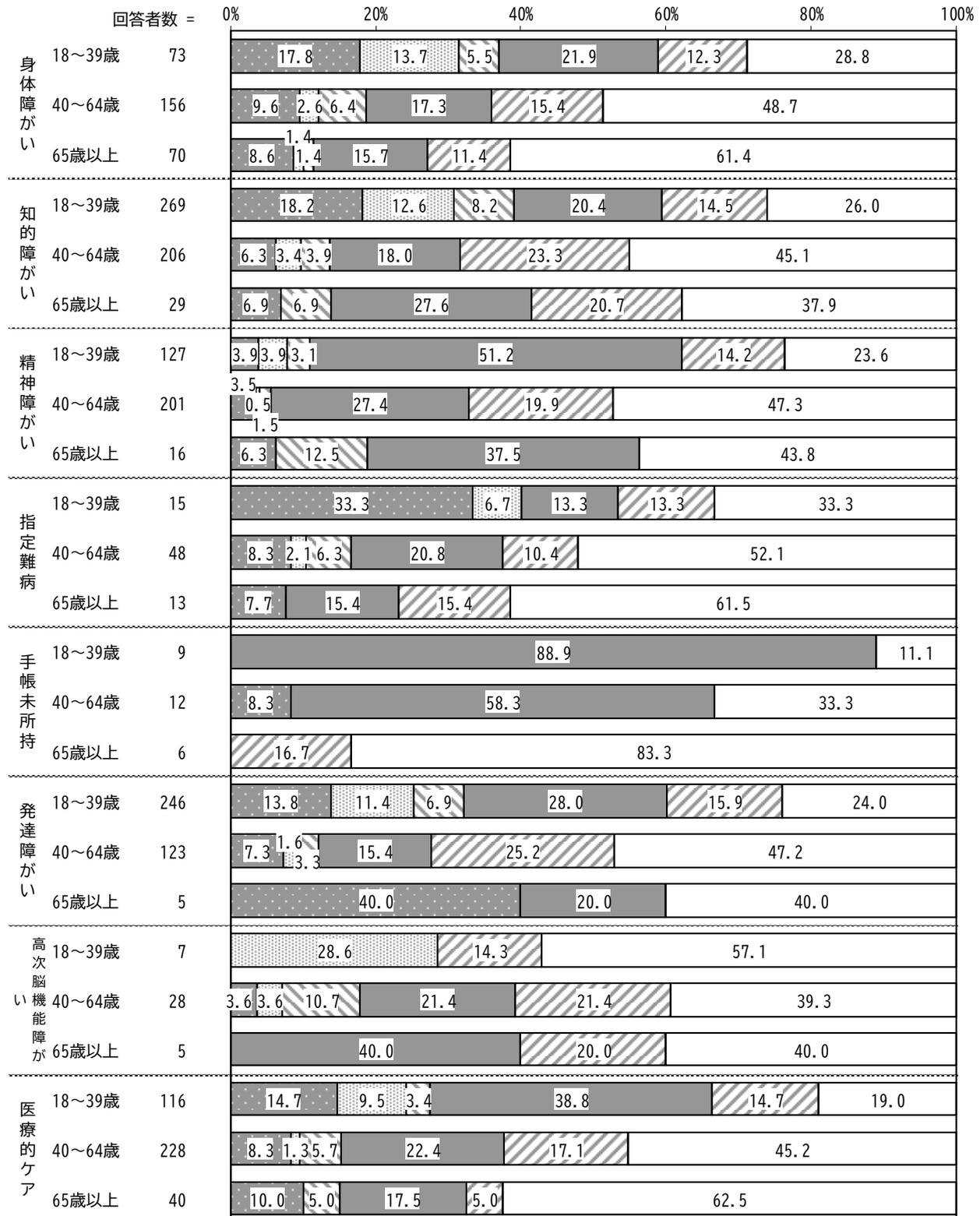
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはないが、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の18～39歳で「利用している」、精神障がいの65歳以上、高次脳機能障がい者の40～64歳で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、手帳未所持者の40～64歳で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

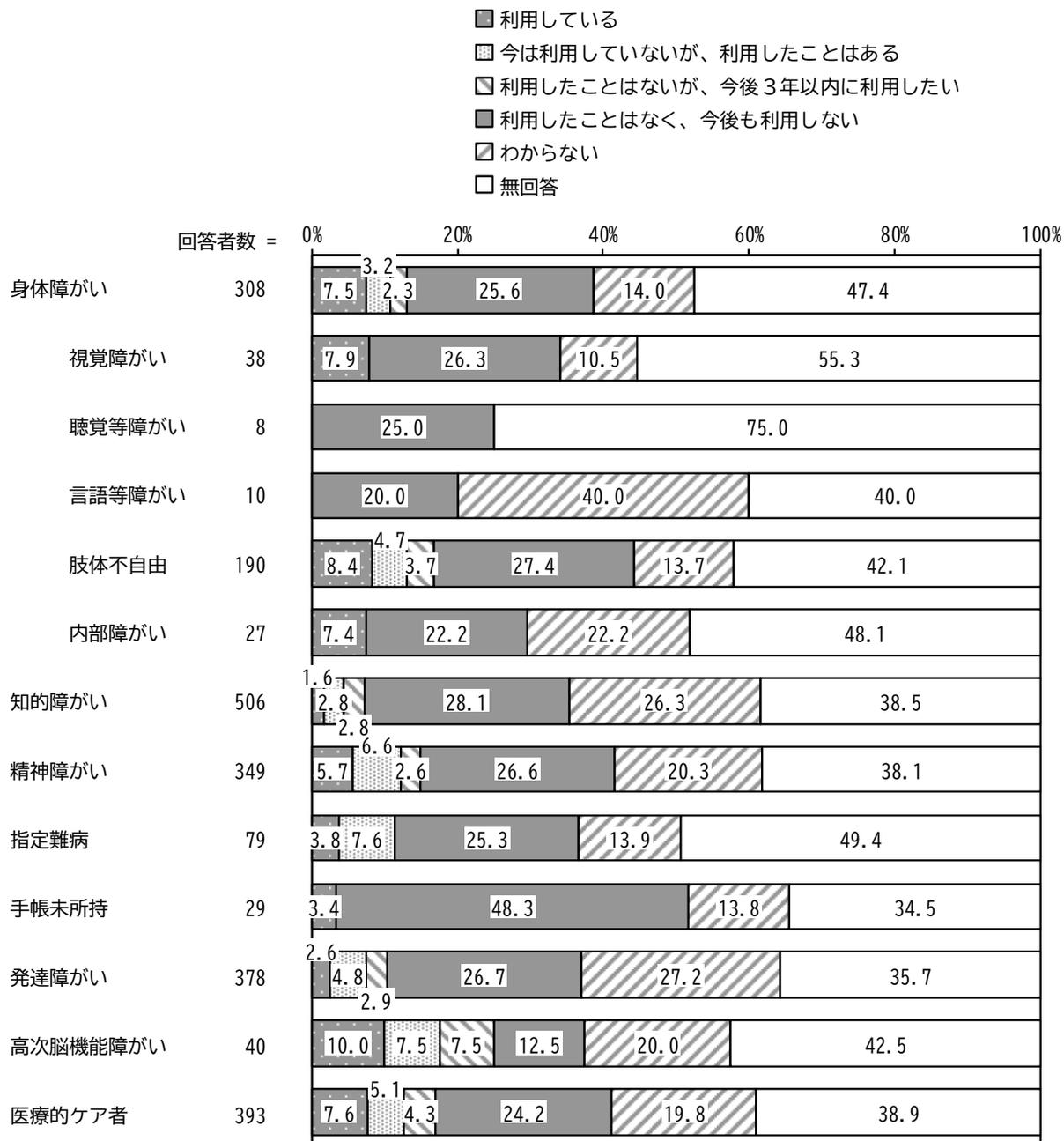
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはないが、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



(2) 創作的活動、生産活動の提供や社会交流の促進を受ける地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）

【障がい種別】

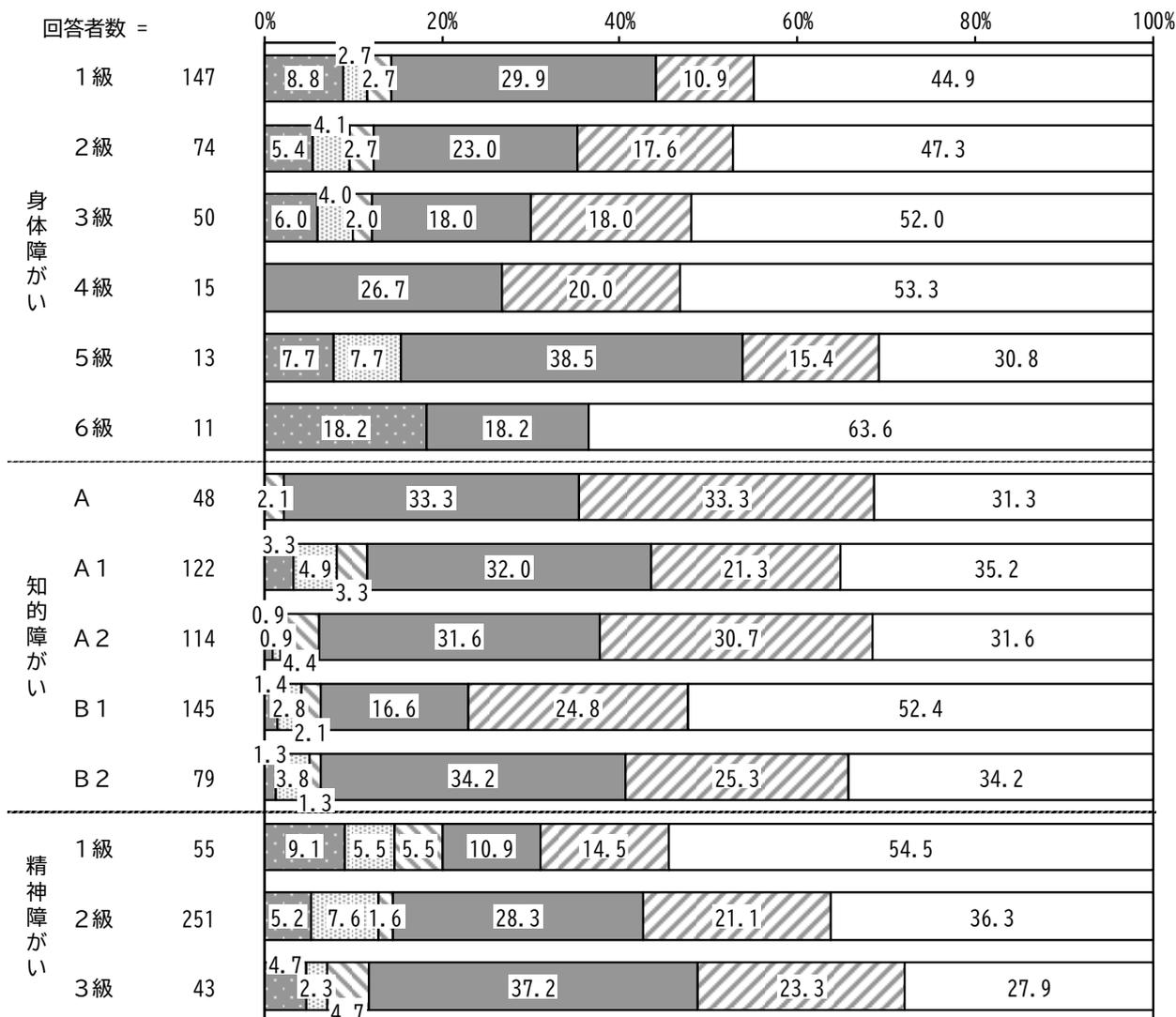
障がい種別にみると、全体と比べて高次脳機能障がい「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳6級で「利用している」、身体障害者手帳5級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

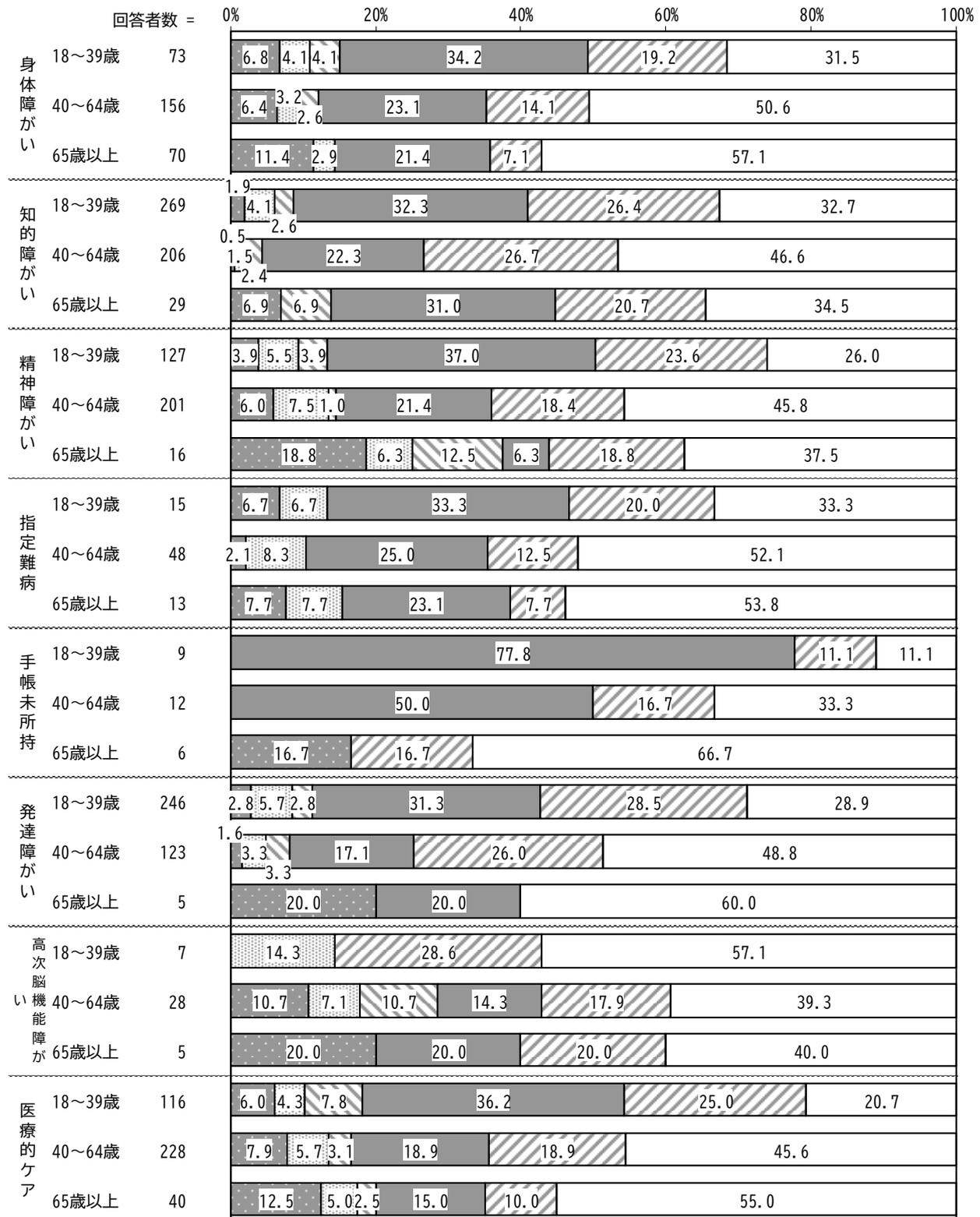
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて精神障がい者の65歳以上、高次脳機能障がい者の40～64歳で「利用したことはないが、今後3年以内に利用したい」、手帳未所持者の40～64歳で「利用したことはないが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

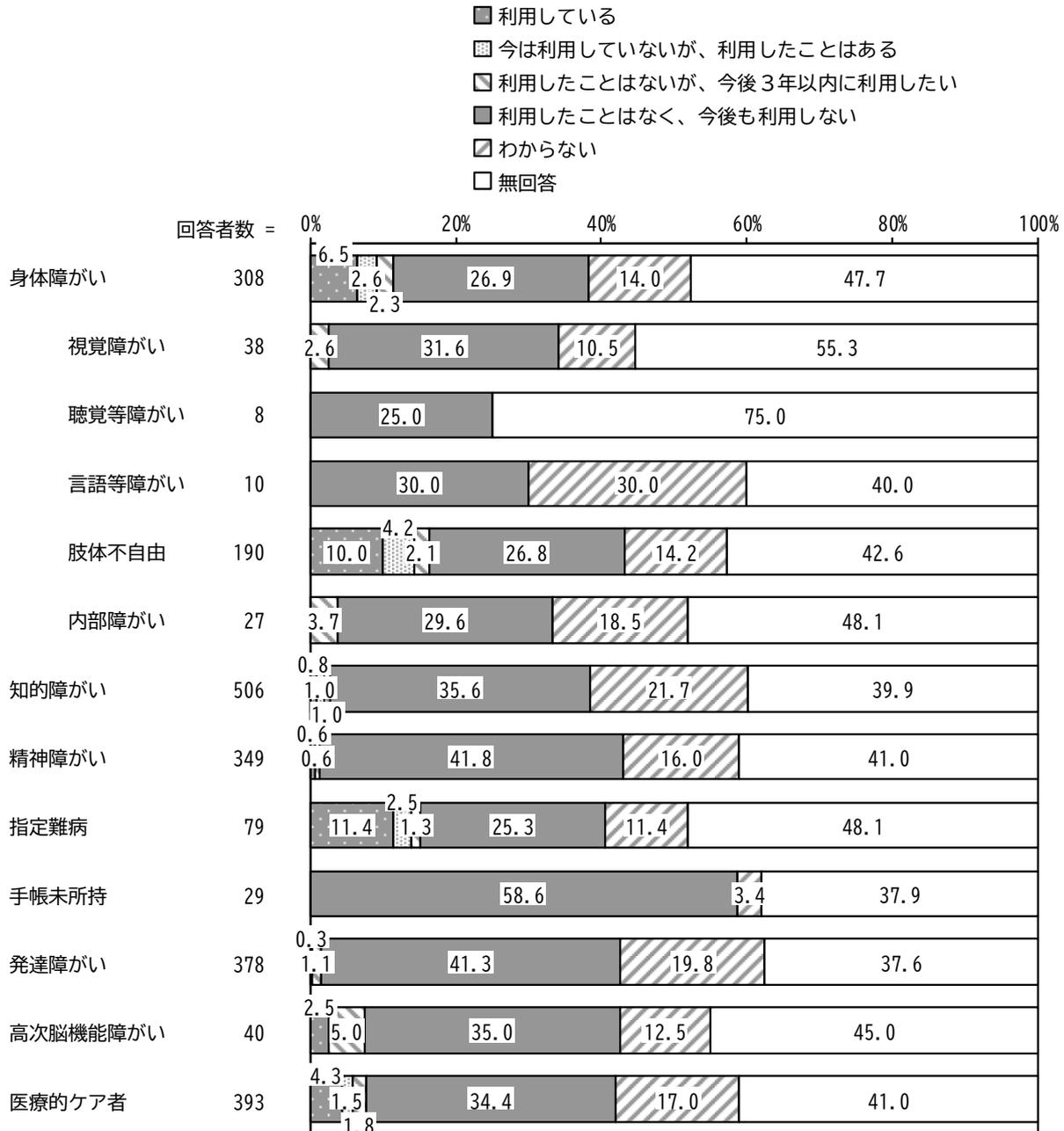
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはないが、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



(3) 施設に通所することが困難な重度障がいの人が、入浴車による入浴サービスを受ける訪問入浴サービス事業

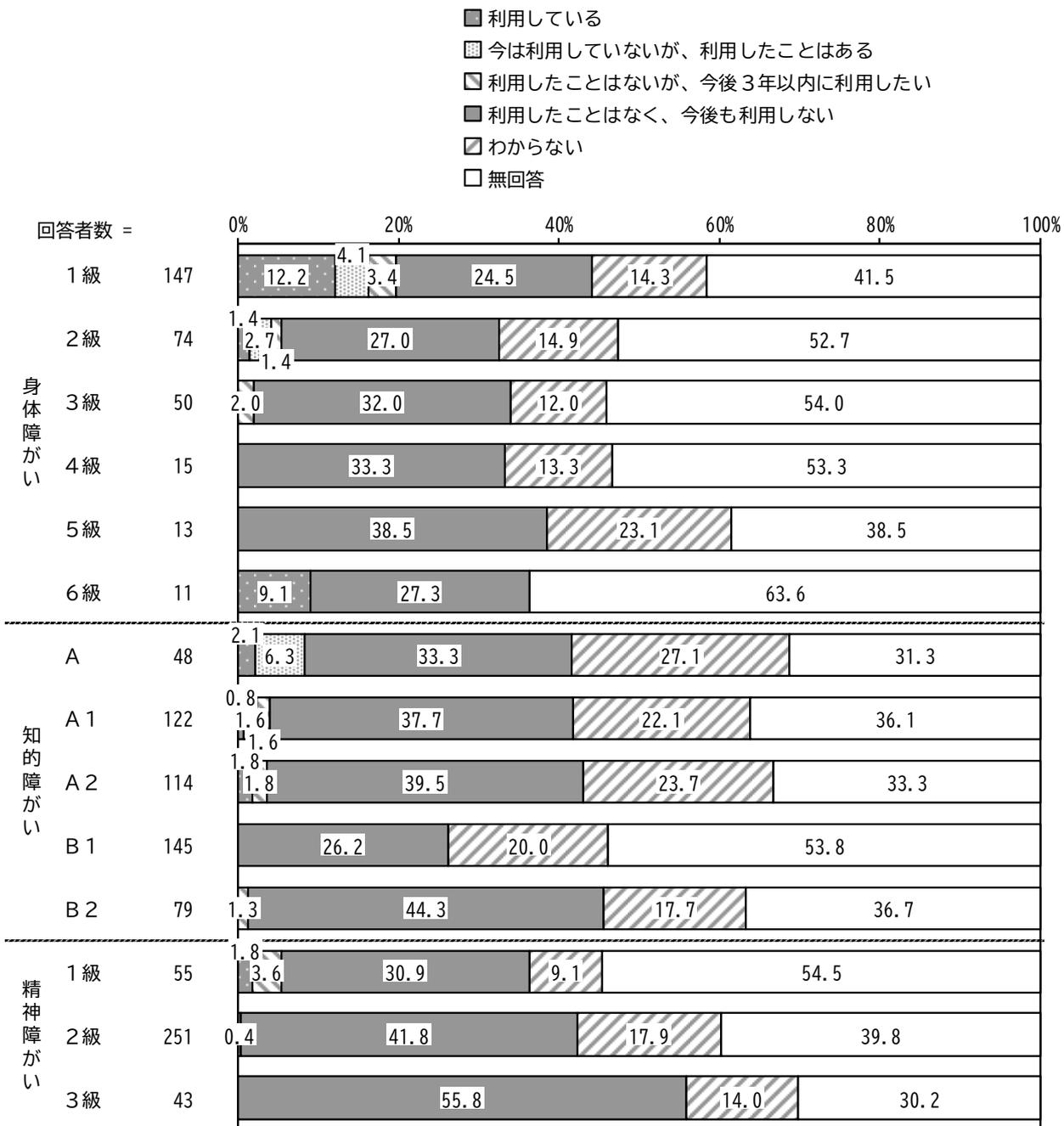
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて肢体不自由、指定難病で「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

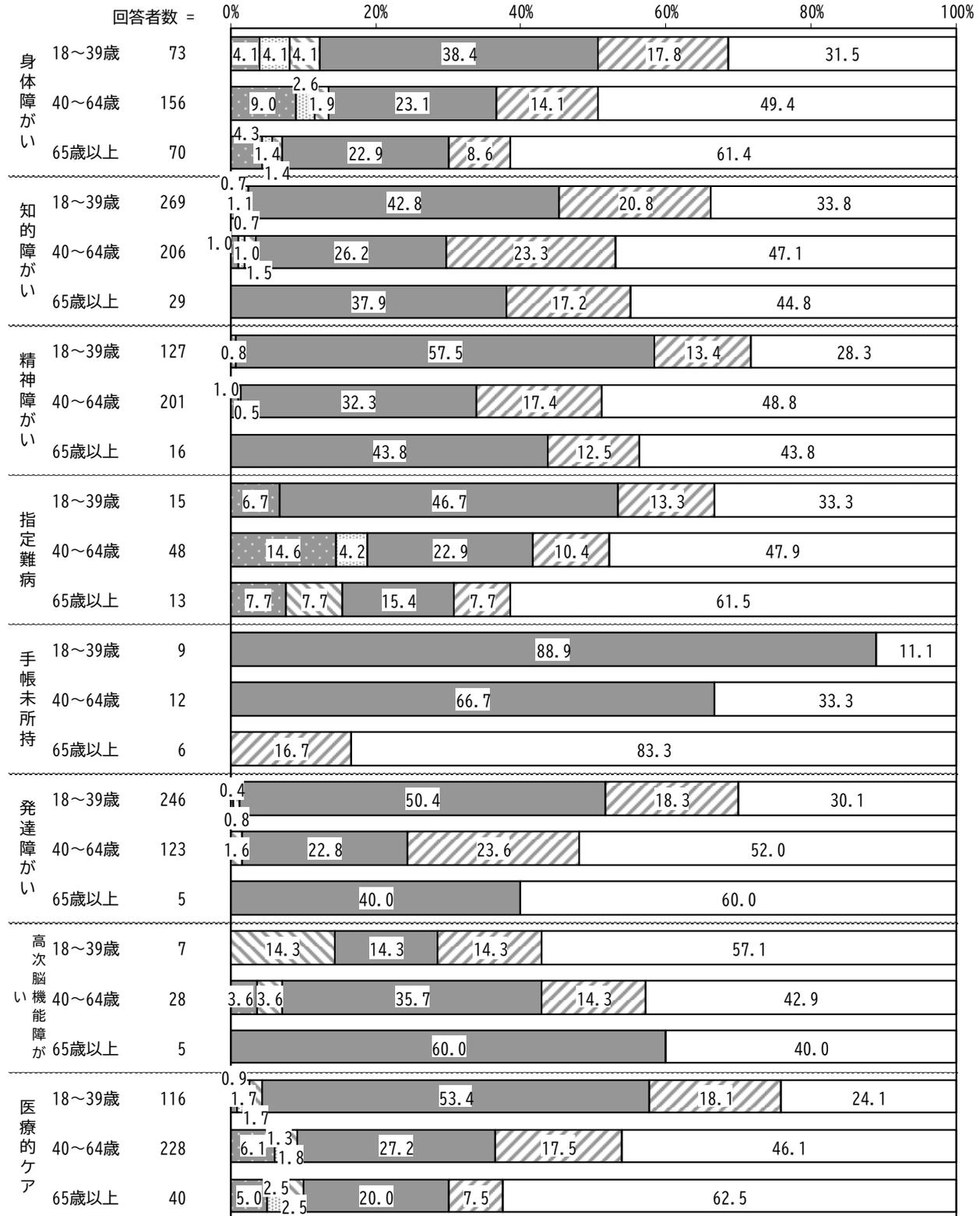
手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳1級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳3級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の40～64歳で「利用している」、手帳未所持者の40～64歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

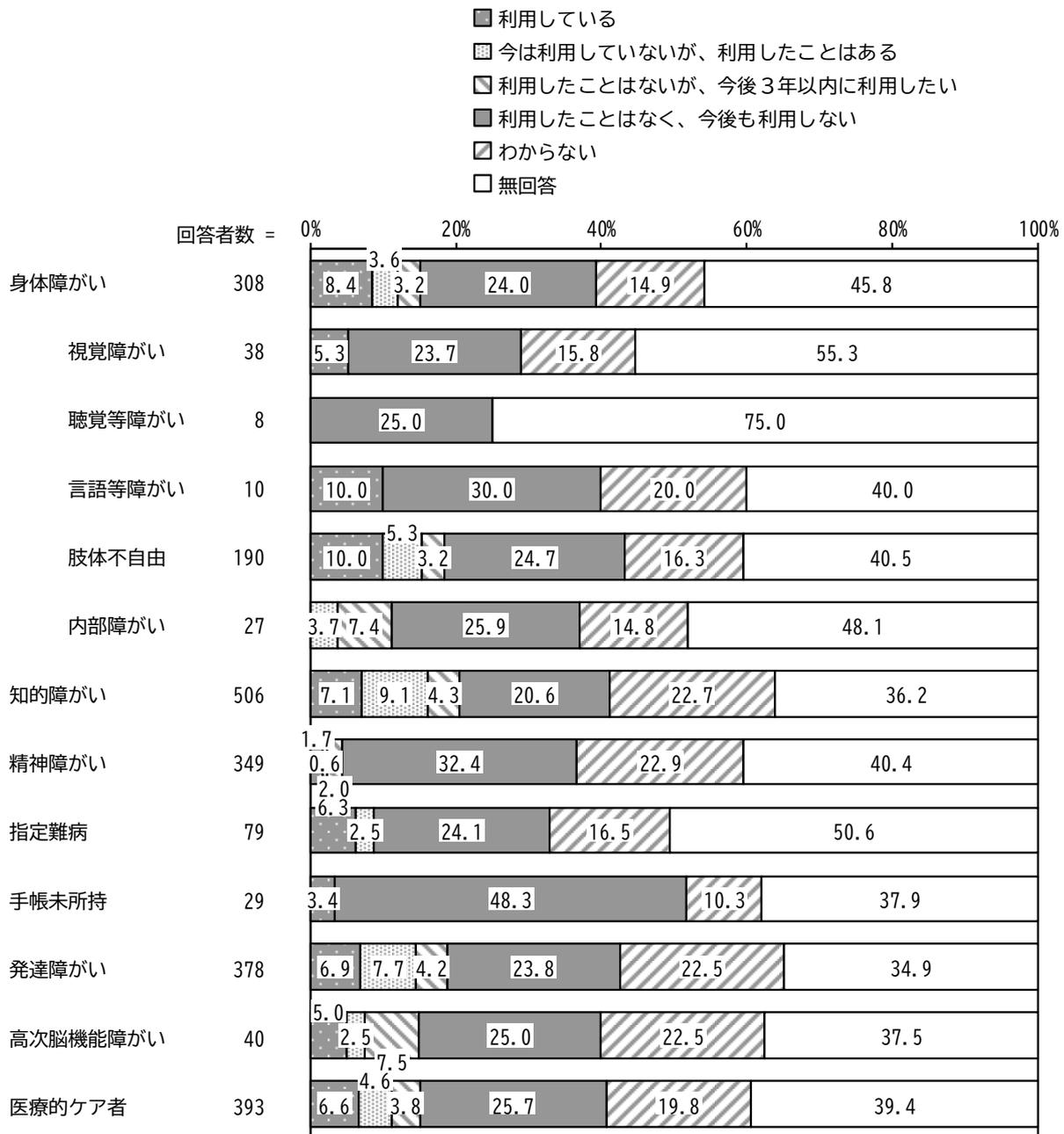
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



(4) 障がいのある人の日中における活動の場を一時的に提供する日中一時支援事業

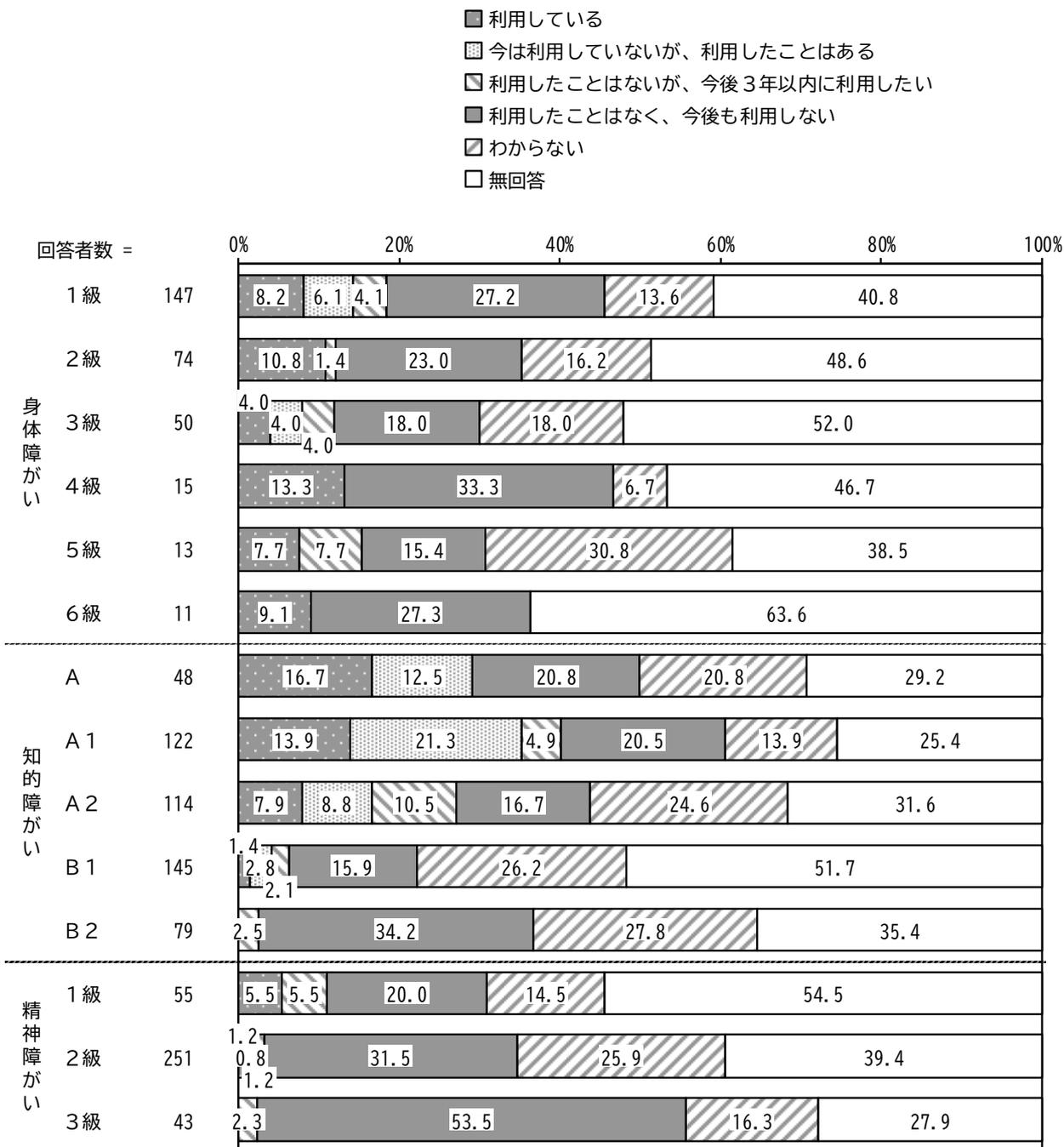
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がい、肢体不自由で「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

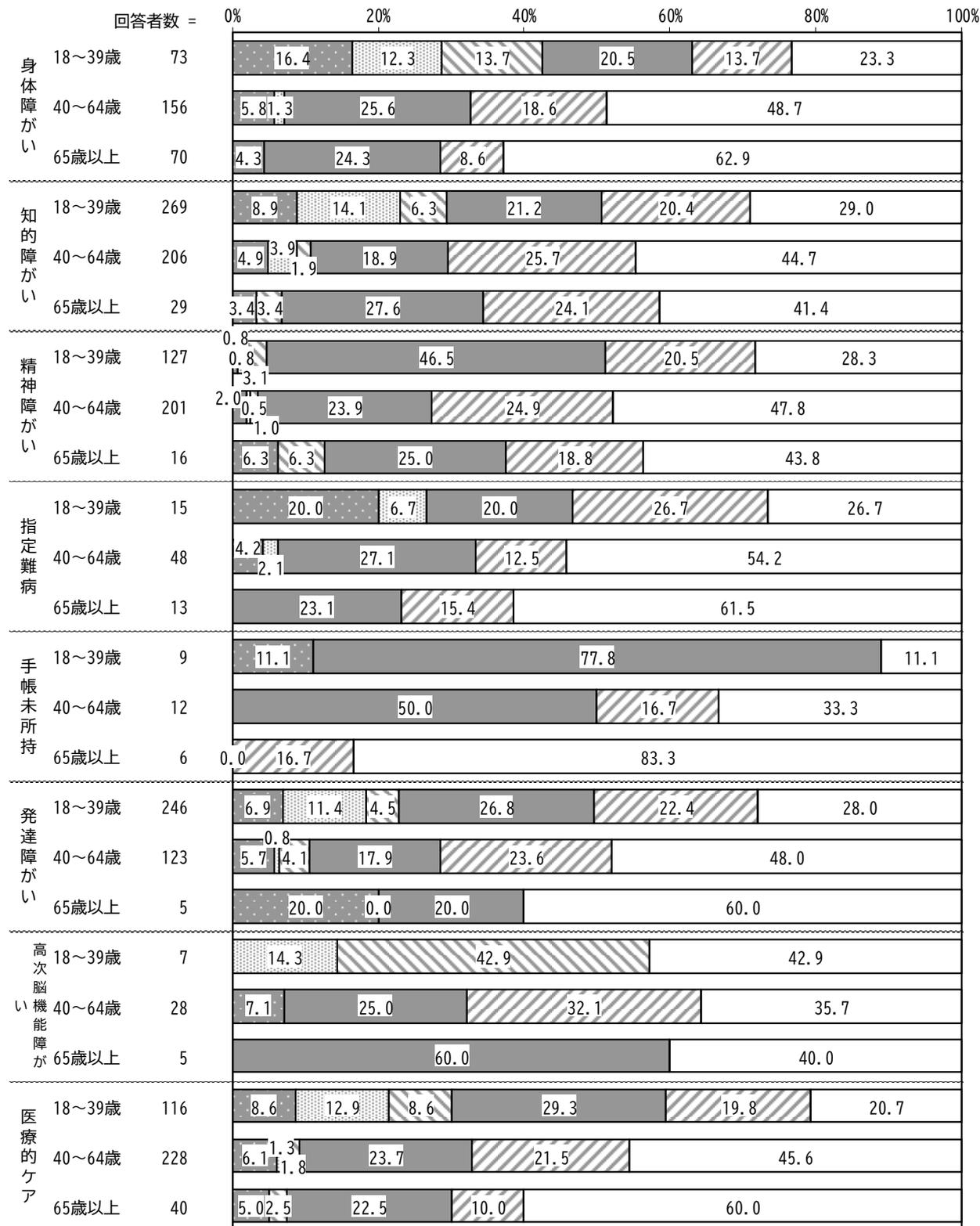
手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Aで「利用している」、療育手帳A1で「今は利用していないが、利用したことはある」、精神障害者保健福祉手帳3級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の18～39歳で「利用している」、手帳未所持者の40～64歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

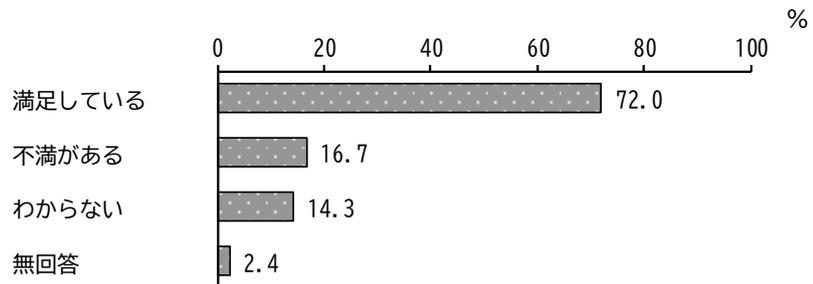
- 利用している
- ▨ 今は利用していないが、利用したことはある
- ▩ 利用したことはないが、今後3年以内に利用したい
- 利用したことはなく、今後も利用しない
- ▨ わからない
- 無回答



問17-1 問17で「利用している」と答えた方におうかがいします。現在利用している地域生活支援事業によるサービスに満足されていますか。その利用サービス名を問17の「移動支援事業」～「日中一時支援事業」で（ ）内に○をつけてください。

「満足している」の割合が72.0%、「不満がある」の割合が16.7%となっています。

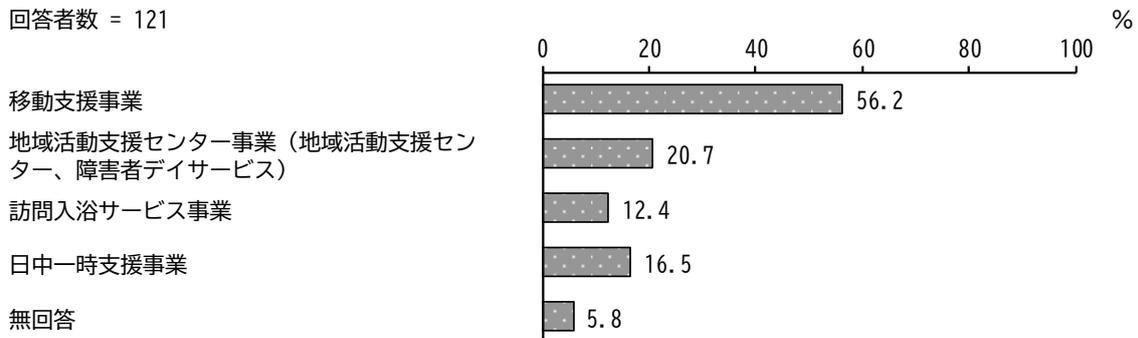
回答者数 = 168



満足している利用サービス名

「移動支援事業」の割合が56.2%と最も高く、次いで「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」の割合が20.7%、「日中一時支援事業」の割合が16.5%となっています。

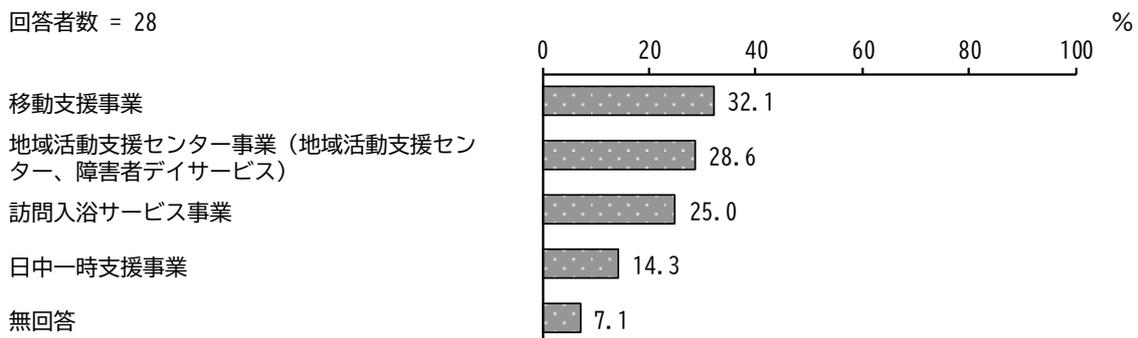
回答者数 = 121



不満がある利用サービス名

「移動支援事業」の割合が32.1%と最も高く、次いで「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」の割合が28.6%、「訪問入浴サービス事業」の割合が25.0%となっています。

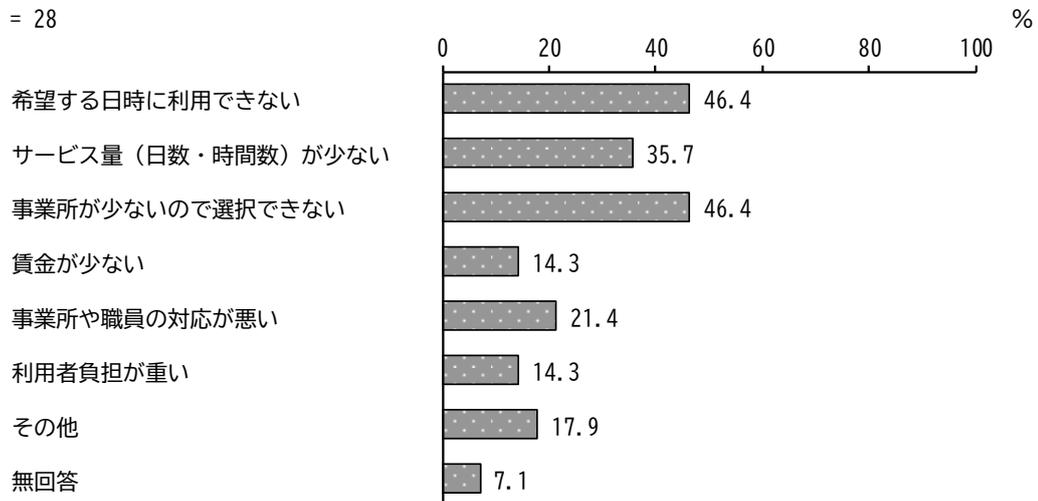
回答者数 = 28



問17-2 問17-1で「不満がある」と答えた方の不満の内容は、どのようなことでしょうか。(〇はいくつでも) その利用サービス名を問17の「移動支援事業」～「日中一時支援事業」で()内に〇をつけてください。

「希望する日時に利用できない」、「事業所が少ないので選択できない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「サービス量(日数・時間数)が少ない」の割合が35.7%となっています。

回答者数 = 28



その他の記載内容は次のとおりです。

移動支援事業

区分	記載内容
身体障がい 視覚障がい	・制約がありすぎる。(医療的ケア者)

地域活動支援センター事業(地域活動支援センター、障害者デイサービス)

区分	記載内容
精神障がい	・興味のわく活動が少ない。 ・職員不足、対応は悪くないがとにかく人手不足。(医療的ケア者)

訪問入浴サービス事業

区分	記載内容
知的障がい	・ボーナス有りなし。(高次脳機能障がい, 医療的ケア者)

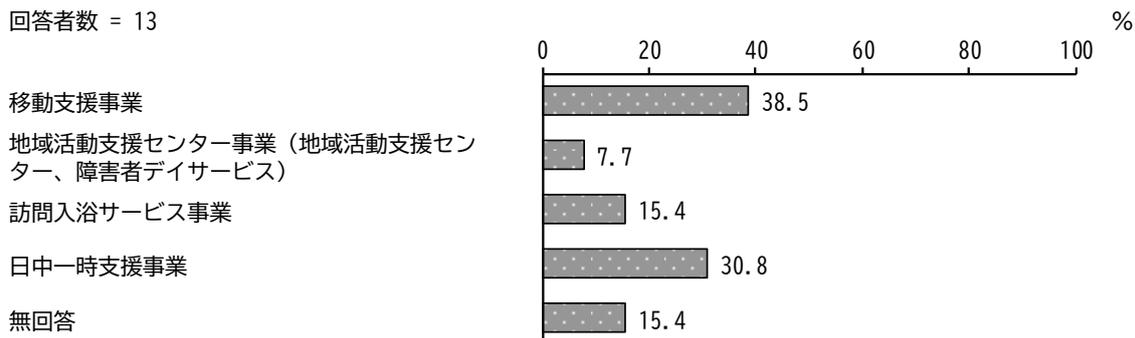
日中一時支援事業

区分	記載内容
精神障がい	・デイでは賃金にならない。(発達障がい, 医療的ケア者)

希望する日時に利用できない利用サービス名

「移動支援事業」の割合が38.5%と最も高く、次いで「日中一時支援事業」の割合が30.8%、「訪問入浴サービス事業」の割合が15.4%となっています。

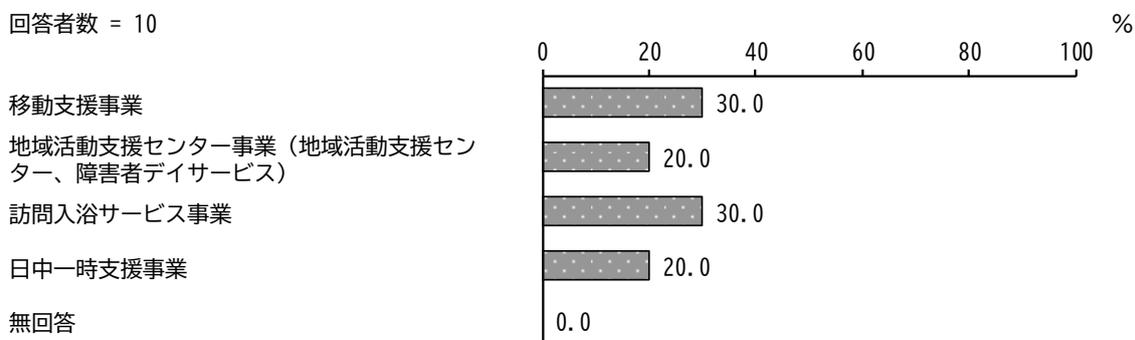
回答者数 = 13



サービス量（日数・時間数）が少ない利用サービス名

「移動支援事業」、「訪問入浴サービス事業」の割合が30.0%と最も高くなっています。

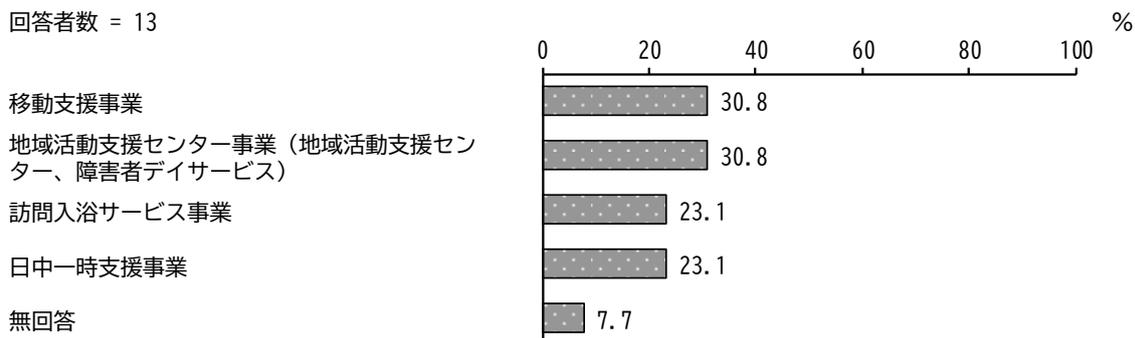
回答者数 = 10



事業所が少ないので選択できない利用サービス名

「移動支援事業」、「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」の割合が30.8%と最も高くなっています。

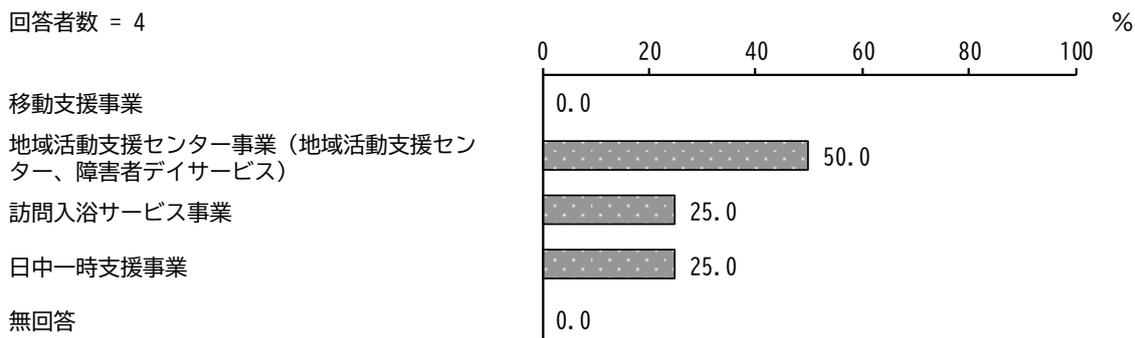
回答者数 = 13



賃金が少ない利用サービス名

「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」が2件、「訪問入浴サービス事業」、「日中一時支援事業」が1件となっています。

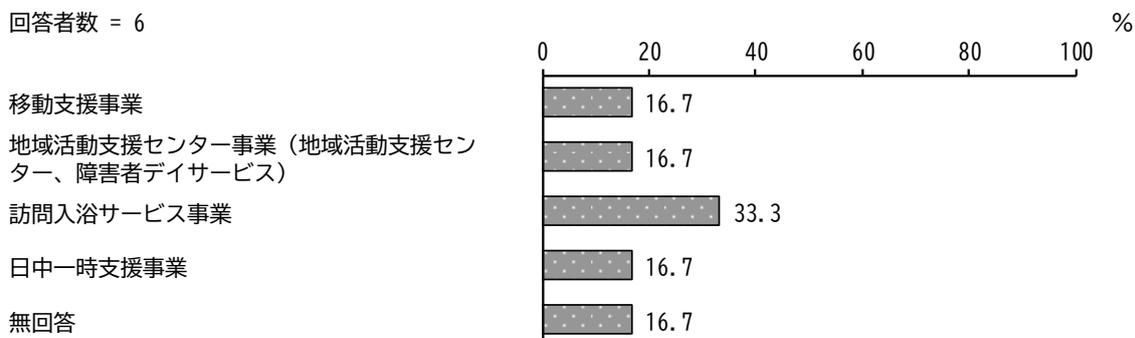
回答者数 = 4



事業所や職員の対応が悪い利用サービス名

「訪問入浴サービス事業」が2件、「移動支援事業」、「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」、「日中一時支援事業」が1件となっています。

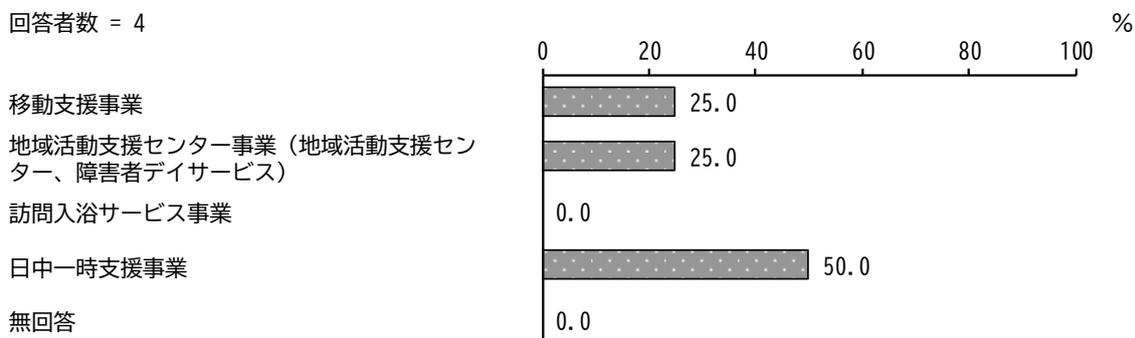
回答者数 = 6



利用者負担が重い利用サービス名

「日中一時支援事業」が2件、「移動支援事業」、「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」が1件となっています。

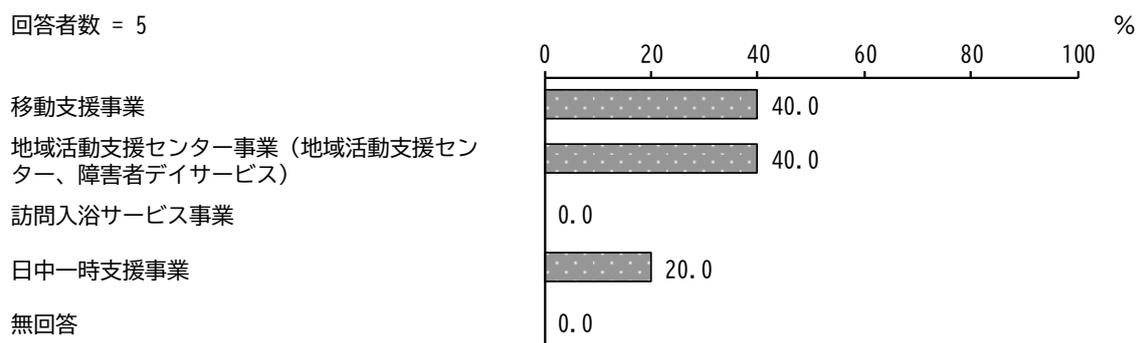
回答者数 = 4



その他の不満がある利用サービス名

「移動支援事業」、「地域活動支援センター事業（地域活動支援センター、障害者デイサービス）」が2件となっています。

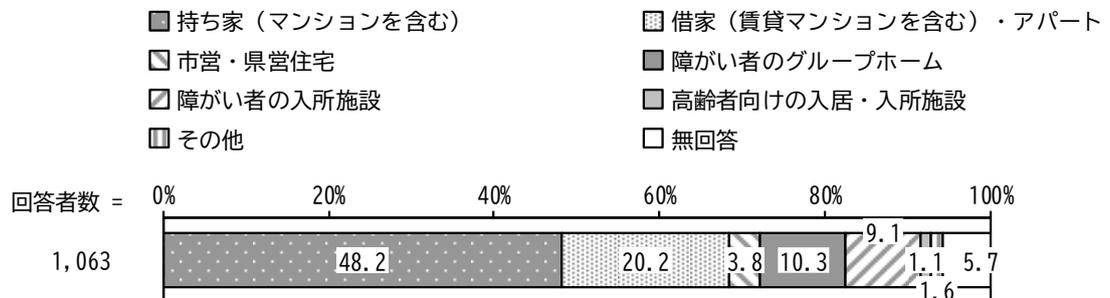
回答者数 = 5



4. 生活の現状とニーズ

問 18 住まいは次のうちどれですか。入院中の場合は、入院直前または退院時のこととしてお答えください。(〇は1つ)

「持ち家(マンションを含む)」の割合が48.2%と最も高く、次いで「借家(賃貸マンションを含む)・アパート」の割合が20.2%、「障がい者のグループホーム」の割合が10.3%となっています。

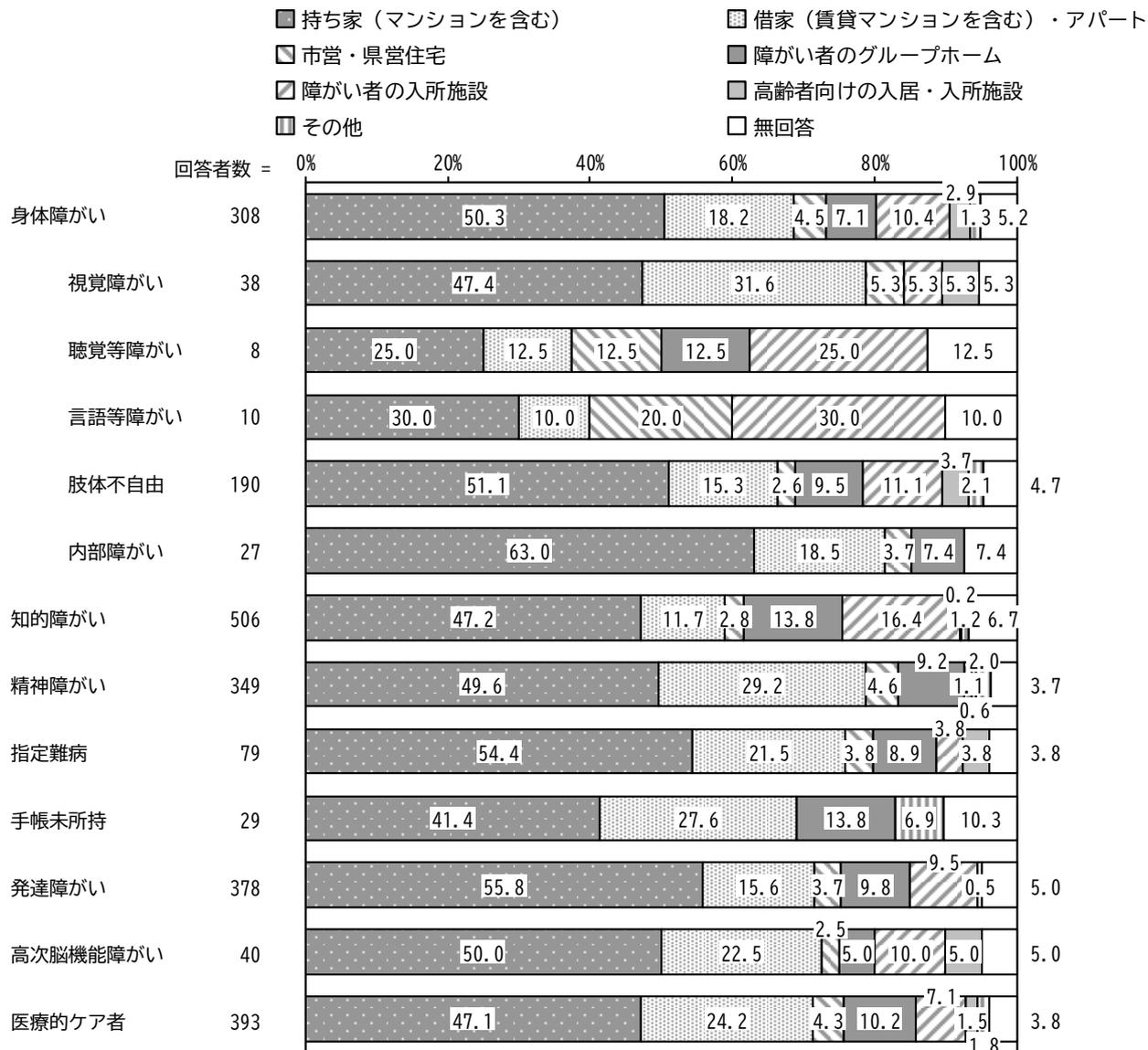


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 (医療的ケア者) ・親の持ち家 (医療的ケア者) ・ホスピス (医療的ケア者) ・病院内施設 (医療的ケア者)
	知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・親の家(同一回答2件) (医療的ケア者) ・福祉ホーム ・住宅公社 ・兄の家
精神障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・父の名義の家。父はグループホーム入居中。 ・同居人の借りてるアパート。 ・グループホーム (医療的ケア者) ・姉の家 (医療的ケア者) ・持ち家家族名義 (発達障がい, 医療的ケア者) ・特養入所中の母の家で留守番という形で一人暮らし。
手帳未所持		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の寮 ・実家

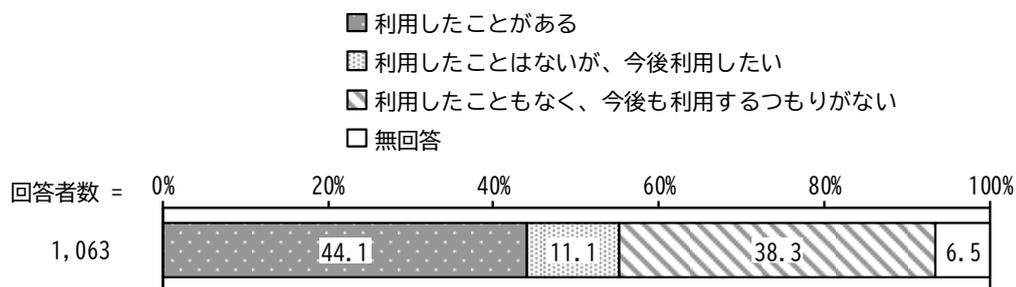
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて内部障がい、「持ち家（マンションを含む）」、視覚障がい、「借家（賃貸マンションを含む）・アパート」、言語等障がい、「市営・県営住宅」「障がい者の入所施設」の割合が高くなっています。



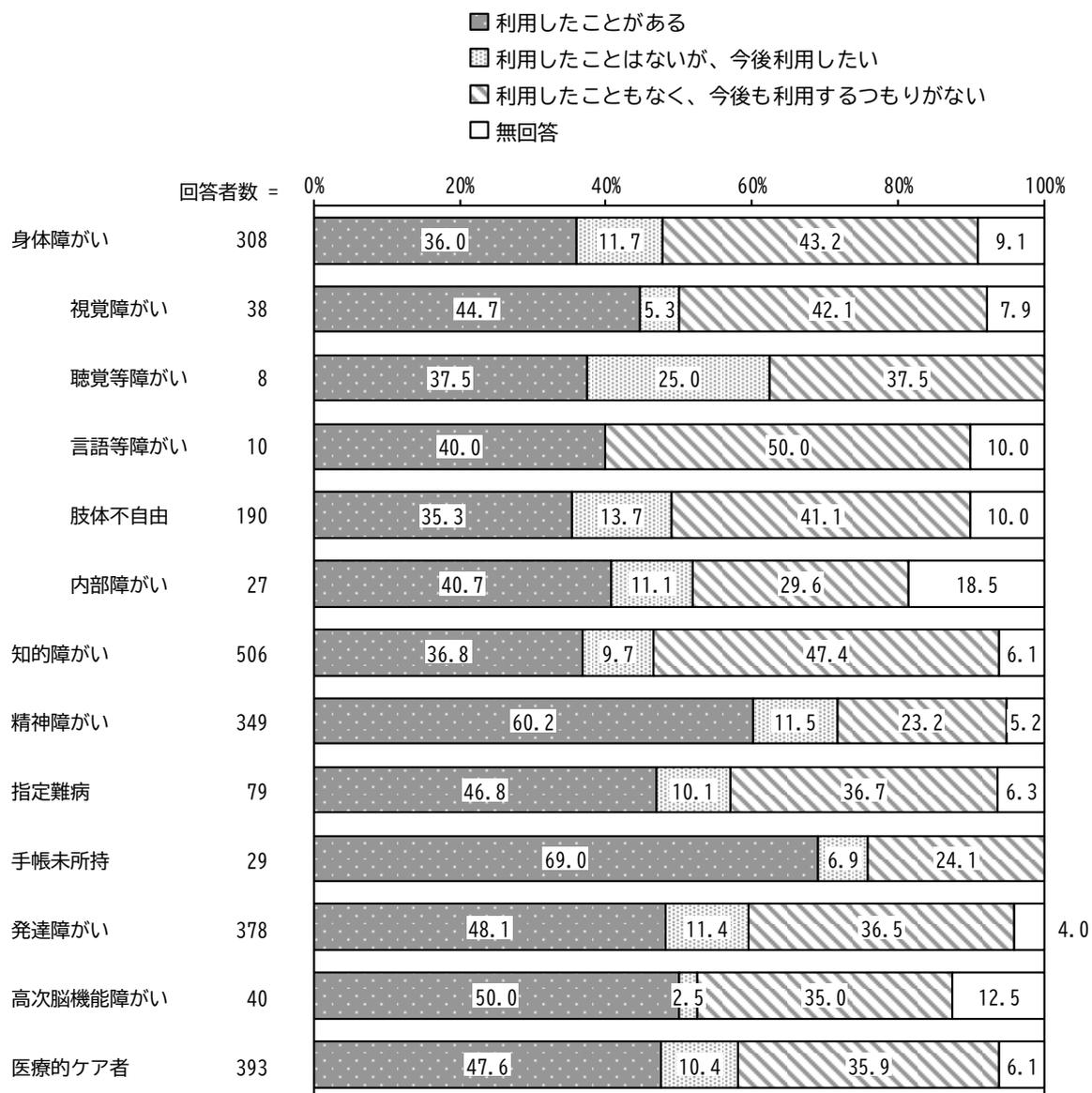
問 19 図書館を利用したことがありますか。(○は1つ)

「利用したことがある」の割合が44.1%、「利用したことはないが、今後利用したい」の割合が11.1%、「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」の割合が38.3%となっています。



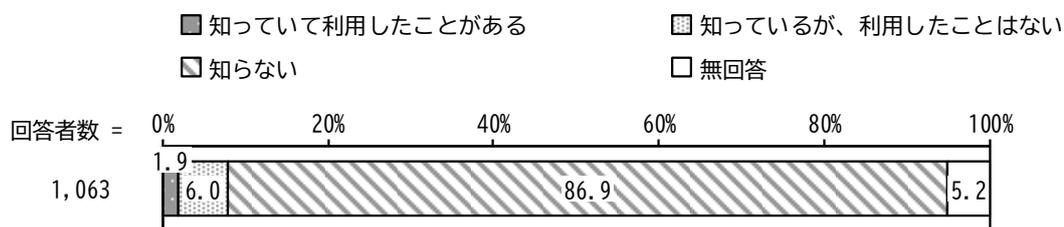
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「利用したことがある」、言語等障がい「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」の割合が高くなっています。



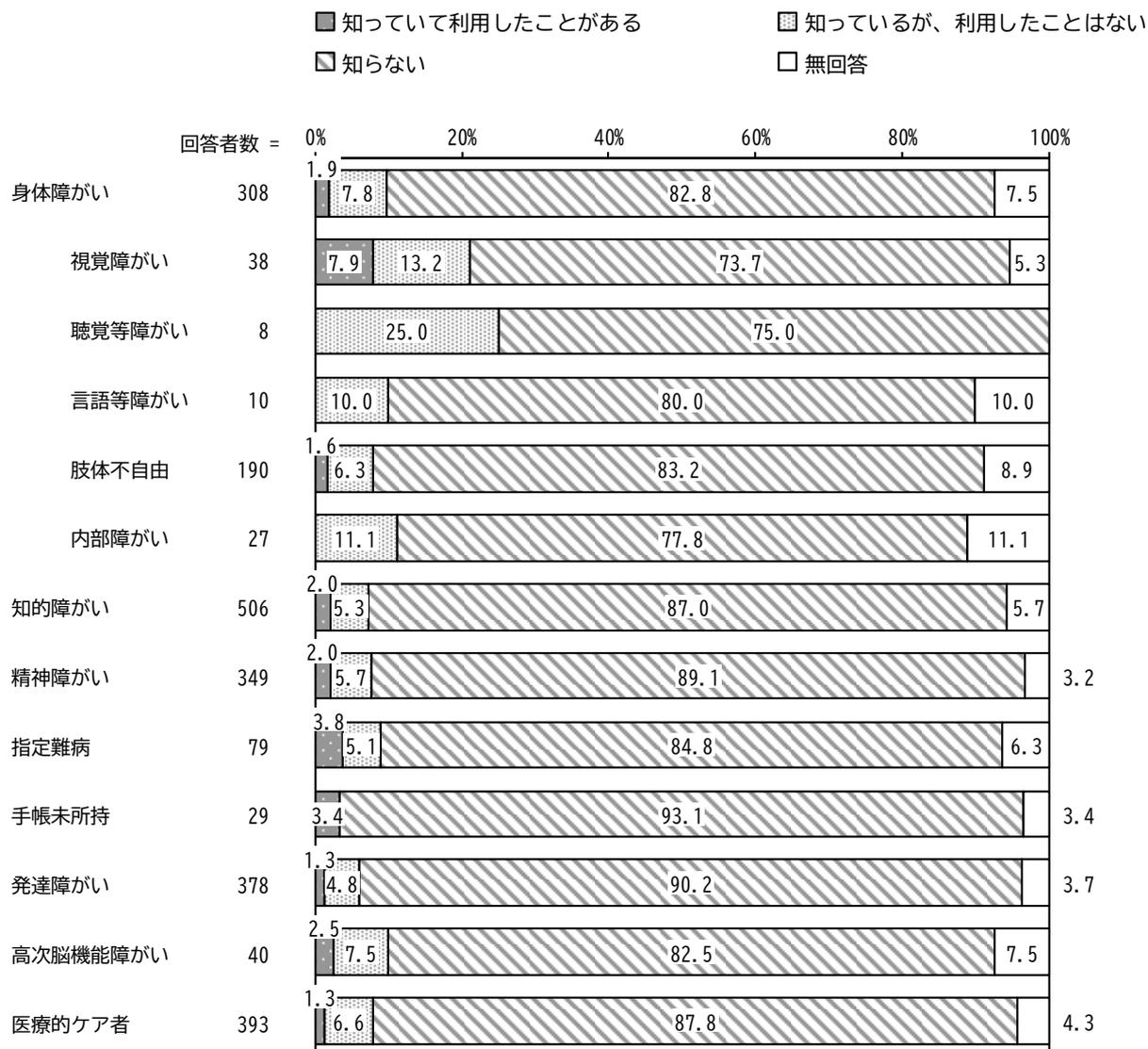
問 20 中央図書館に障がい者支援資料のコーナーがあることを知っていますか。(○は1つ)

「知っていて利用したことがある」の割合が 1.9%、「知っているが、利用したことはない」の割合が 6.0%、「知らない」の割合が 86.9%となっています。



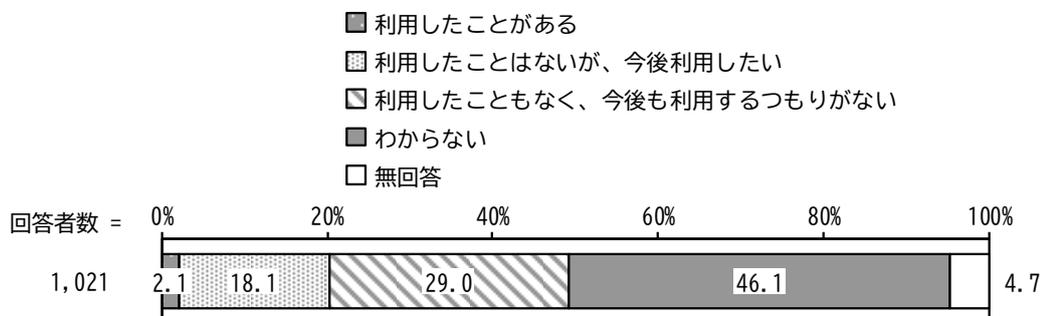
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいや「知っていて利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」、内部障がいや「知っているが、利用したことはない」、手帳未所持で「知らない」の割合が高くなっています。



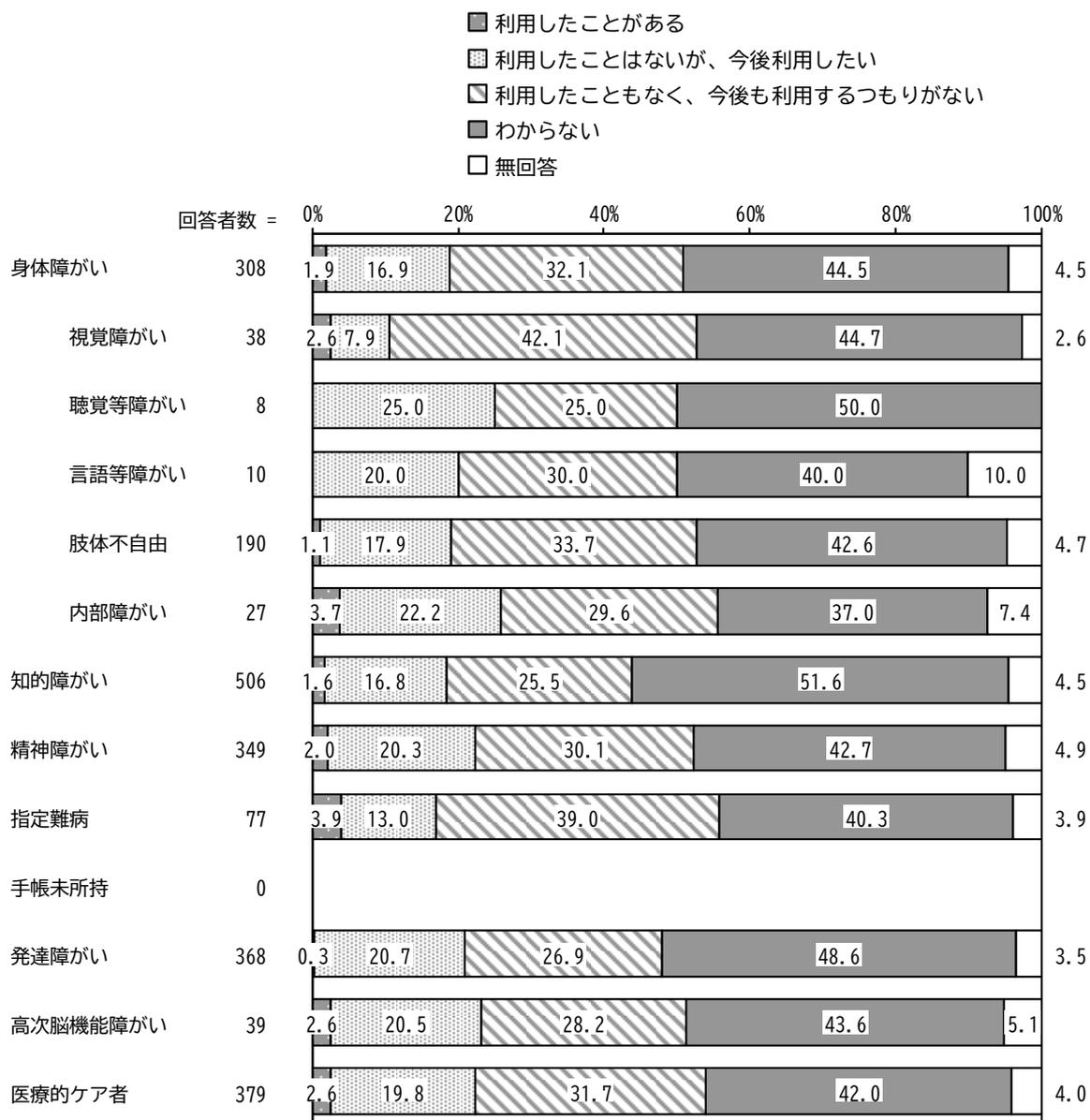
問 21 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方におうかがい
 します。住宅用火災警報器の購入から取付けまでを代行する住宅防火対策支援を利用した
 ことがありますか。(〇は1つ)

「利用したことがある」の割合が2.1%、「利用したことはないが、今後利用したい」の割合が18.1%、
 「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」の割合が29.0%となっています。



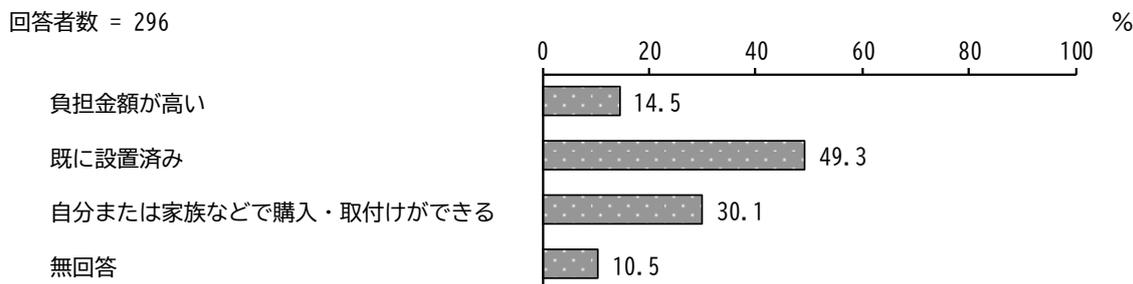
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいでは「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」の割合が高く、「利用したことはないが、今後利用したい」の割合が低くなっています。



問 22 問 21 で「利用したこともなく、今後も利用するつもりがない」と答えた方におうかがいします。利用しないのはなぜですか。(○はいくつでも)

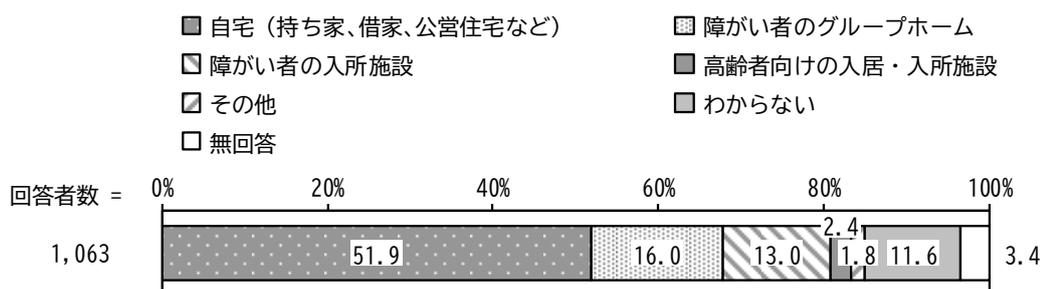
「負担金額が高い」の割合が 14.5%、「既に設置済み」の割合が 49.3%、「自分または家族などで購入・取付けができる」の割合が 30.1%となっています。



問 23 これからの生活のご希望についておたずねします。

問 23-1 あなたは、これからの生活をどこで送りたいですか。(○は1つ)

「自宅（持ち家、借家、公営住宅など）」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「障がい者のグループホーム」の割合が 16.0%、「障がい者の入所施設」の割合が 13.0%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・病院（同一回答3件）（医療的ケア者） ・ホスピスで最後まで。（医療的ケア者） ・現在入所中（医療的ケア者）
	知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・いつかは再就職。 ・親がいる間は自宅で、その後は今お世話になってる施設に入りたいと思ってるけど・・・定員が今後どうなるのか不安。 ・福祉ホーム ・現在、今のままがいい。 ・今は①自宅、今後は③入所の可能性あり。 ・今は自宅で生活したいが将来のことは分からない。 ・すでにグループホームで生活している。 ・今はグループホームにいるけれど、いつかはひとり生活をしたい。具体的には未定。このままグループホームを利用するかも。

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・アパート（同一回答2件） ・ヘルパー ・今の同居人の家。 ・自立した生活を送りたいです。（一般アパート） ・マンション等の一人暮らし（医療的ケア者） ・考え中
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・アパートで一人暮らしでずっと生活していきたい。（医療的ケア者）

【障がい種別】

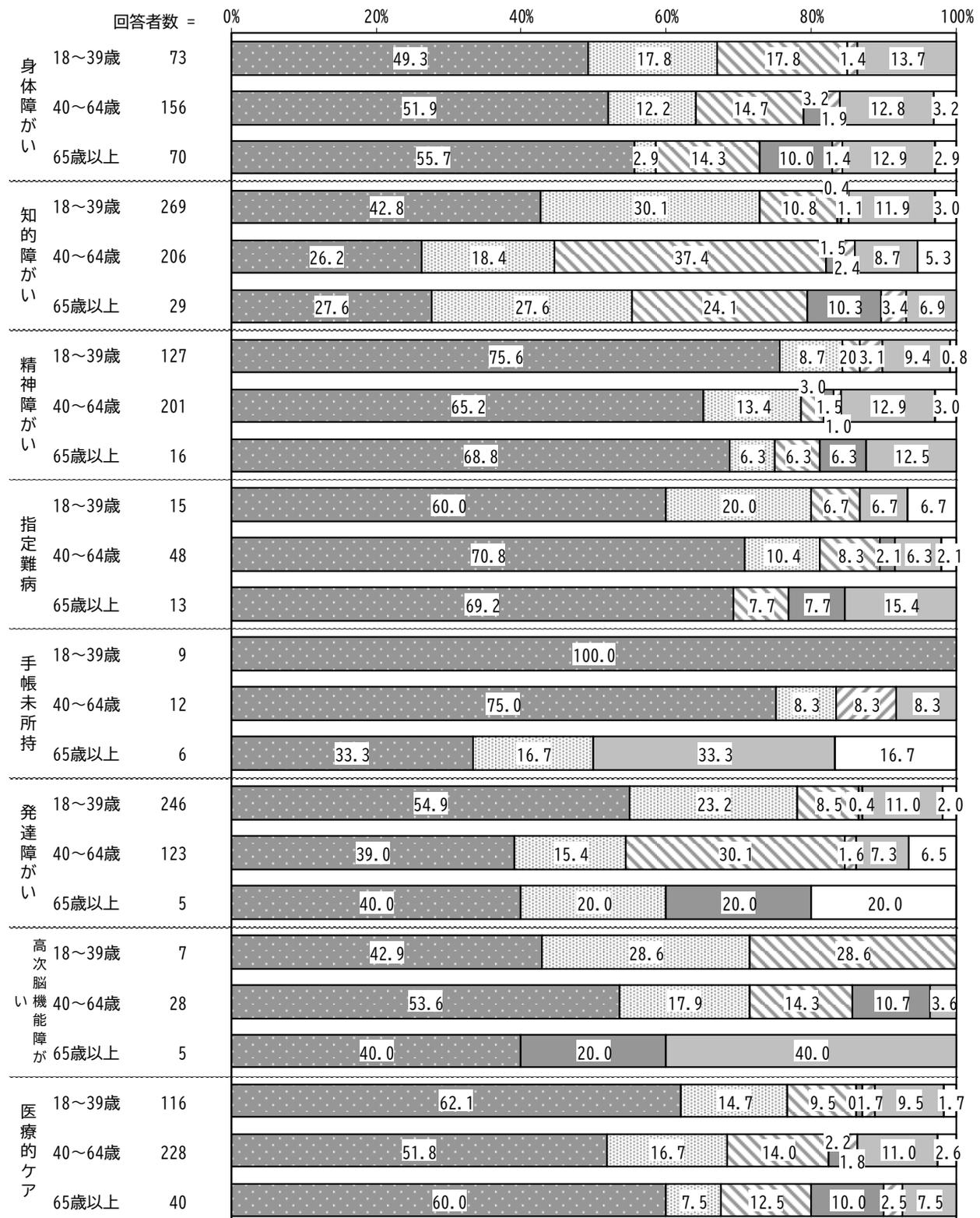
障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がい、精神障がい、指定難病、手帳未所持で「自宅（持ち家、借家、公営住宅など）」の割合が高く、視覚障がいで「障がい者のグループホーム」の割合が低くなっています。



【障がい種別・年齢別】

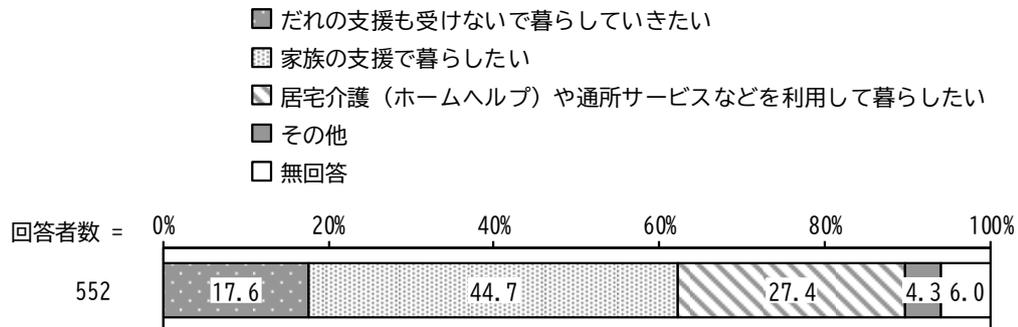
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて精神障がい者の18～39歳、手帳未所持者の40～64歳で「自宅（持ち家、借家、公営住宅など）」の割合が高く、知的障がい者の40～64歳いで「障がい者の入所施設」の割合が高くなっています。

- 自宅（持ち家、借家、公営住宅など）
- 障がい者のグループホーム
- 障がい者の入所施設
- 高齢者向けの入居・入所施設
- その他
- わからない
- 無回答



問 23-2 問 23-1 で「自宅」と答えた方におたずねします。これからの生活をどのように送りたいですか。(○は1つ)

「だれの支援も受けなくて暮らしていきたい」の割合が 17.6%、「家族の支援で暮らしたい」の割合が 44.7%、「居宅介護（ホームヘルプ）や通所サービスなどを利用して暮らしたい」の割合が 27.4%となっています。

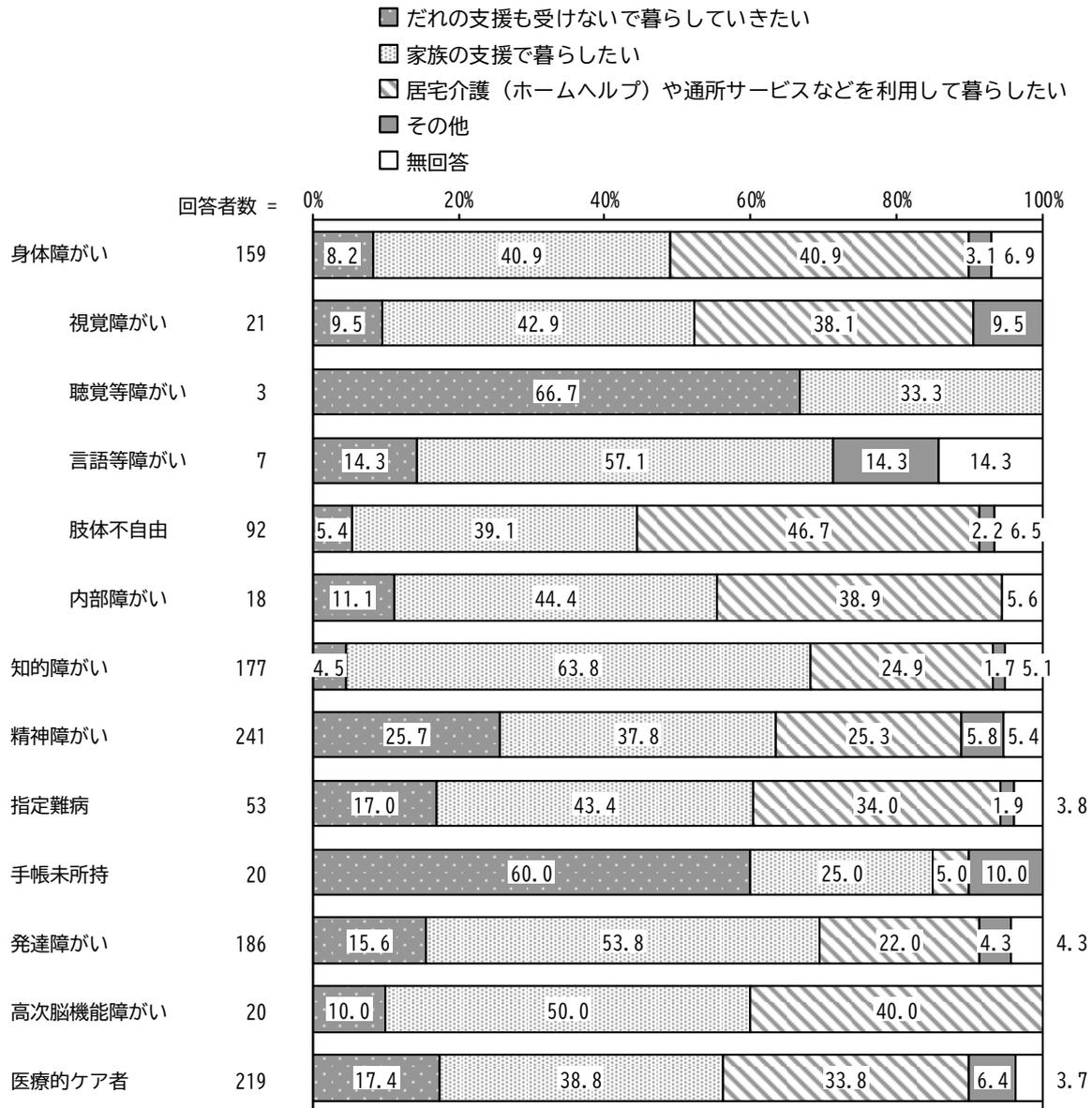


その他の記載内容は次のとおりです。

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・現在は母と生活しているが、母になにかあった場合は自宅介護等受けたいと思います（医療的ケア者） ・自生活
	言語等障がい	・重度訪問介護で、24 時間介護で
	肢体不自由	・サービスを利用しながら生活していきたい（医療的ケア者） ・親の年も考えてこれからの事は考え中
知的障がい		・家族、地域の方と一緒にたすけてもらいながら暮らしたい。 ・今はね ・わからない。（発達障がい，医療的ケア者） ・家族の支援だが、受けられなくなった時はグループホーム。 ・グループホームがいい。
精神障がい		・訪問看護を利用して暮らしていきたい。（同一回答 3 件）（発達障がい，医療的ケア者） ・死ぬ時は 1 人で、自殺でも。（医療的ケア者） ・ヘルパー ・ほうもんかんど、B 型作業所。（発達障がい，医療的ケア者） ・自分にひつような支援を受けながら生活したい。（医療的ケア者） ・家族や使用できるサービス、訪問看護等を利用して暮らしたい。（医療的ケア者） ・支援はほしい、でも借家で生活したい。（発達障がい，医療的ケア者） ・今後、体調悪化等があった場合は、地域の福祉課担当の方に相談したり、病院や地域活動支援センターの担当者に相談し、必要なサービスを聞いて、状況から判断し生活を決めたい。（医療的ケア者） ・家でくらしたいが国からのしえんもあってほしい。
手帳未所持		・わからない ・看問看診で病気を治したいが、大家さんが非常識すぎて精神面がどんどんおかしくなるから、すべてが民事ではなくそういう民事を処理できる人がいる事業がある上で一人で生活したい（医療的ケア者） ・仲間

【障がい種別】

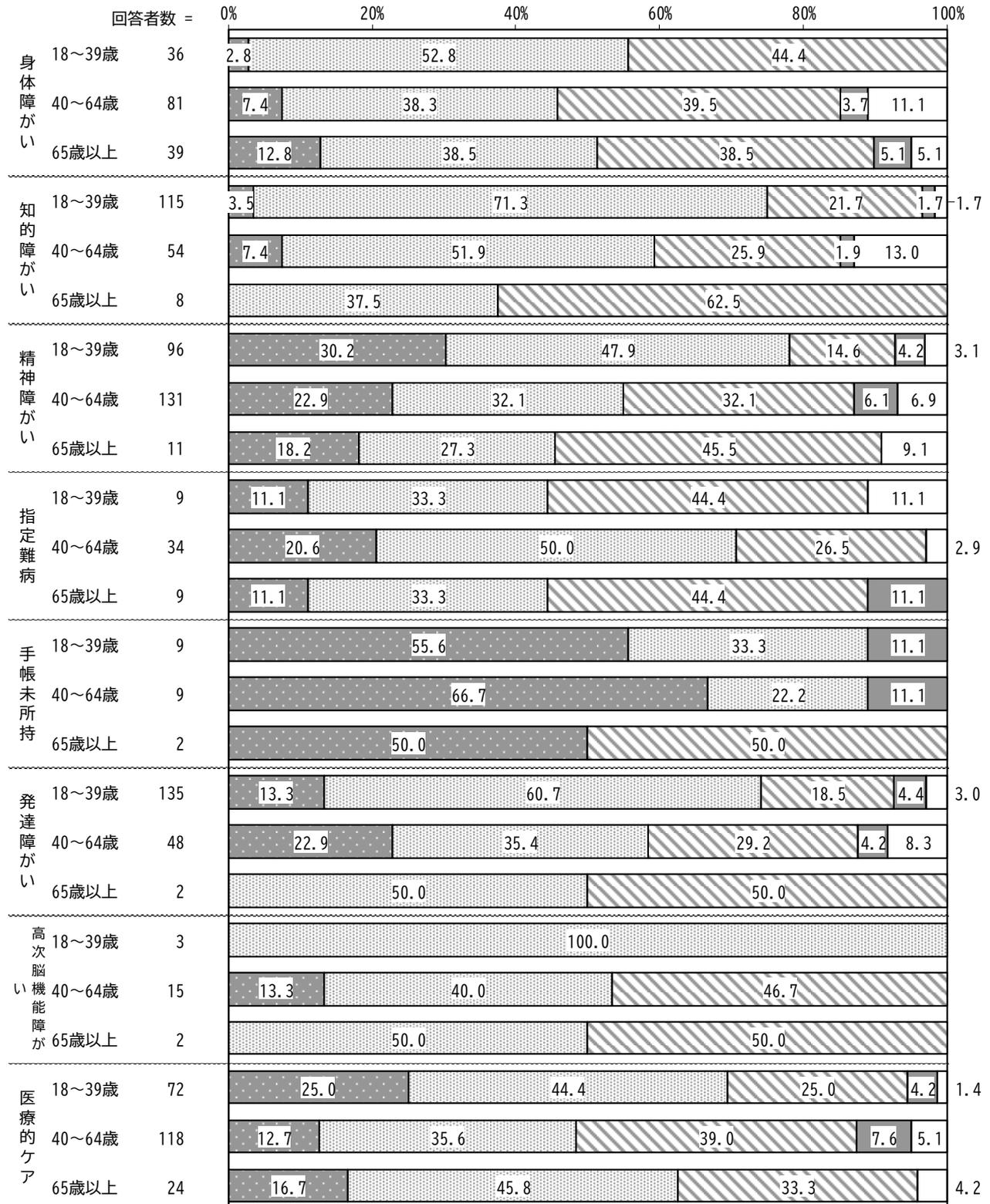
障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「だれの支援も受けなくて暮らしていきたい」、知的障がいや「家族の支援で暮らしたい」、肢体不自由で「居宅介護（ホームヘルプ）や通所サービスなどを利用して暮らしたい」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて知的障がい者の18～39歳で「家族の支援で暮らしたい」の割合が高くなっています。

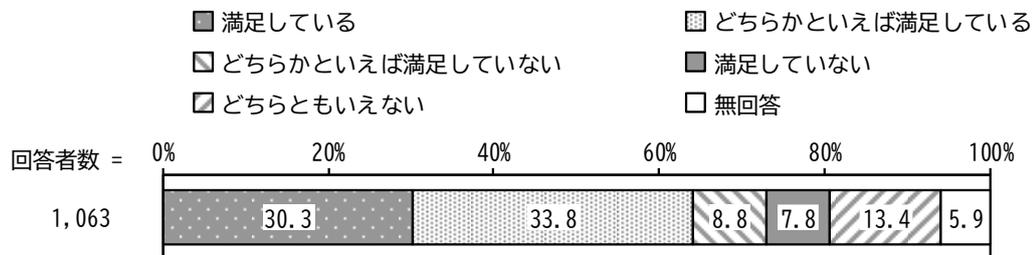
- だれの支援も受けなくて暮らしていきたい
- ▨ 家族の支援で暮らしたい
- ▩ 居宅介護（ホームヘルプ）や通所サービスなどを利用して暮らしたい
- その他
- 無回答



問 24 あなたは、現在の生活についてどのように感じていますか。(○は1つ)

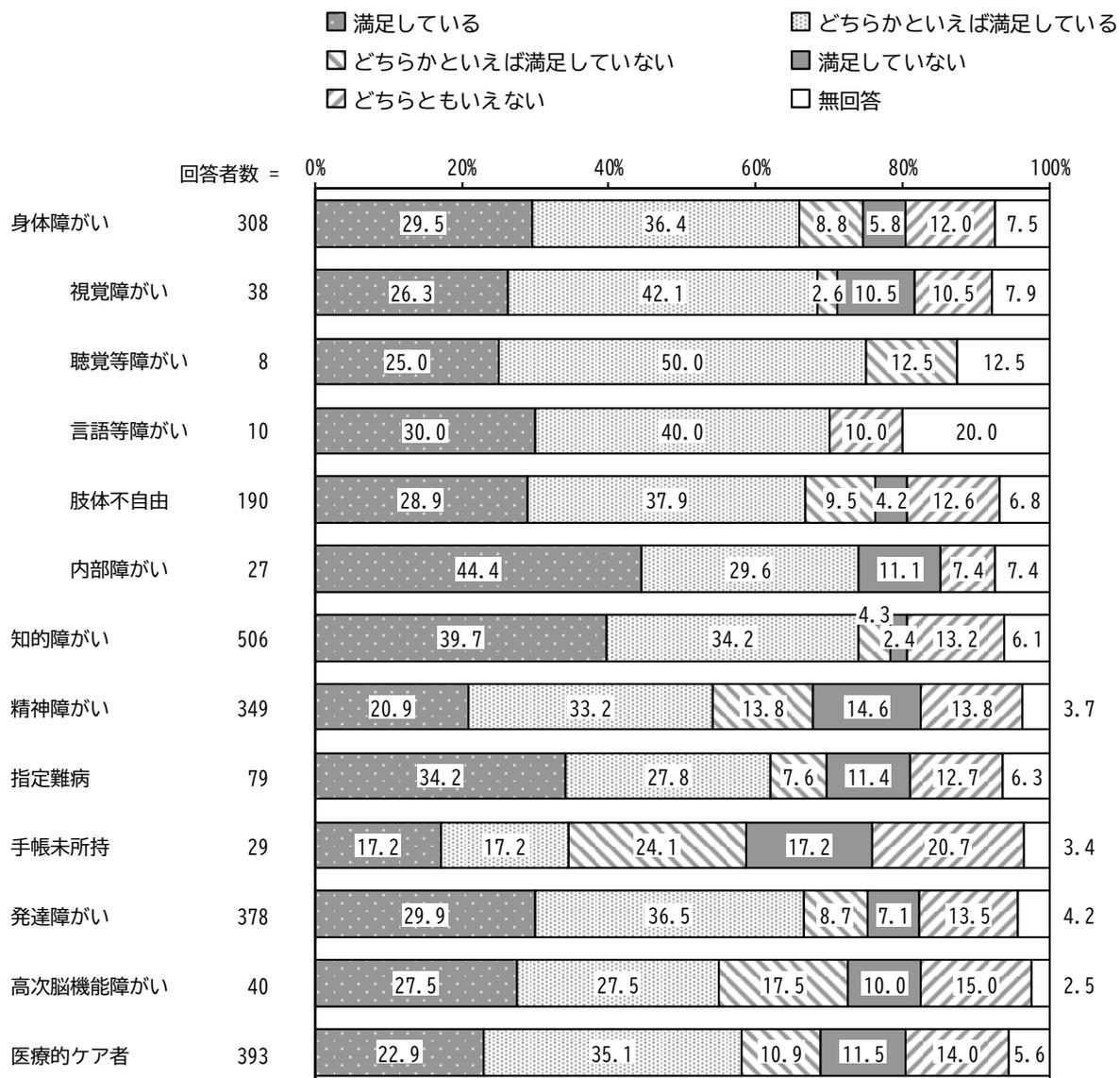
「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”の割合が 64.1%、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせた“不満”の割合が 16.6%となっています。

県調査では、全体の約半数が現在の生活に「満足している」と回答しており、本調査は県に比べやや高い傾向がみられることから、利用している障害福祉サービスや支援者等との関わりが生活の満足度に寄与していることが推察されます。



【障がい種別】

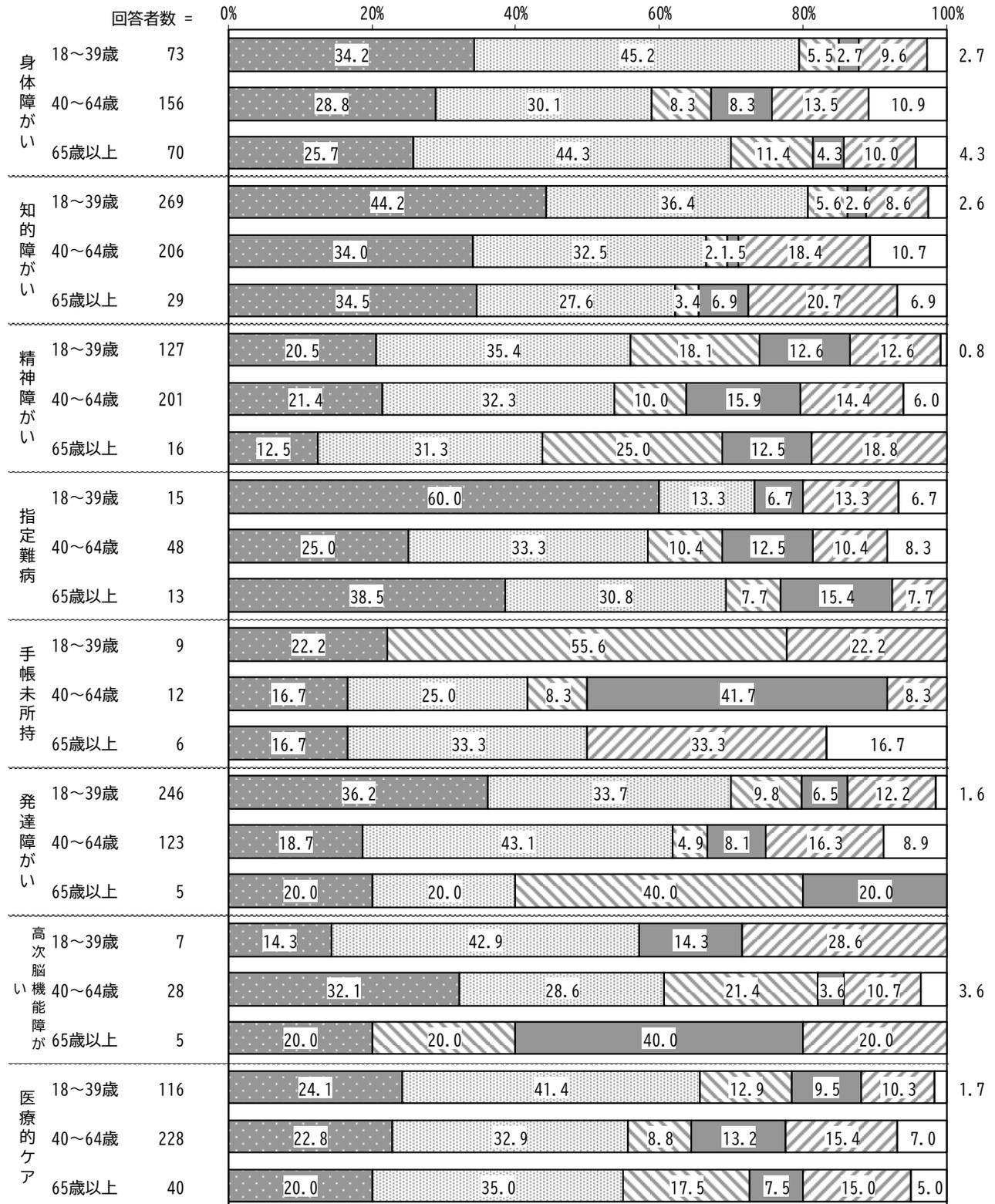
障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で“不満”の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて知的障がい者の18～39歳で“満足”の割合が高く、手帳未所持者の40～64歳で“不満”の割合が高くなっています。

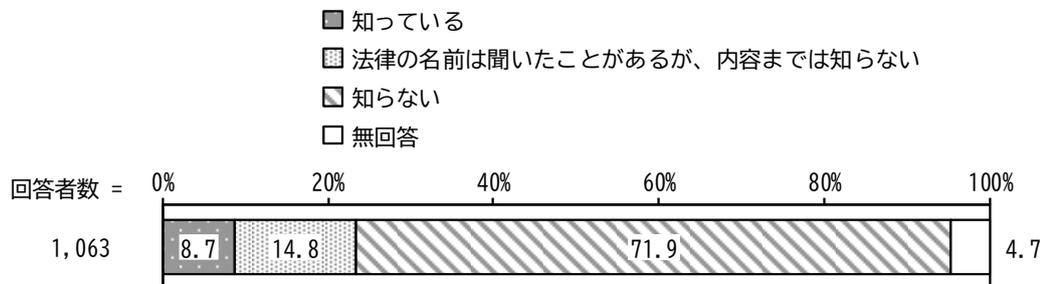
- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば満足していない
- 満足していない
- どちらともいえない
- 無回答



5. 文化

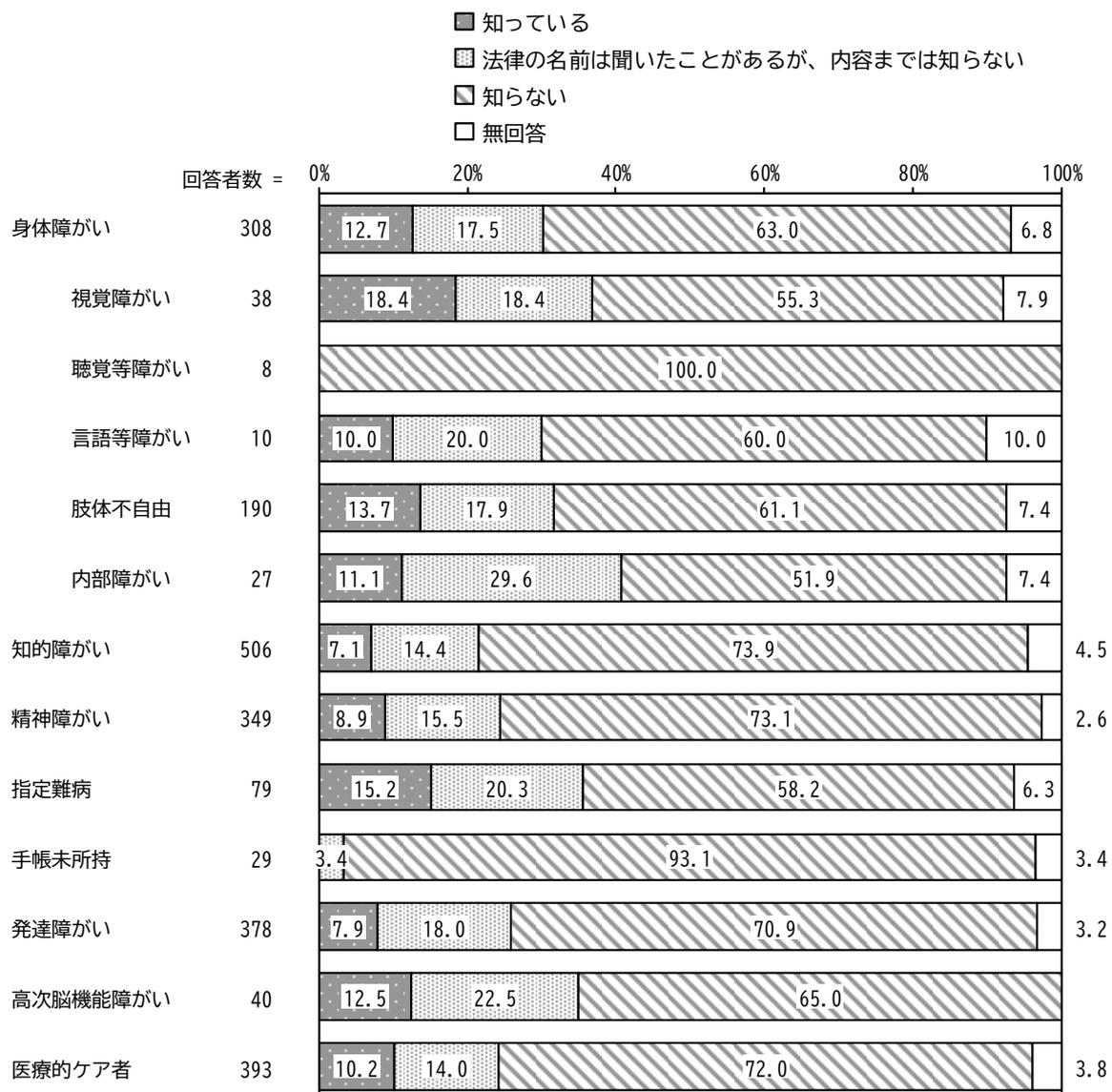
問 25 平成 28 年 4 月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）を知っていますか。（○は 1 つ）

「知っている」の割合が 8.7%、「法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」の割合が 14.8%、「知らない」の割合が 71.9%となっています。



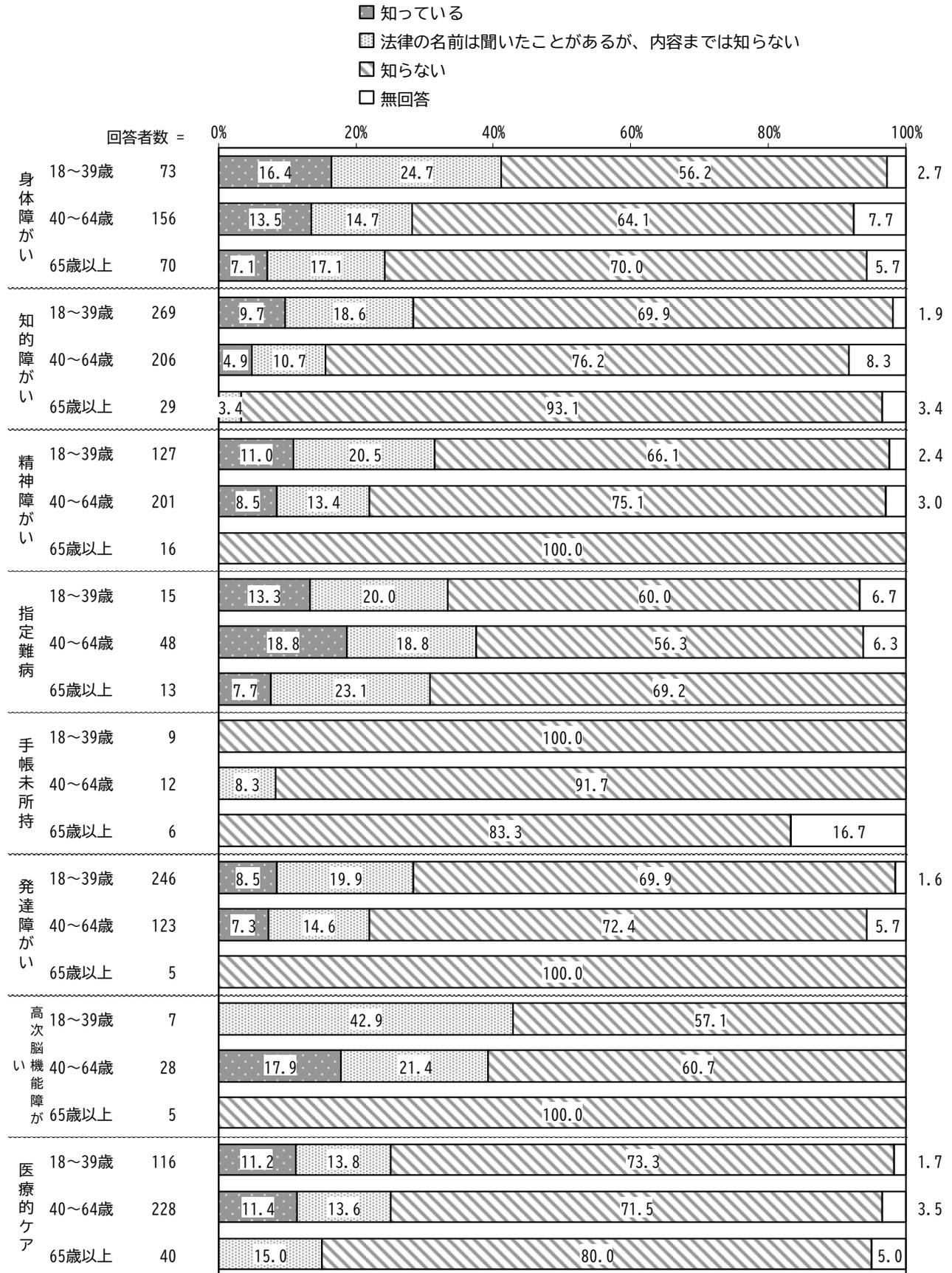
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて内部障がいや「手帳未所持」で「知らない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

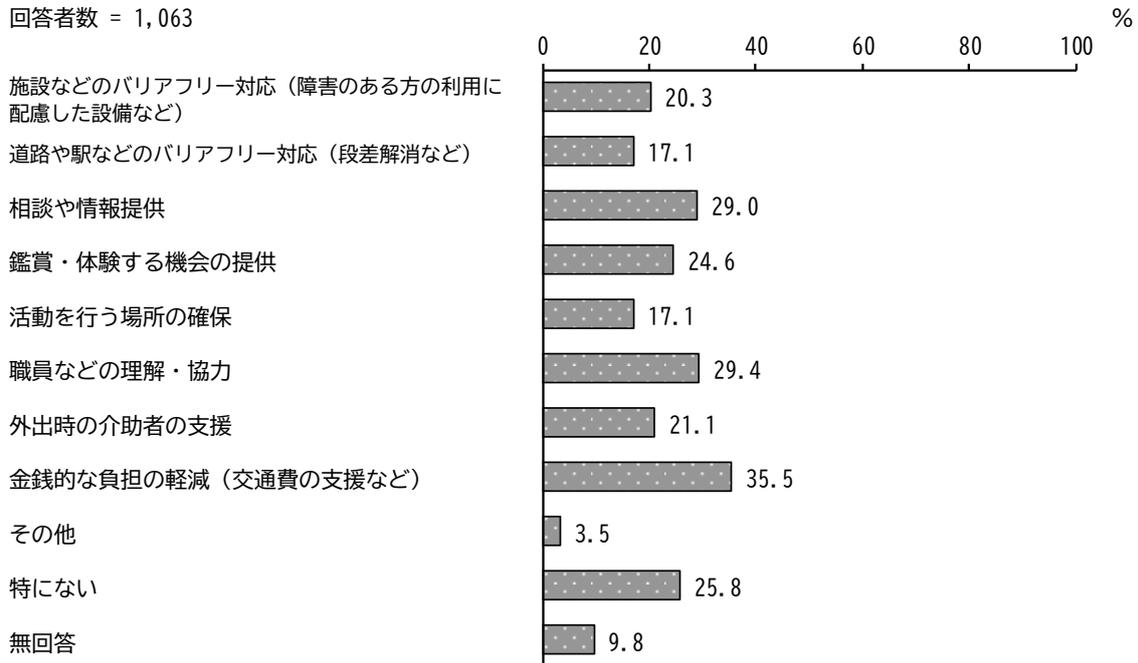
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて知的障がい者の65歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。



問 26 あなたが文化芸術活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「金銭的な負担の軽減（交通費の支援など）」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「職員などの理解・協力」の割合が 29.4%、「相談や情報提供」の割合が 29.0%となっています。

回答者数 = 1,063



その他の記載内容は次のとおりです。

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・歩道のない道路に白線を引いてほしい
	肢体不自由	・映画などDVD、映画館に応募がない（医療的ケア者） ・母のことを手伝ってほしい ・家を出て、帰宅するまで、長時間になると体に負担になります。活動先で、横になれるスペースがあると、体を休めることができます。（発達障がい、医療的ケア者）
	内部障がい	・参加するのがめんどくさい。土・日・祝はいやだ。
知的障がい		・日常生活をおくるにあたり他者様の協力、理解はどうしても必要 ・本人のやる気 ・参加しない ・外出支援サービスを使いたいが、支援者が足りてないのでことわられる（医療的ケア者） ・親の負担が多い ・一緒に鑑賞する人たちの寛容な心（落ち着いて参加できない人への理解） ・送迎してほしい（発達障がい、医療的ケア者） ・わからない

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・参加を希望しない ・ジェネレーションギャップの対策のために、年代に合わせた講座や活動が開催されること ・人が多い所にはいけない ・時間がない（発達障がい，医療的ケア者） ・サッカーチームの試合をみたい。（医療的ケア者） ・わからない ・文化芸術活動のための先生（医療的ケア者） ・障害者用のトイレをもっと増やす ・精神的な負担の軽減（発達障がい，医療的ケア者） ・差別をゼロに（医療的ケア者） ・参加するイメージできない（医療的ケア者） ・障害者アート（アウトサイダーアート）に興味がありますが、明らかに障害者と謳い、活動している芸術には、あまり魅力を感じません芸術短期大を卒業しており、画家になってみたい、表現したいとたまにふと、思うのですが、障害のある人も、健常者も隔たりのない舞台を望んでいます（医療的ケア者） ・行く予定がない（高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・障害の区別に応じたの支援
指定難病	<ul style="list-style-type: none"> ・後遺症で手足不自由、視神経にも影響していて、まともみ見る事も出来ない為、参加するつもりもない（高次脳機能障がい，医療的ケア者）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者周辺の方々の理解や偏見による差別の撤廃 ・安定した仕事と最低限の生活をおくれるだけの収入を得た上でそのような余暇に使えるお金に余裕がある状態にする ・生活保護費用が物価の増加についていけないから増金してほしい（医療的ケア者） ・興味ない（医療的ケア者）
高次脳機能障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しようと思わない

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて肢体不自由で「施設などのバリアフリー対応（障害のある方の利用に配慮した設備など）」「外出時の介助者の支援」、視覚障がい「道路や駅などのバリアフリー対応（段差解消など）」「外出時の介助者の支援」、言語等障がい「職員などの理解・協力」、精神障がい、手帳未所持で「金銭的な負担の軽減（交通費の支援など）」の割合が高くなっています。

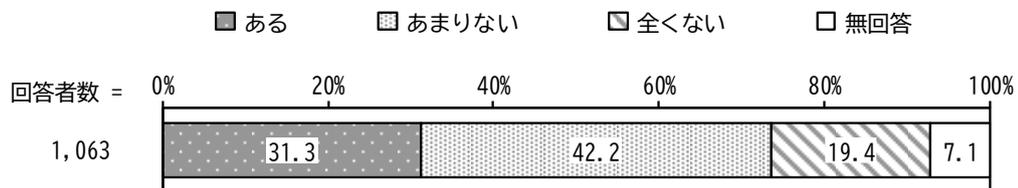
単位：％

区分	回答者数（件）	施設などのバリアフリー対応（障害のある方の利用に配慮した設備など）	道路や駅などのバリアフリー対応（段差解消など）	相談や情報提供	鑑賞・体験する機会の提供	活動を行う場所の確保	職員などの理解・協力	外出時の介助者の支援	金銭的な負担の軽減（交通費の支援など）	その他	特になし	無回答
全体	1,063	20.3	17.1	29.0	24.6	17.1	29.4	21.1	35.5	3.5	25.8	9.8
身体障がい	308	38.0	35.7	23.7	19.5	14.3	25.6	32.5	33.8	2.9	22.4	8.8
視覚障がい	38	36.8	44.7	26.3	15.8	10.5	28.9	36.8	39.5	2.6	15.8	10.5
聴覚等障がい	8	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	62.5	0.0	25.0	0.0
言語等障がい	10	20.0	20.0	30.0	30.0	10.0	40.0	10.0	40.0	0.0	40.0	10.0
肢体不自由	190	44.2	41.1	23.7	21.1	15.8	24.2	35.3	30.5	2.6	22.1	8.9
内部障がい	27	25.9	14.8	22.2	14.8	7.4	25.9	18.5	25.9	3.7	22.2	11.1
知的障がい	506	16.2	13.0	25.9	26.9	15.8	31.0	23.7	25.5	2.4	30.0	9.5
精神障がい	349	17.8	12.6	37.0	29.2	20.3	32.1	11.2	47.6	4.9	22.6	8.6
指定難病	79	32.9	34.2	25.3	20.3	19.0	25.3	30.4	38.0	3.8	20.3	12.7
手帳未所持	29	10.3	10.3	37.9	24.1	24.1	31.0	10.3	48.3	13.8	20.7	13.8
発達障がい	378	14.0	13.0	33.6	31.7	20.1	34.7	20.4	36.8	3.2	24.1	8.2
高次脳機能障がい	40	22.5	20.0	32.5	32.5	17.5	35.0	20.0	32.5	10.0	25.0	2.5
医療的ケア者	393	26.0	21.1	32.6	25.4	18.8	33.1	24.4	41.2	4.3	21.9	8.7

6. 差別・理解への取り組み

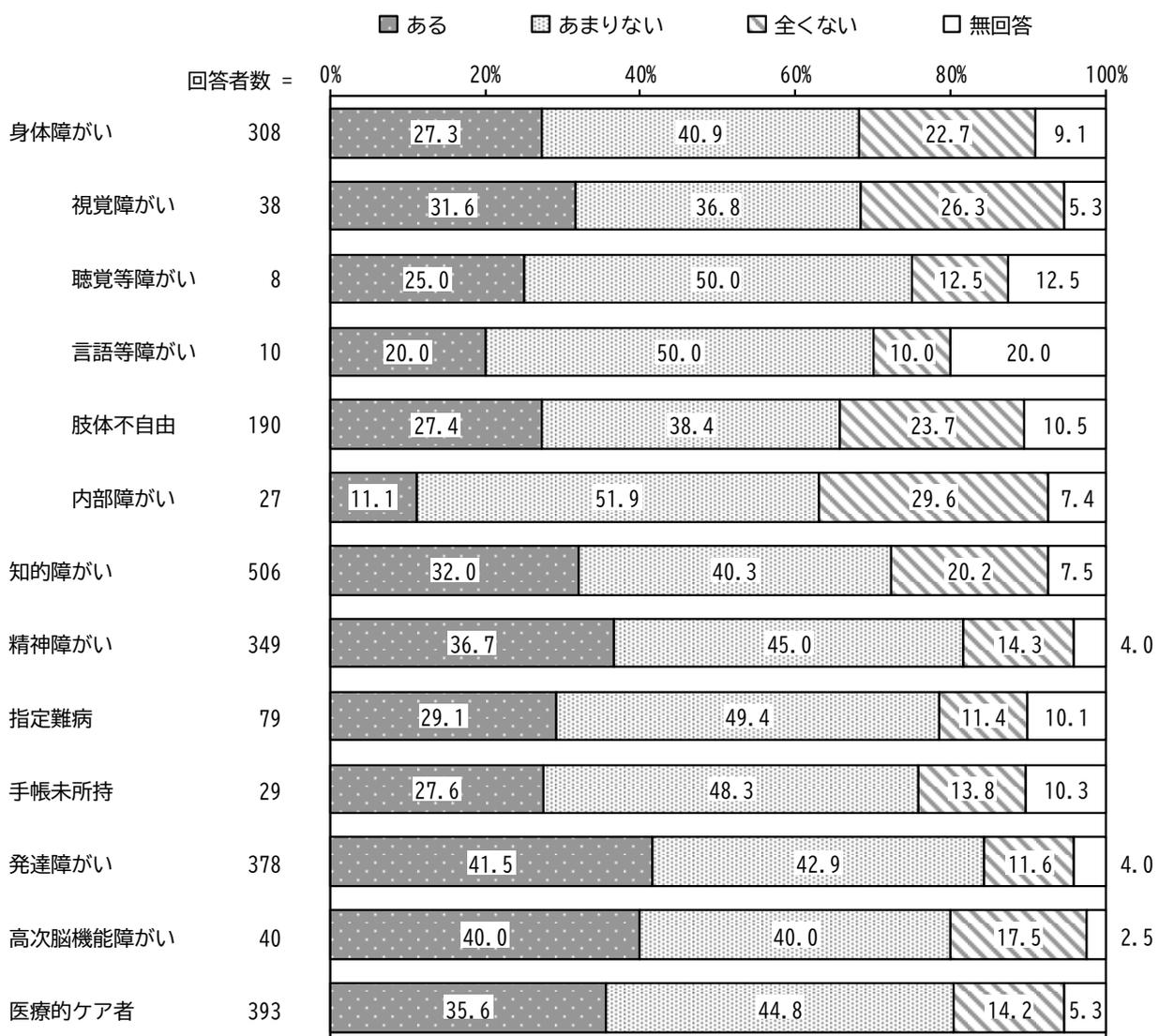
問 27 あなたは、日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を感じることはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が31.3%、「あまりない」の割合が42.2%、「全くない」の割合が19.4%となっています。



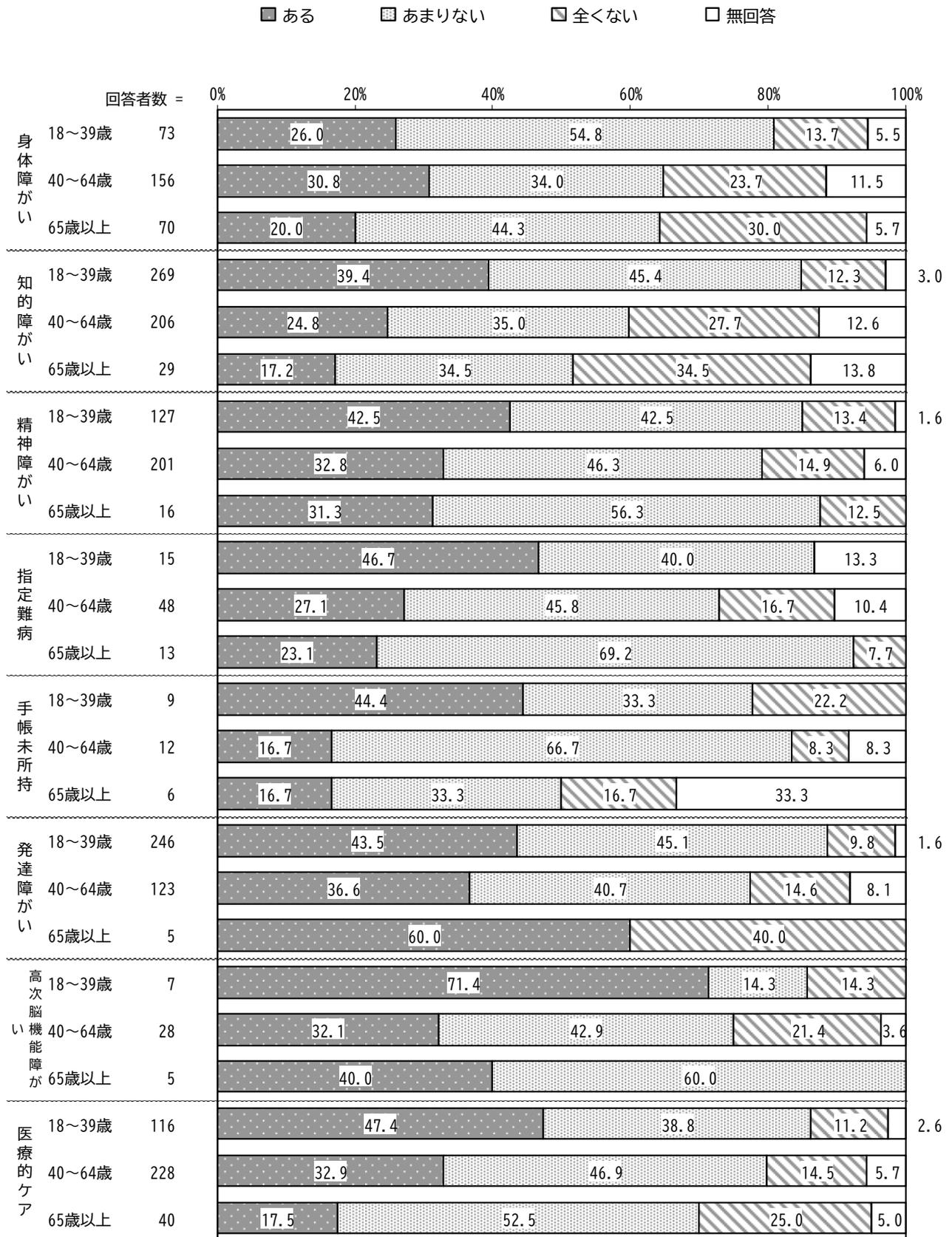
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて発達障がいや「ある」、内部障がいや「全くない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

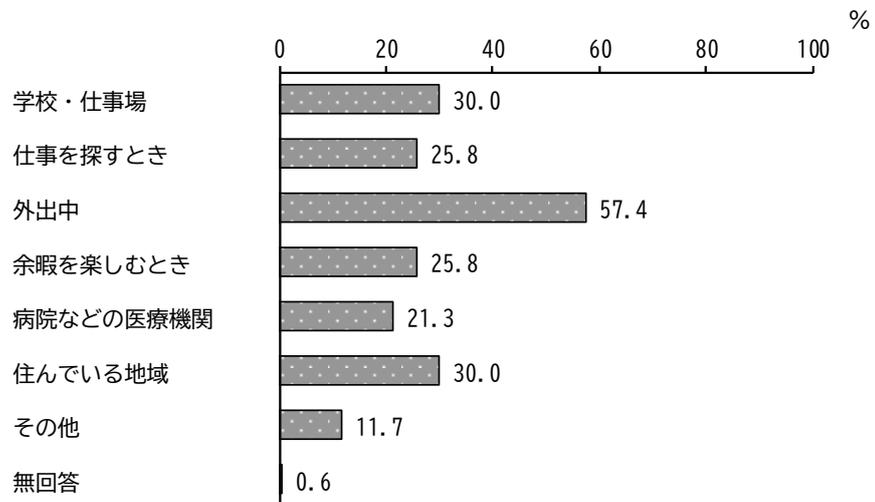
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の65歳以上、手帳未所持者の40～64歳で「あまりない」の割合が高くなっています。



問 27-1 問 27 で「ある」と答えた方におたずねします。どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(〇はいくつでも)

「外出中」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「学校・仕事場」、「住んでいる地域」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 333



その他の記載内容は次のとおりです。

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・小学校の時にあった ・全てにおいて ・公共施設
	聴覚等障がい	・精神的苦痛
	肢体不自由	・自宅（医療的ケア者） ・障害者に対して障害者が守らなければならない法律がきびしすぎる（特に国に対して） ・デイサービスでナースが爪を切ってくれない ・市役所などの行政（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・買い物へ行くときなど（医療的ケア者）
	内部障がい	・施設（高次脳機能障がい, 医療的ケア者）
知的障がい	・ハローワーク小中での差別が特にひどい ・どこにいる時もなんとなく感じる（発達障がい, 医療的ケア者） ・バスの運転手 ・けいさつ ・わからない（発達障がい） ・市の保健所（発達障がい, 医療的ケア者） ・就労継続支援 B 型の職員の対応が悪いです。無理やり体重を計らされました。体重を知られたくないと拒否してもこっちの気持ちを考えてくれなくていやいや体重計に乗らされました！事前に体重計の説明もなく、いきなり言われて、困惑しましたもうちょっと配慮があつていいと思いますもう二度と利用したくないです。（発達障がい, 医療的ケア者） ・バスの中（発達障がい, 高次脳機能障がい, 医療的ケア者）	

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・住処を探するとき ・自宅 ・サービス管理責任者と事業所を取り仕切るトップの対応（医療的ケア者） ・手帳などヘルプマークで障害を開示しなければならないとき（発達障がい、医療的ケア者） ・通学、通勤バスで（医療的ケア者） ・B型やA型支援の作業所（医療的ケア者） ・SNS（医療的ケア者） ・ニュースやSNS（発達障がい、医療的ケア者） ・入学でASDを理由に拒否された（小中高では問題を起こさなかったにも関わらず）（発達障がい、医療的ケア者） ・バスに半額で乗る時 ・買物（発達障がい、医療的ケア者） ・近所の人から ・車イスマーク使用時、年令での偏見 ・家庭 ・ずっとひどいじめをうけたたし算ひき算わり算かけ算、漢字がよめなくて苦勞する、物事をおぼえるのに時間がかかる、時間がまもれない（発達障がい、医療的ケア者） ・すべて
指定難病	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設（特にスーパー）（高次脳機能障がい、医療的ケア者）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS ・A型、B型事業所、公的機関の窓口 ・生活保護の上、足が悪く、精神的に抗うつ病になっていることをいいことに嘘をつく人や、保護費が少なく生活へのししょうがでている為、フードバンクやNPOを使うが、文句を言われることが多いし解決としては、やはり保護費は2万円程増やした方がいいです（医療的ケア者）

【障がい種別】

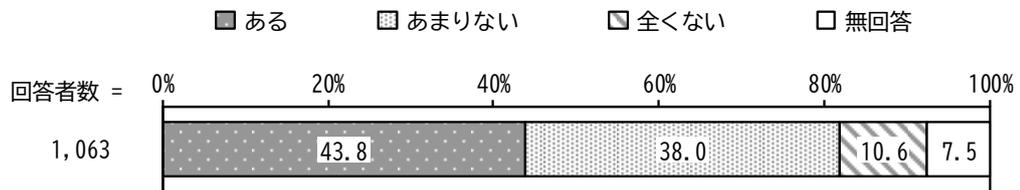
障がい種別にみると、全体と比べて精神障がいで「学校・仕事場」「仕事を探するとき」「病院などの医療機関」、発達障がい、医療的ケア者で「学校・仕事場」、肢体不自由で「外出中」、知的障がいで「外出中」「余暇を楽しむとき」、指定難病で「余暇を楽しむとき」、高次脳機能障がいで「住んでいる地域」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学校・ 仕事場	仕事を探 するとき	外出 中	余暇を楽 しむとき	病院な どの医療 機関	住ん でいる 地域	そ 他	無 回 答
全 体	333	30.0	25.8	57.4	25.8	21.3	30.0	11.7	0.6
身体障がい	84	14.3	14.3	66.7	22.6	14.3	22.6	16.7	0.0
視覚障がい	12	33.3	25.0	66.7	0.0	8.3	16.7	16.7	0.0
聴覚等障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
言語等障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
肢体不自由	52	9.6	11.5	71.2	26.9	13.5	19.2	11.5	0.0
内部障がい	3	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0
知的障がい	162	30.9	11.1	71.6	35.2	19.1	33.3	6.8	0.0
精神障がい	128	35.9	46.1	38.3	20.3	26.6	32.0	11.7	1.6
指定難病	23	13.0	30.4	56.5	34.8	13.0	34.8	13.0	0.0
手帳未所持	8	62.5	50.0	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0
発達障がい	157	36.9	21.7	63.7	31.2	18.5	31.2	10.2	0.0
高次脳機能障がい	16	25.0	18.8	50.0	12.5	18.8	37.5	25.0	0.0
医療的ケア者	140	35.7	25.0	57.9	26.4	22.9	31.4	11.4	0.0

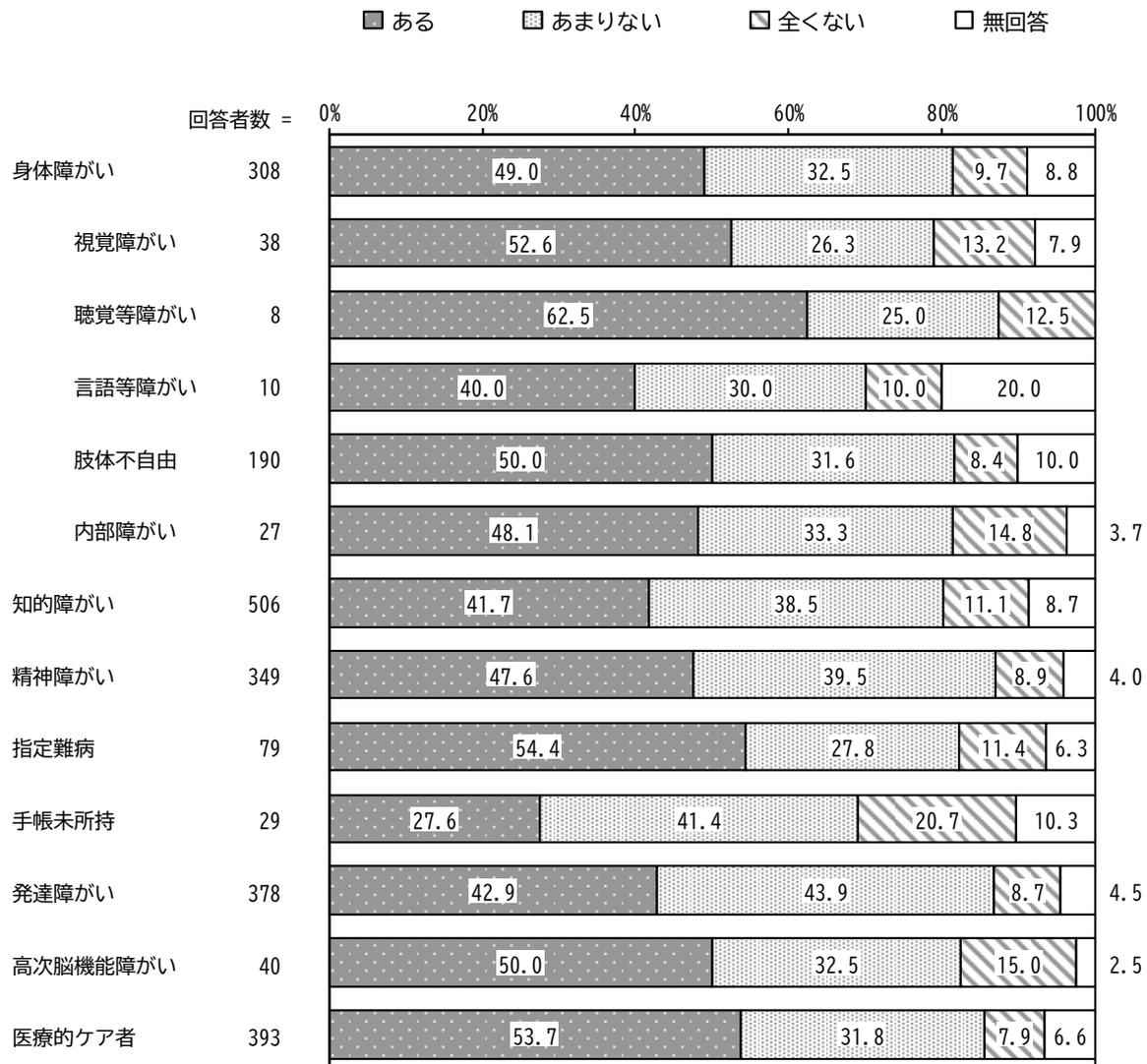
問 28 日常生活において、あなたの障がいについて理解や配慮があり、よかったと感じたことはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が43.8%、「あまりない」の割合が38.0%、「全くない」の割合が10.6%となっています。



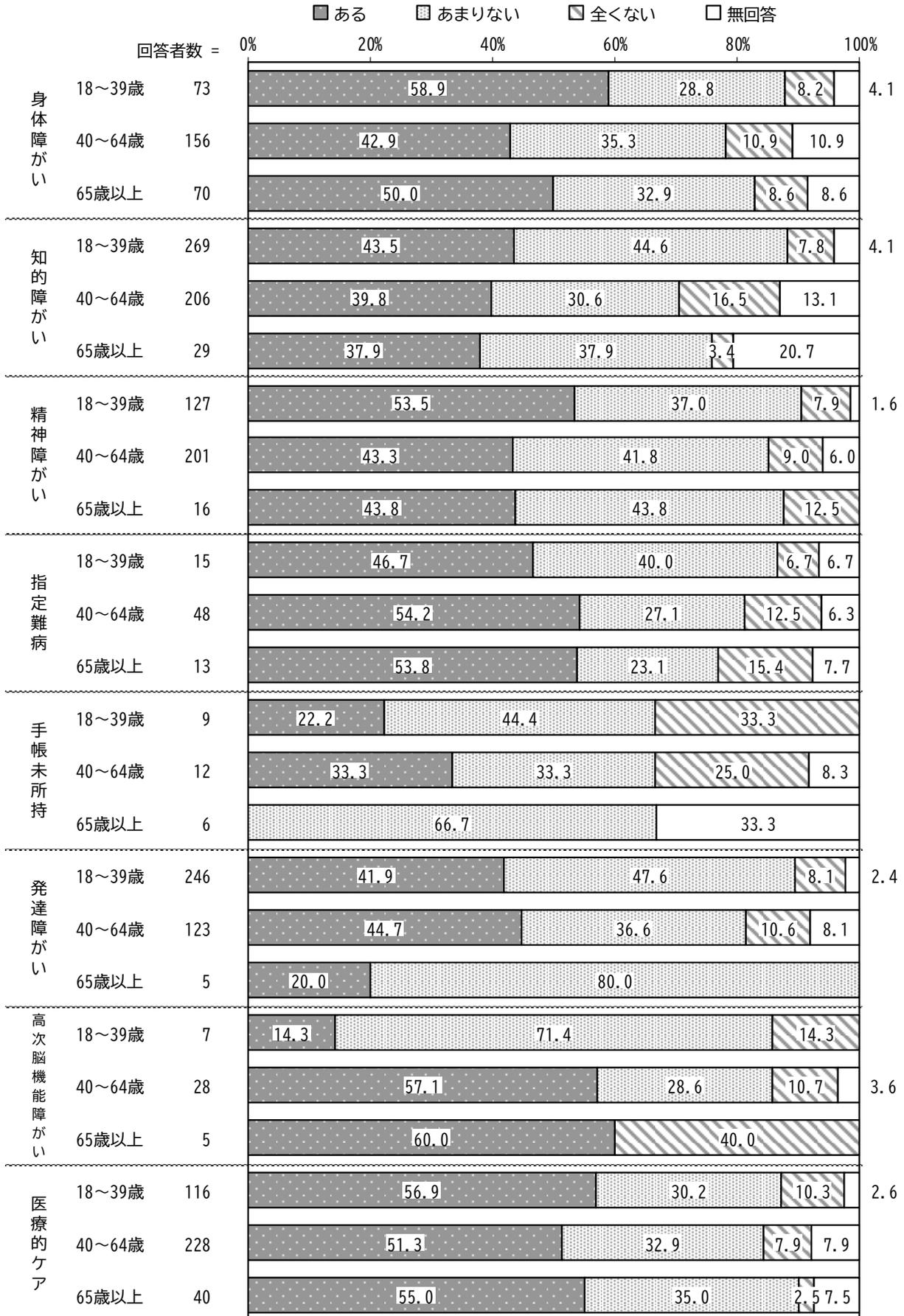
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて指定難病で「ある」、手帳未所持で「全くない」の割合が高くなっています。



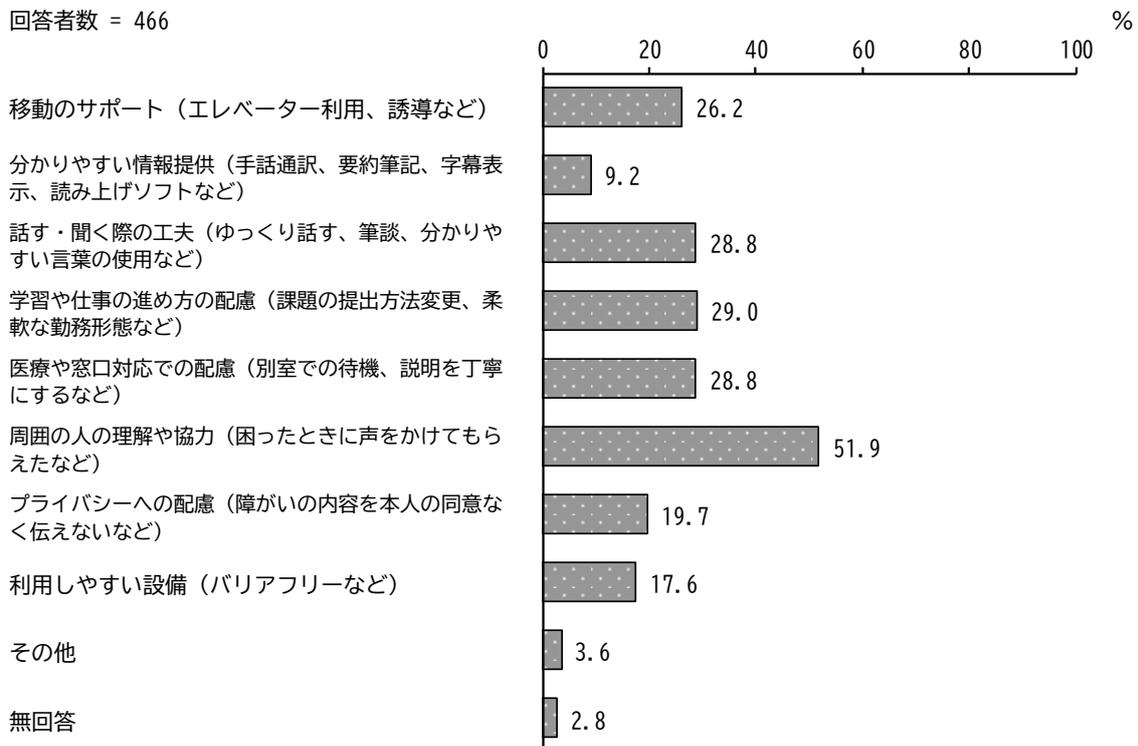
【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の18～39歳で「ある」、知的障がい者の18～39歳で「あまりない」、手帳未所持者の40～64歳で「全くない」の割合が高くなっています。



問 28-1 問 28 で「ある」と答えた方におたずねします。どのようなことをよかったですと感じましたか。(〇はいくつでも)

「周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらえたなど）」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」の割合が 29.0%、「話す・聞く際の工夫（ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など）」、「医療や窓口対応での配慮（別室での待機、説明を丁寧にするなど）」の割合が 28.8%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・ボランティアの方々が沢山支援して下さったり、周りの方々が助けてくれたり色々な場面で多くの人に支えてもらった（医療的ケア者）
	肢体不自由	・適切な施設に入所しているため（医療的ケア者） ・24時間で看護、介護していただいている（医療的ケア者）
	内部障がい	・調査がうざい。答えたくない部分もある。
知的障がい		・私が話した言葉をまわりに分かりやすくまとめて伝えてもらえることがある ・生活介護・入所施設の対応。（発達障がい，医療的ケア者）
精神障がい		・補助制度 ・親族の理解（医療的ケア者） ・仕事に病院にかかりやすいよう休みの調節。仕事の中で会社と同じ病気の方の前例があるか？の開示（発達障がい，医療的ケア者） ・就労支援の支援がよかった（医療的ケア者） ・A型事業所がなかったら、仕事や社会生活を送ることが不可能なのでとても感謝している（発達障がい，医療的ケア者） ・障害者雇用の際の配慮（医療的ケア者） ・学生時代のことばの教室（通級）

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいや「移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）」、「分かりやすい情報提供（手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど）」、高次脳機能障がいや「話す・聞く際の工夫（ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など）」、精神障がいや「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」、肢体不自由で「利用しやすい設備（バリアフリーなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）	分かりやすい情報提供（手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど）	話す・聞く際の工夫（ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など）	学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）	医療や窓口対応での配慮（別室での待機、説明を丁寧にするなど）	周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらったなど）	プライバシーへの配慮（障がいの内容を本人の同意なく伝えないなど）	利用しやすい設備（バリアフリーなど）	その他	無回答
全体	466	26.2	9.2	28.8	29.0	28.8	51.9	19.7	17.6	3.6	2.8
身体障がい	151	50.3	9.9	21.9	9.9	28.5	48.3	14.6	35.8	2.6	4.0
視覚障がい	20	65.0	20.0	5.0	5.0	25.0	25.0	0.0	15.0	5.0	0.0
聴覚等障がい	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0
言語等障がい	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
肢体不自由	95	55.8	7.4	21.1	9.5	29.5	53.7	16.8	46.3	2.1	1.1
内部障がい	13	23.1	0.0	23.1	23.1	30.8	61.5	15.4	7.7	7.7	7.7
知的障がい	211	28.0	10.0	34.1	26.5	28.4	54.0	15.2	18.5	2.8	1.9
精神障がい	166	7.2	7.8	30.1	45.2	31.9	50.0	27.1	10.2	5.4	3.6
指定難病	43	44.2	11.6	20.9	20.9	25.6	44.2	25.6	27.9	4.7	11.6
手帳未所持	8	12.5	0.0	12.5	25.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	162	21.6	8.6	34.0	40.7	25.3	51.9	20.4	12.3	3.7	2.5
高次脳機能障がい	20	30.0	5.0	40.0	25.0	35.0	50.0	20.0	30.0	0.0	0.0
医療的ケア者	211	24.6	9.5	25.1	28.0	33.6	52.1	21.3	17.1	4.7	3.3

【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の65歳以上で「移動のサポート（エレベーター利用、誘導など）」精神障がい者の18～39歳で「学習や仕事の進め方の配慮（課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など）」、知的障がい者の40～64歳、発達障がい者の40～64歳で「周囲の人の理解や協力（困ったときに声をかけてもらえたなど）」、身体障がい者の18～39歳、身体障がい者の40～64歳で「利用しやすい設備（バリアフリーなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

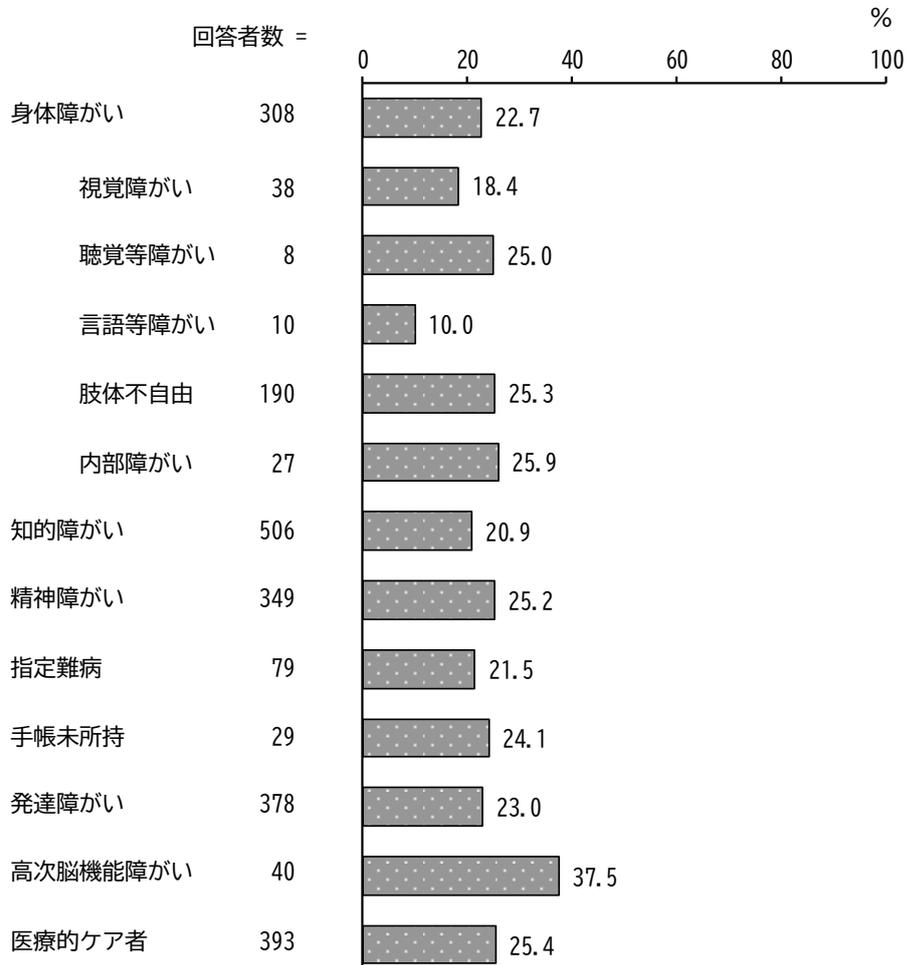
区分	回答者数(件)	移動のサポート(エレベーター利用、誘導など)	分かりやすい情報提供(手話通訳、要約筆記、字幕表示、読み上げソフトなど)	話す・聞く際の工夫(ゆっくり話す、筆談、分かりやすい言葉の使用など)	学習や仕事の進め方の配慮(課題の提出方法変更、柔軟な勤務形態など)	医療や窓口対応での配慮(別室での待機、説明を丁寧にするなど)	周囲の人の理解や協力(困ったときに声をかけてもらえたなど)	本人の同意なく伝えられないなど)	利用しやすい設備(バリアフリーなど)	その他	無回答
全体	466	26.2	9.2	28.8	29.0	28.8	51.9	19.7	17.6	3.6	2.8
身体障がい者の18～39歳	43	41.9	7.0	16.3	18.6	32.6	46.5	9.3	37.2	2.3	4.7
身体障がい者の40～64歳	67	49.3	14.9	26.9	9.0	23.9	50.7	16.4	38.8	3.0	3.0
身体障がい者の65歳以上	35	54.3	5.7	17.1	2.9	31.4	42.9	14.3	22.9	2.9	5.7
知的障がい者の18～39歳	117	26.5	10.3	30.8	33.3	30.8	51.3	9.4	13.7	2.6	2.6
知的障がい者の40～64歳	82	30.5	9.8	39.0	19.5	23.2	59.8	25.6	24.4	3.7	1.2
知的障がい者の65歳以上	11	18.2	9.1	36.4	9.1	36.4	36.4	—	18.2	—	—
精神障がい者の18～39歳	68	4.4	8.8	22.1	52.9	20.6	50.0	23.5	4.4	5.9	2.9
精神障がい者の40～64歳	87	8.0	8.0	35.6	42.5	37.9	49.4	29.9	13.8	5.7	3.4
精神障がい者の65歳以上	7	28.6	—	28.6	14.3	57.1	42.9	14.3	28.6	—	14.3
指定難病者の18～39歳	7	—	14.3	14.3	42.9	14.3	42.9	42.9	14.3	—	14.3
指定難病者の40～64歳	26	46.2	15.4	23.1	19.2	30.8	38.5	23.1	26.9	7.7	7.7
指定難病者の65歳以上	7	57.1	—	14.3	14.3	28.6	57.1	14.3	28.6	—	28.6
手帳未所持者の18～39歳	2	—	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—
手帳未所持者の40～64歳	4	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—
手帳未所持者の65歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
発達障がい者の18～39歳	103	15.5	8.7	27.2	46.6	24.3	49.5	16.5	5.8	3.9	3.9
発達障がい者の40～64歳	55	30.9	9.1	45.5	30.9	25.5	58.2	29.1	23.6	3.6	—
発達障がい者の65歳以上	1	—	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
高次脳機能障がい者の18～39歳	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—
高次脳機能障がい者の40～64歳	16	18.8	6.3	31.3	31.3	37.5	50.0	18.8	25.0	—	—
高次脳機能障がい者の65歳以上	3	66.7	—	66.7	—	33.3	66.7	33.3	33.3	—	—
医療的ケア者の18～39歳	66	19.7	9.1	22.7	37.9	33.3	53.0	18.2	12.1	3.0	3.0
医療的ケア者の40～64歳	117	23.1	10.3	28.2	27.4	34.2	52.1	23.1	18.8	6.0	3.4
医療的ケア者の65歳以上	22	40.9	9.1	9.1	4.5	36.4	40.9	13.6	18.2	4.5	4.5

7. 自由記述

ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

【障がい種別】

障がい種別にみると、高次脳機能障害と内部障害、医療的ケア者で回答率が高くなっています。



意見の内容をみると、「その他・全般」を除き、視覚障がいでは「外出・活動」、聴覚等障がいでは「生活支援」と「差別・理解」が同率で、言語等障がいでは「差別・理解」が、肢体不自由では「外出・活動」が、内部障がいでは「情報・相談」が、それぞれ最も高くなっています。身体障がいでは「外出・活動」と「情報・相談」が同率で、障がいの種類により多少の異なりがみられます。

また、知的障がいでは「住まい等」と「情報・相談」が同率で、精神障がいでは「就労・就学等」が、指定難病患者では「生活支援」と「外出・活動」が同率で、手帳未所持では「生活支援」が、発達障がいでは「情報・相談」が、高次脳機能障がいでは「就労・就学等」が、医療的ケア者では「生活支援」がそれぞれ最も高く、関心が高いことがうかがえます。



※高次脳機能障害で回答率が高いとされていますが、障がい種別が重複しているため具体的な意見が少なくなっています。

自由意見の記述回答は次のとおりです。

(※複数カテゴリに分類される意見は1つのカテゴリにのみ意見を記載しています。また、固有名詞が含まれていたため、一部の表記を変更しました。)

■住まい等

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・岐阜市内に障がい者入所施設を作って欲しい。65才を過ぎても障がい者入所施設に入れるよう法律を変更して欲しい。アンケートのボリュームが多過ぎる。
	肢体不自由	・私達年齢の高い者の利用出来る施設がありません。年齢が高くなったからと言ってすぐに介護施設への利用とはいかがな事かと思えます。たとえば障害福祉サービスのような事業所をもっとたくさん開設してほしいです。よろしくをお願いします。 ・いわゆる老人ホームはたくさんあるが、身体障害者の入所施設がとても少ない。私は入所できたがまだまだ困っている人たちがたくさんいると思う。入所するまで息子はまともに働けなかったです。どうか障害者やそれにかかわる人たちへの支援が必要だと常々思っています。よろしくをお願いします。(指定難病, 医療的ケア者) ・今現在グループホームは 365 日利用出来ない市町があります。これから先も土、日は家に帰らされるのは親なき後が心配です。親がいなくなつてからでは遅く 365 日利用出来る様に職員の確保して育てて頂ける様に補助金など考えて頂きたく思っています。(指定難病)
	内部障がい	・障害者入所施設を増やしてほしい。(知的障がい, 発達障がい)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に近い場所にグループホームがあったら、自力で移動できるので自治の質が上がると思います。希望しています。(精神障がい, 発達障がい) ・高齢者になった時、今のグループホームは利用できないので将来どうなるのかなと思う。(発達障がい) ・障害者に対する一般人の目はまだまだ冷たく感じられます。親が亡くなった時に障害(知的障害)のある子が生きていけるのか不安である。行政運営の事業所、グループホームを作って欲しい。(発達障がい, 医療的ケア者) ・親が介護できなくなった時、グループホームか入所施設に入って生活したい。外出支援サービスを利用して外食などを楽しみたいが、グループホームは支援サービスが使えるが、入所施設では使えない。親がお金を用意(共済遺族年金)していても、使えなかったら悲しい。遺族年金(親の死後)を使って、外出サービスができるといい。(医療的ケア者) ・施設が増えたらいいです。老人ホームと一緒にあったらいいと思うけど無理ですね。親が親と子の介設なので・・・。 ・国の方針により、入所施設等は作らず、グループホームなど地域の中で障害のある人も生きていく方向だと聞いています。ただ自分の子どもは障害も重く、1人で過ごすことのできる時間はなく、24時間必ず誰か(家族、ヘルパー、事業所職員等)がそばにいないことが必要です。そんな子どもはグループホームでの生活も難しいのではないかと考えています。親亡き後、安心して預けられる設備や職員のしっかりした入所施設が岐阜市にあれば親としても安心ですが、現状、岐阜市の中にはそういった施設が十分ではないように思います。国の方針はわかりませんが、ぜひ、入所施設の新設を考えていただきたいです。また、大規模災害時に障害のある子どもと避難所に他の方々と避難することもおそらく難しいと感じています(1か所に落ちついてじっとしてられない、眠りが不安定、大きな声をあげることがある、他の人をひっぱったりするなど)。ダンボールで囲ったぐらいでは、集団の中に入れられない子ども(障害のある子ども)はどう避難したらよいか不安でたまりません。どんな配慮を行政として考えて下さっているのかをぜひ、十分周知していただきたいです。(発達障がい) 	

知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・親なき後も安心して暮らせるようにしてほしい。(同一回答5件)(発達障がい) ・安心して利用出来るグループホームの設立。今は数が少なく選択肢が少ない。(医療的ケア者) ・①年齢が高くなり障がい福祉サービスから高齢者サービスに切り替えました。福祉サービスにしかないものは受けられるから何も困らないとの説明でした。しかしB型に通いながらショートステイをすることは不可能でした。高齢者のショートステイは朝から次の日の夕方までと決まっているから、昼間はB型に行けないのです。この現実はかなりショックでした。②グループホームに入ることを進めているようですが、障がい年金だけでは足りないのでB型の仕事で収入の高い内容を探さなければならないようです。①も②も本人がある程度の蓄えを持っていないとキツイ生活になると思います。 ・今は50才になり、施設に入所しています。初めは大変でしたけど落ちついてきてます。30年ぐらいになります。親も一人で高齢になり、体も不安ばかりです。職員の方も、良い人ばかりで子供も安心して、ゆっくりと生活してほしいと願っています。(発達障がい) ・お風呂全体がカビ、洗濯機も、カビくさい。特に、何があったらそうだんしてと言ひ、言うとおこられる。食事調味料などは、自分で、支援は、どうなっているのか、ホームなのに……。せんざいは、ないので、自分で……。(精神障がい, 発達障がい, 医療的ケア者) ・自宅や、作業所の近くに、グループホームがないのでできるといいと思っている。(発達障がい) ・本人は自宅で暮らしていきたいという希望なのでできるだけそのように家族でサポートしていきたいと思っていますが、長い目で見るとグループホームの利用なども必要になってくる時がくると思い、準備が必要だと考えます。(同一回答2件)(発達障がい) ・強度行動障害のある人は入所施設に入る事は定員の事もあり難しそうで大変です。 ・できるだけ自宅での生活を続けたいけど、必要な時には今の事業所の仲間たちと一緒に暮らしたい。65才になっちゃうと、もうグループホームに入れないと聞いたけど、入れるようにしてほしい。
精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持った人たちと一般の人たちが交流できる機会を積極的に作ってほしい。公営住宅に障がい者枠が少ないのはなぜでしょうか？(医療的ケア者)

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと「ヘルプマーク」の認知度が上がると良いなと思います。じゃないと持つ意味がないので。手当てが少ない。(指定難病, 医療的ケア者)
	聴覚等障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のため、仕事がなかなか見つからないので金銭的な援助がほしい。生活が苦しい。
	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高のせいか、今まで無料で入れた施設が半額の支払いが増えました。障害者には何とか無料にしてほしいです。(医療的ケア者) ・障がい者年金の増額をしてほしい。安すぎる不安で仕方がない。もっと障がい者の給料を上げてほしい。少なすぎる。安すぎる、岐阜は特に安すぎる。(医療的ケア者) ・日常生活用具費支給でオムツ、尿とりパットの支給を受けていますが、オシリ拭きや浣腸や適便をする時に寝具が汚染されないようにするペットシートみたいな物は排泄介助には必需品だと思いますがどう思われますか。支給金額には不満と言いませんが支給物品に関しては誰が決めるのですか。健常者が決めても介護者のためにはなっていないことも多々あります。もっともっと介護者に寄りそって考えて下さい。この長い間にそういった必要とするものは何か一度も聞かれたこともありません。何か必要とするのか是非ともアンケート調査として物品の検討をお願いします。この意見がむだにならないことと願っています。トイレでウォッシュレットで洗浄する行為を全てベット上ですることを考慮すれば必要物品がわかるはずですよ。各務原市や愛知県のレベルになって下さい。(知的障がい, 医療的ケア者) ・B型支援のちんぎんが安い。障害の中度以上の人でも月3万～4万もらいたいと思うが、安い。内職の事業所版みたいなもので自分が思うだけ稼ごうと思ったら人一倍がんばらないともらえない。 ・自己負担金を減らして欲しい。交通バリアフリーを徹底してほしい。お願いします。(高次脳機能障がい, 医療的ケア者) ・介護者のサポート対応も考えて頂きたいです。岐阜市は何もありませんよね？長年お願いしていても変化がないので本当にサポートシステムを作って頂きたいです。(知的障がい, 発達障がい, 医療的ケア者)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本は子供支援はたくさんあります。本当に必要なお金(不妊治療など学費、給食費)はわかりますが。子供世帯への給付は結局は旅行や車、借金返済に使われてるように思います。障害を持つ方もほしくて生まれてわけではありません。一生オムツなど必要な方もいます。1,000/月ではたりません。もっと障害者の方へも優しくしてほしいです。私は障害のある子を育てながら障害福祉で働いてます。うちだけではないんだな困ってる人・・・いつも思います。もう少し障害者にも目をむけて下さい。世の中に迎えてあげて下さい。お願いします。大声をあげてる子を見ても、ギョロギョロみる世の中を変えて下さい。時間をとって記入してます。どうかどうか障害のある方にも明るい未来がくるように先おくりせず今を見て下さい。(発達障がい) ・重度の知的障害者は生活全般において介護が必要です。生活の成り立ちの知識もなく、自分ではしを持ってても食事の用意をしてもらわなくては食事できません。自分で服の脱ぎ着はできても自分で服を用意する事はできません。自分ではしを持てるから、服の脱ぎ着ができるからといって軽くみられると大変困ります。そういう事を理解してもらえる福祉であってほしいと願います。福祉関係の場所は多忙を理由に対応が残念な感じです。向こう側にとっては多数の内のひとりでもこちらはなくてはやっていけない支援です。市役所の福祉課でも必要な問い合わせをしても返事がなくて困ります。(発達障がい) ・ひとり暮らしを続けたいが、将来は定期的な訪問や家事援助、緊急時の連絡等の支援を希望します。(発達障がい) ・年金をふやしてほしい。 	

<p>精神障がい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患で働ける仕事が少ない。精神的につらくても仕事を優先しなければいけない。国民年金を払っていなかったため、障害年金がないので生活が苦しい。もういつ死んでもいい。将来に希望を感じる日本ではない。(医療的ケア者) ・しょうがいがあっても、かていをきずきたいと思う。ひんこんのさがさくなるくらい良いよのなかになるといいな。 ・双極性躁うつ病です。障害者なのに年金が少ないので困ってます。(医療的ケア者) ・現在A型事業所と障害年金で暮していますが、生活が苦しいです(物価高)。仕事を休みたくても生活があるので休めません。体調も悪くなる一方です。一番心配なのは、障害年金の更新です。新規の障害年金自給率が低くなっているのは聞いていますが、更新にはしっかりと判断を国に求めます。障害年金がなくなると生活出来ません。もう死ぬしかありません。障害者にも生きる権利を。(医療的ケア者) ・問13-1ヘルパーには掃除を手伝ってもらってます(買い物依存症があります)。問13-1親が70才代です。私は子供が(10代の子)がいます。この2人が支援していただいています。稼がないと生活が安定しない。保険みたいなのがほしい。(発達障がい, 医療的ケア者) ・障害者はバカにされたらムカつきます。対等に扱って下さい。生活保護費、年金が少なすぎる!! 障害者の賃金が低すぎます。バカにするな!! 障害者の意見、要望を日本政府はもっと考えろ!! バカにするのもいい加減にしろ!! また言ってるくらいにしか思っていないだろ!! バカヤロー!! (医療的ケア者) ・障害年金がたりないのもう少しふやしてほしい。(医療的ケア者) ・物価が高すぎて生活にまっただできない。(医療的ケア者) ・生活保護の半額でくらしているので年金をもっと3倍5倍にしてほしいです。犬やねこをもっと大切にしてほしいです。(指定難病, 医療的ケア者) ・障害年金の額を、増やしてほしい。生活出来ないです。(指定難病) ・障がい年金は自分が死ぬ(自死を含めて)までもらえないと生活できないのでお願いします。バスは半額で乗れますが、電車は全額なので半額になるようにしてもらいたいです。統合失調症では生命保険に入れる保険がなく入れる生命保険会社を増やして欲しいです。 ・行政に提出する書類が難しく、手続きを諦めてしまう人が身近にいました。書類作成のための支援を市からも提供してもらえるとありがたいです。障害福祉サービスを利用する時の交通費の負担が重いです。B型就労で工賃300円/時の場合、交通費と工賃を合わせても赤字になることがあるため利用をひかえてしまいます。サービス利用時の交通費に対する補助を増やしてほしいです。 ・今後親がいなくなったら施設の金などの援助がなくなるのでその時は年金ではやって行けなくなるのでどうしたらよいか不安です。兄弟にはきられてますのでたよれないのでそう思います。保証人になってもらえないので不安です。(医療的ケア者) ・うつ病にかかった時、年金保険料が1ヶ月だけ免除がされてなくて障害2級なのに障害年金がうけとれなくて生活保護をうける事になった。何か理不尽に感じた。(医療的ケア者)
<p>手帳未所持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援(A・B)が助成金ビジネスになり本来、一般就労(障害者雇用等)できる利用者を囲い込もうとしてまるで障害者には人権、自分で判断する能力がない、というような扱いを受けてきた。助成金や利用料などで企業には10万円以上入るのに利用者には1~6万程度(Bの場合だと)しか入らず、ただ労働搾取、労働奴隷としてこき使われているにすぎない現状。その助成金等の1/3なりでも利用者自身に毎月、通った日数、時間に応じて還元してくれた方が障がい者の人生のためになると思う(毎月、明細を見る度に自分の収入と助成金などで5万円以上の差があるのに不満、疑問があった)。障がいの有無を問わず公的機関の生活困窮者支援(主に貸付制度)が世帯があるだけ門前払いされて、今すぐに本当に支援が必要な個人(世帯の中の)にまで行き届いてない。精神疾患のグレーゾーンにあたる人たちが最低限の生活を保障されず苦しんでる現状を現場は知らなすぎる。(発達障がい)

手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護の費用を2万円程あげてほしいです（物価の増税についていけない為）。後、アパートに引っ越してきたのですが、引っ越し早々上の階で人が腐敗した状態で死んでいて、ハエがたかり、その下の部屋なのでそのハエの被害にあい、清掃費用がかなりかかったりに、市からの補填もないし、大家さんからの補填もないし、すべて実費となった為、生活の支払いが遅れてしまってます。こういう民事的なこと（警察やNPO及び訪問）を相談しても民事となるので、その処理をしっかりとできる事業の方がほしいです。（医療的ケア者） ・B型事業所を利用するだけでも、市役所の対応が余りにもお粗末で、随分な心労を負わされた。障害への配慮、以前の問題がある。こんな状態でも仕事があるだけありがたいが、支援として十分かと言われると肯定はできない。
-------	--

■サービス

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・B型の事業所業務内容を調査願います。何人もの利用者の人が障害福祉課に電話してます。（医療的ケア者） ・障害福祉サービスの更なる向上に期待しています。（知的障がい） ・障害者のショートステイが月に7日までしか使えないのは困る。老人さんは永く使えるのに障害者は7日までなのはなぜ？出来れば自宅で生活させてやりたいが、ショートが7日しか使えないと次はグループホームかしせつ入所となる。ハードルが高すぎる。（知的障がい） ・私の子どもは施設入所中です。特に問題すごしています。ただ、同じような障害をもつ在宅の方は、いろいろ悩みをお持ちです。グループホームに入っている、週末は自宅へ帰ることになっている。緊急時のショートステイがすぐに利用できないなど不便を感じているようです。（知的障がい、医療的ケア者） ・問14等からのやり方を理解するのに時間がかかりました。訪問入浴サービスの利用は、週2回、7月～9月は週3回となっていますが、季節関係なく一年中週3回となるように希望します。デイサービス等の職員の質の向上をお願いしたい。人数だけいけばいい事ではないです。（医療的ケア者） ・親切で思いやりのある方もいれば、冷たい視線、言葉、態度の方が多数。行政でかなり努力され、良い形になってきていると感じる事も多く有りますが、まだまだ皆が個性ととらえず、差別的な変な視線を向けられます。もっともっと大きく皆が同じ人間で平等である事を大きく指導、ピアールして欲しい。（知的障がい、発達障がい、医療的ケア者） ・A型事業所を増やしてほしい。今、件数が少なすぎる。 ・岐阜市は、書類が遅いので、もう少し早くしてほしい。
知的障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・行動援護の時間を増やして欲しいです。保護者が入院（病院）となった時、福祉制度を利用して預かりをして欲しいです。（発達障がい） ・サービスが少なく、利用しづらい制度がいくつかある。アユカ廃止に伴い他の交通系ICカードを使う必要があるが、TOICAは同伴者と一緒でないと今は購入出来ず、一人で岐阜バスに乗る方法が今現在よく分かっていない。早く一人で手間なく乗れるように対策を取って頂きたい。B型で働く時間を長くして頂き、賃金も沢山顶きたい。 ・生活介護の支給量を月の日数-8ではなく、通っている事業所が開所している日すべて通いたい。月～土をすべてカバーできる日数を支給して欲しい。市町により支給量が違うのはおかしい。通えない日を他のサービスでカバーして下さいと行政の方に言われたが、慣れない人、場ではパニックを起こすので、サービスを使う意味がなくなってくる。通い慣れた生活介護事業所に毎日通いたい。（発達障がい） ・グループホームで、利用者が安心して生活できるよう、環境整備、情報公開など積極的に行ってほしい。

知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害があっても地域の普通学級に通えるようにして欲しい（本人が学校と戦わなくても）。ハローワークでは求職する障害者にまじめに対応して欲しい。障害福祉サービスは悪質な業者があるので、行政のチェックを実効性のあるものにして欲しい。成年後見制度での裁判所の監督が形骸化し悪質な後見人、後見監督人が就任してしまうと、本人の保護ではなく、搾取になっている。制度を改めて欲しい。 ・生活介護などの利用をしています。職員さんたちには手の足りない中、良くしていただいていると思います。行政の方には事業所に対する指導ではなく支援をしてもらえると、良いのではないかと思います。また、利用する私共にも、このくらいの費用が出ていると認識しやすい明細書（いつも0円できますが、今月はいくらかかっているのが0円になってますみたいな・・・）になるとおたがい感謝し合えるのではないかと思います。（発達障がい） ・岐阜市における日中一時サービスの許容を緩和して提供できる事業所を増してほしい！現状、“絵に書いた餅”にすぎない、何年見すごすのか！支える家族は、満足に働きたくても働けない！9時～15時で行って帰ってくる障がい者がいては働けない！ ・療育手帳保持者でもデイサービスを受けられるようにしてほしい。（現在社会的な活動外出などが全くできず、コミュニケーションをとれる場所がないため、一日中空の中で生活し、孤独である！！）（医療的ケア者）
精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・A型のスタッフ職員の待遇の向上が、必要だと思えます。 ・精神障害をもつ母よりですが、今は福祉サービスが行き届いていてサービスを提供する側も利益につながることもあって、ヘルパーさんも優しく気使いされることはありがたい事ですが、あまりにもそれに頼りすぎる事が多々あることに疑問を感じます。やれば出来ることも利用しなきゃ損だと。これが介護保険のように一割負担なら頼まれないでしょうと思うことがあります。統合失調症という病気の人は薬や福祉サービスによって、自分で何もやろうと今まで出来ていたこともやろうとしなくなってしまうことに疑問を感じます。（発達障がい、医療的ケア者） ・様々なサポートが受けられて、今安心して日々過ごせるようになりました。現在お世話になっているB型作業所さんで『在宅』というやり方ができていて、そのお陰で1ヵ月ほほ休みなし（営業日は）で作業ができています。人が集まっている場に行く事が精神的に困難で、バスや作業所で苦しくなる事がある為、今後も『在宅』一人作業をOKとしてもらえると大変助かります。超短ワークも利用させてもらってますが、超短ワークと作業所が同日に利用できたらもう少し動きやすく、又お金もかせげるのになあと感じています。ただ、今こうやって外で少しでも働けることがうれしいので、本当に感謝しています。ありがとうございます。 ・精神障害者B型の職員のレベルが低い（事業所によっては）。福祉事業であることをしっかり考えていない人がほとんど。 ・通所の日数が23日固定であり、月によっては、土日通所もあり疲労がたまる。基本、月～金曜日におさまるようになると助かる。（指定難病） ・サービス管理責任者の質、事業所を取り仕切るトップの質を何とかしてほしい。自身にも非はあるが、それを加味しても追いつめる言葉や話しを聞いていなかったり、心ない言葉を言ったりで対応が最低で最悪だと言わざるを得ない。信用はゼロであり、今後、話したいとすら思わない。寄り添えない、理解しようともしないのであれば役職に就く必要性はない。正直、早急に何とかしてほしい。（医療的ケア者） ・障害福祉の支援者の知識や経験のなさから、傷つくことが多かった。いま通所しているB型の職員も精神の手帳を持っており、一緒ですよ！と仲間意識を出されたが、ピアサポートではないので、もう少し質の高い職員が増えるようなとりくみを考えてほしいです。 ・就労移行支援に通っていたとき、職員の人にいじめられました。利用者の人を見下し、言葉で傷付けてきます。心理的ストレスが貯まり、数ヶ月一睡もできなくなりました。行っているカリキュラムも毎回、同じ内容の繰り返しで、手抜きのように感じられました。他に助けてくれる人も居なくてつらかったです。他の事業所も含め、支援内容を見直すべきだと思います。（発達障がい）

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問 15-2 で答えたことですが、時々不正を行っていると思われるような A 型事業所があると思われます。規模が小さい事業所は、経営するのが困難で、外注の仕事をいかに得るか日々大変な苦勞しているのに対して、規模の大きい事業所は、できるだけ多くの利用者を詰め込むだけ詰め込んで加算だけで利益を得ている。やはり、規模の大きい 100 人以上を超えるような事業所は正しく運営されているか、公平性を保つため、定期的に第三者の監査を入れる必要があると思われる。(発達障がい, 医療的ケア者) ・ 生活訓練の利用期間が 2 年というのは短い。誰もが 2 年でリカバリーできる訳ではない。もっと長くすることを希望する。(医療的ケア者) ・ グループホームの方(世話人の人)の給与をあなたたちの給与ぐらいにしてあげてください。(医療的ケア者) ・ ヘルパーさんには、病院に入院している時、“通院時にも付き添いを・・・”とお願いしたのですが、その願いかなわず。もう少し、“融通”をきかせてもいいのでは？ ・ ヘルパーさんを探している所ですが、来て来れる人がなかなかみつからない。『駐車場がない』と来てくれる人がなかなかみつけれない。ヘルパーさんの給料が安いそうで、なりてがないそうだ。(医療的ケア者)
指定難病	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在利用している事業所のサビ管が理不尽な事を言い気分を悪くした事がある。あやまってはきたが、ふせんメモでメッセージのみとお菓子数個。また職員の数少なく利用者が呼んでもすぐ対応できず待っている事が多い。

■医療・健康

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労継続支援(A型)でうつという病気になりました。前はぜんぜんなかったのですが、仕事してなくてこれからの生活にこまっています(働けないから)。(発達障がい, 医療的ケア者)
	内部障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洞不全で 1 級の手帳を支給されていますが、治らない病気だとお医者の説明を聞きました。3 年に 1 度障害の確認(手帳の更新の為)の医者から診断書(証明)を提出しないとイケません。とうぜん診断も必要で費用がかかります。治らない病気に必要ないのではと思いますが、必要なら診断の証明の日にちを長くしてもらいたいです。今は 3 ヶ月以内の診断と言われ、年に 1 度は診断を受けているので治らない病気なので年 1 の診断で承認してもらえるようにして下さい。
知的障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・ 転換性障害や精神障害持っていて車イス等を使用したくても、自費で身体手帳も取れないから負担額がふえる一方。原因不明の身体の痛み等あって生活に支障きたすことの方が多し中手帳等は 2 級のままで、困っていても、どこに相談していいのかわからない。身体的要因がなかったら身体手帳や、車いす等は利用したらだめなのですか？(精神障がい, 発達障がい) ・ 発達障害、精神障害の困った症状について、医療機関で本人とは別で相談したくても、本人と一緒になので、全く相談しづらく、言いたい事が医師に伝えられません。介護者の気持ちを伝えられる、工夫をしていただけると、ありがたいです。(精神障がい, 発達障がい)
精神障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の障害は先天的なものではありません。家庭と学校でのストレスが元になり、発症しました。もし 1 人暮らしができていなければ、回復しなかったと思います。障害がある方を含め、自ら SOS も出せるとは限らないので、家庭環境を調査し、引き離したり指導を行なうのが回復や安定に繋がると思います。少数派だとは思いますが、よろしく願います。(医療的ケア者) ・ 精神科デイケアセンターに理解、協力をさせていただきたいです。 ・ 精神的な障がいは？！目に見えないですが？？その人に合ったライフスタイル！の実現も試みても良い様な気がします。生きづらさを快適な人生にする為には？？より個性的な生活も良いと思いますよ！

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪くないのに強制入院させられた。それも何年も。医者の特権が強すぎるのではないかとせめて入院するならば本人の準備をする時間があるのもよいのではないだろうか？本すら持ち込む時間もない。入院期間中にする事がなくて体調が悪化した。院内に娯楽やエアロバイク、卓球台ぐらい置いておいてもよいのではないかと。（発達障がい） ・今後、再入院した時など、ご協力していただきたいと思っています。（高次脳機能障がい， 医療的ケア者） ・高次脳機能障害者のリハビリセンター等が近くにほしい。（医療的ケア者） ・オープンダイアログをメンタルヘルスサービスに組み込んでほしい。精神疾患、自閉症等の回復に海外では主流である「ポリヴェーガル理論」の学習会を開いてほしい。治療者、患者とその家族に分かりやすく周知することで、症状に対する互いの理解を深めたい。そして、社会や治療者と患者の間にある分断を無くしてほしい。うつ病患者の自助グループを作ってほしい。依存症の自助グループはたくさんあるが、うつ病の自助グループは岐阜には無い。自身が体調不良になることが多いため主催者が必要だ。日本の精神医療は欧米に比べて何十年も遅れているという。欧米では治療の中心は薬物療法ではなく精神療法へと変化している。精神療法での治療は医療機関でのカウンセリングのようなものと合わせて、地域で行われる支援が中心となる。それが、オープンダイアログであったり、自助グループであったり、患者やその家族が学ぶための学習会や講座のようなもの、デイサービスや訪問看護、グループホームや就労支援など既にあるものも含めた地域社会でのケアになる。精神病院をなくしたイタリアや、オープンダイアログ発祥のフィンランドを視察するなどして、その手法を日本に導入することを検討してほしい。（医療的ケア者）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病です。カウンセリングも補助の対象としてほしい。（発達障がい）

■就労・就学等

区 分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・B型の工賃が低いので携帯電話代と生命保険で消える。市からの補助額があるのに1割もいただけない。最低賃金も関係なし、何に使っているのかわからないくらい。何故か経営者がもうけているように感じる。今週はまともな弁当でしたが、かたくてかみ切れない肉があり本当に困ります。他に仕事はないと言われて本当に困ります。（指定難病）
	内部障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型で働いていますが、賃金が安すぎる。不満があり事業所をかわりたくても、相談員は何のアドバイスもくれなく他の事業所が少ないので、良いと思って入所出来なかったりグループホームも入れない。（知的障がい， 発達障がい， 医療的ケア者）
知的障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援A型は、仕事があることで幸せです。今の会社は、私でちょうどいいこと。就労継続支援A型にも旅行に行ったりボーナス有りいなあ。（精神障がい， 高次脳機能障がい， 医療的ケア者） ・就労継続支援B型ですが、賃金が安い（昇給が無い）。事業所職員の昇給は有るのに！！（医療的ケア者） ・B型に行っていました。そこでのストレスで体調をくずし、まともに行けなくなり7年、そこを辞めて、4年たちます。ずっと家で面倒をみています。相談員がついていましたが、施設内の改善もしてくれず、1ヶ月も休んでいるのにどうですか？の一言もなく今まで何か対応してくれた訳でもなく、半年ごとのモニタリングだけ連絡してきて書類作って報酬をもらっているという感じでした。（最近変わってもらいました。）モニタリング報告書は行政は目を通さないんですね？うちのようにどこへも通えなくて孤立していてもそんなこと知らないんですね。せめて相談員から問題のある家庭があるか、うちみたいにどこへも行けてない人はいないかヒアリングくらいしてください。書類の作成や管理だけが仕事なんですか？私はいつまで息子の世話をして自分を犠牲にしなければいけないのですか？そもそもこれを読んでいるのか疑問ですけど……。なんとかしてほしい。

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、政府の方針で就労継続支援の施設（A型、B型問わず）に対する規定や補助が厳しくなっています。自分が利用している施設もやりくりが、とても大変で利用者の給料を捻出するために、より作業が高速、高レベル化を求められて、正直どこまでついてゆけるかわかりません。もう少し、障がい者により添った行政としていただきたく思います。（発達障がい） ・精神障害ですが、仕事先の寮が借りれなくて困ってます。自立したいです。（指定難病、医療的ケア者） ・就労継続支援B型事業所を利用させていただき、得られるものが沢山ありましたので感謝しています。 ・B型の賃金が安いのであげてほしい（時給 250 円）。（同一回答 2 件）（発達障がい、高次脳機能障がい、医療的ケア者） ・今現在、一般就労を目指して、就労移行支援施設に通っています。職員の方は皆親切に対応してくれています。一方で企業側の障害者雇用への理解や対応スピードなどはまだまだだと感じる事が多いです。市に対しては企業に対しての障害者雇用の理解と推進にもっと力を入れていただければ、障害者の社会進出が楽になると思います。（医療的ケア者） ・就労した障害者に対する支援が少ない。トラブルとなった時（企業側有責）特に支援不足を感じる。障害者差別解消法、労基法の厳格適応、労基署や障害者の支援職員の人員権限拡充。合理的配慮をしない事への厳罰化は必須と考える。（発達障がい、医療的ケア者） ・障害者でA型、B型作業所へ行っても最低賃金が必要。電車運賃を下げてほしい。（医療的ケア者） ・B型の賃金が少なすぎて自立には繋がらない。一般の給料が上がっているにも関わらず、少なすぎるのでは・・・。障害者に対して配慮がなさすぎる。相手の立場になって考えて欲しい。色々な手続きも面倒すぎる。（医療的ケア者） ・創作活動を自宅でも行えるようにAdobeクリエイティブクラウドとLive 2dを無料で使えるようにしてほしい。B型事業所に週5で通っても全然時間が足りない。（医療的ケア者） ・問 27 で「1 ある」と答えました。精神障害と申し出て就労する場合に、以前働いていたA型事業所で、差別や嫌な思いをしました。福祉を学んだ専門の方がいないと、対応できないことも理解もできない状況があり、サービス管理責任者は対応できない人でした。障害者ということを提示しても、特化している施設では安心して働けましたが、残酷な人や対応のある場所もあり、その場合は泣き寝入り、他の方も同じ思いで辞めているように見受けられました。私の場合は、信頼する医師と相談員が味方してくださり救われました。（医療的ケア者） ・A型事業所を増やしてほしいです。
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者支援もそうだが、見放された氷河期世代が正社員として就業できるようにもっと支援してほしい。（発達障がい）
高次脳機能障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者となり、はじめて受けた支援が介護サービスだった。お金をコツコツためている。介護施設に入るためにB型で頑張っている。

■外出・活動

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・現在外出時に思う事は、スマホ等があたりまえ、音楽等を聞く為のイヤホン等している方が多く、こちらが注意していないと歩く時や、乗り物に乗っていても歩行しにくい場面が増えてきたと感じます。やさしい方もいるが、人に気付くとか無感心な人が増えたのかと思う事がある。コロナ禍で学生生活や人との距離感等も変化があったのかもと思う。色々な面で福祉支援がある事には感謝しています。（医療的ケア者） ・タクシーチケットの枚数を増やしてほしい。（医療的ケア者） ・バスの態度が悪く、案内も悪い。（無言の運転手がいる）職場での理解が充分でないため嫌な想いがある。障害福祉課の態度悪い。質問に対して異なる指導。障害者になって5年、周りの理解が薄い。

	<p>肢体不自由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身障用の駐車場、横が広いところがありますが、車のうしろから車イスを出したり、後ろから乗り降りするタイプの車に対応しているところはありません。高齢者もそういう車を利用している人が多いと思います。何とかしてほしいです。(知的障がい, 発達障がい) ・自宅に訪看、訪介、訪リハさんが来る際、自宅の駐車場だけでは全ての車を停めることができないので、1～2時間で帰られる方達は家の前に停めてもらったり、徒歩1分の堤防沿い(駐車禁止の場所ではない)に停めてもらっている。20年以上同じ所に住んでいて経験がなかったが、「邪魔だから」という理由で警察に何度も通報された。(これからもあるかもしれない。)こちらの事情を汲んでくれない近所の誰かの対応に憤ってる。こういうケースが起こらないようにしたい。行政さん助けて下さい。(医療的ケア者) ・障がい者専用駐車場罰金制度を案に入れてほしいです。(医療的ケア者) ・バスや電車の移動は進んでいるが、歩道のアスファルトがガタガタで車イスではあぶない。(同一回答3件)(医療的ケア者) ・都通りにある保健所の建物について、隣接されている駐車場の整備がなされておらず障がいある人への配慮がなされていません。老朽化はしかたがないにしても「使い方」はもっと工夫できるのではないのでしょうか。身障者用スペースにちょい置きされる方、明らかに保健所職員を送迎しただけの同じく職員の方、駐車場が閉じられた造りなだけに中で待つのも又、外へ出るのも本当に難しいです。保健所を訪れる方々に対し、隣接ではなく近隣の駐車場を事前に知らせるなど配慮できることはいくらでもあります。(知的障がい, 発達障がい, 医療的ケア者) ・バリアフリーのトイレは増えたけど、ユニバーサルシートがないので、利用できません。エレベーターの設置は増えて、助かっていますが、遠回りだったり、わかりにくかったりが多いです。バスでの移動(バス停にスペースがなかったり、ドライバーさんが不慣れだったりします。)が、しずらいので、ヘルパーさんと遊びに行けません。タクシーも高いので使えません。移動支援で現地集合できないので、困ります。移動費も考えると使えません。まだ、沢山要望あります。(知的障がい, 指定難病, 発達障がい, 医療的ケア者)
	<p>知的障がい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーを増加させてほしい(公園など)。(指定難病, 医療的ケア者) ・交通機関障がい者割びきが今後どうなるのか。(発達障がい) ・障がいのある人(大人)の余暇活動の場所が少ないと思います。個人やグループで利用出来るところがあると助ります。現在アユカを利用して一人で割引利用出来ているのですが、アユカからマナカに移行すると一回づつ手帳を見せないと割引が利用出来なくなり一人で外出が困難になるので対応をしてほしいです。(発達障がい) ・現在、GHにいらっしゃいますが、岐阜市役所様との契約がない事業所が多く移動支援が使えず困っています。岐阜市以外の移動支援事業所も使えるようにしてほしいです。
	<p>精神障がい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜バスのアユカが廃止になると同時に、障害者用名前入りカードも廃止され、以後はいちいち手帳を見せるという必要があります。大変苦痛に思っています。行政で何とかならないですか。(発達障がい, 医療的ケア者) ・今年の4月からJRも条件ありであるが、精神手帳の割引が受けれるようになり、大変助かっています。その他いろいろとサービスが受けれる状態となっており毎度助けられています。また、タクシーや鉄道利用の際に手帳の提示を求められることが少なくなり、ありがたく感じます。手帳はできれば見せたくないものなので……。いつもありがとうございます。(発達障がい) ・市内のバス代など簡単にしてほしい。アプリなどを利用してほしい。(発達障がい)
	<p>指定難病</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は困る(健常者や高齢者が止めているので車イスを下す事も出来ない)。一般駐車場に止めるより仕方ない。おもいやり駐車場利用証も利用する事が出来ない。(高次脳機能障がい, 医療的ケア者)

■防災・安全

区 分	記載内容
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針により、入所施設等は作らず、グループホームなど地域の中で障害のある人も生きていく方向だと聞いています。ただ自分の子どもは障害も重く、1人で過ごすことのできる時間はなく、24時間必ず誰か（家族、ヘルパー、事業所職員等）がそばにいないことが必要です。そんな子どもはグループホームでの生活も難しいのではないかと考えています。親亡き後、安心して預けられる設備や職員のしっかりした入所施設が岐阜市にあれば親としても安心ですが、現状、岐阜市の中にはそういった施設が十分ではないように思います。国の方針はわかりますが、ぜひ、入所施設の新設を考えていただきたいです。また、大規模災害時に障害のある子どもと避難所に他の方々と避難することもおそらく難しいと感じています（1か所に落ち着いてじっとしてられない、眠りが不安定、大きな声をあげることがある、他の人をひっぱったりするなど）。ダンボールで囲ったぐらいでは、集団の中に入れられない子ども（障害のある子ども）はどう避難したらよいか不安でたまりません。どんな配慮を行政として考えて下さっているのかをぜひ、十分周知していただきたいです。（発達障がい） ・重度知的障害（自閉症）の母親です。災害時に避難所で障害者用の場所（部屋）の確保はあるのでしょうか？とても心配です。（発達障がい）

■情報・相談

区 分	記載内容	
身体障がい	視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉はわかりやすく教えて・・・説明を細かく。
	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・問14～問17までが、分かりにくかったので回答に困りました。（医療的ケア者） ・アンケート内容の質問が難しすぎではないか？本人が答えられるような言葉の選び方や表現とは思えない。例）などを用いて頭に描きやすくして欲しい。私が死んだ後、このアンケートの返答は困難と思う。 ・今回のアンケートは利用したことのあるサービスについての意見を求めるものでしたが、なぜ利用しないのか、又、できないのかの理由を聞いてもいいのでは・・・と思いました。現在、福祉の現場では人手不足で充実したものを提供したいと思っている施設ができない状況です。（知的障がい、発達障がい） ・問15以降の質問内容が理解できない箇所が多い。例題などでわかりやすくしてほしい。（知的障がい） ・小学生でもわかるようにかいて下さい。（知的障がい） ・設問や選択肢が在宅を想定されていたり、その他がない等非常に回答しにくい調査でした。問14-3、4あたりは行政がどのような対応をしているかわからない立場の利用者に尋ねても意味はなく、問いを立てた者の意図を感じます。対象をしぼった調査を行わなければ無意味だと思いました。（高次脳機能障がい、医療的ケア者） ・問14からの答の3番、今後3年以内は近い将来すぎて答えにくい。「将来利用したいか」くらいでも良いのではないかと？実際、3年以内には絶対利用したくはないが、遠い将来には利用したい。と思う問いはあったため。（指定難病）

<p>身体障がい</p>	<p>内部障がい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送された調査票に「障がい福祉課」と大きな印字に配りよされていない。アンケートの内容の理解がむずかしい。安心して生活できる支援を理解して頂けるとうれしいです。(指定難病, 医療的ケア者) ・ 障害者は当人がいちばん辛い、やはり家族もとても大変だと思う。施設などでは“プロ”に任せれるが家族側が思うことはそれぞれだと思うので、家族会とか家族会報とかもっと広報的に情報や相談システムなどが、数多くあればいいと思う。ご苦労様です。よろしくお願いします。(精神障がい, 高次脳機能障がい) ・ バーコードなどで、特定しないで下さい。ふうとうの下をけします。 ・ スマホアプリ、ミライロを登録したのですが、使いみちが少ないのが残念です。はやくマイナンバーカードですべてが管理できるようにしてほしいです。(知的障がい, 精神障がい, 発達障がい, 高次脳機能障がい)
<p>知的障がい</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人は何もわからないので介護者の意見を聞いてほしい。(発達障がい) ・ 障害者にきくには少し質問の内容が難しすぎました。(同一回答9件)(発達障がい, 医療的ケア者) ・ 施設からの一方的な通知等に対し、市役所等公の機関が間に入ってほしい。現状、施設の言われるがままに従うしかありません。行動援護をつけてもらいましたが対応している事業所が人手不足で利用できません。(発達障がい, 医療的ケア者) ・ どこに行ってもわかりづらいしゃべりかたが多い。とくにいろいろなてつづきがややこしい。(発達障がい, 医療的ケア者) ・ 本人が裁判所に行けないので、後見人制度の見直しをしてほしいです。(発達障がい) ・ 障がい者の家族として答えましたが、質問がむずかしくわかりにくいと思いました。知的障がいのある方は特に分かりづらいのではないのでしょうか。ひらがなをふってありますが文章も分かりやすくした方が良いと思いました。(発達障がい) ・ 市役所は受給者証更新の度に来所するようというが、来所が困難な場合、電話とかメールとかでできないのか?! わざわざ出向く意味がわからない。障がい福祉課の中に上から目線の人がいる。(発達障がい)
<p>精神障がい</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ しくみがわかりづらい。もっとわかりやすいしくみにしてほしい。 ・ 今回のアンケートの中で、一部答えづらいものがありました。(問14、15、16、17)(枝番含む)。どのような選択肢があるか何度も詳しく書いていただくと助かります。(同一回答3件)(指定難病, 発達障がい) ・ 無料でできる施設の情報提供が欲しい。 ・ 証の更新とかまとめてやりたい。何度も行くのはめんどろ。 ・ 中央図書館でどこのこと? メディコス? 駅の中のか?? (発達障がい) ・ 行政の対応が遅い。(特に更新手続き等に時間が掛かり過ぎる)文化芸術活動に関する催事を行うにあたり、広報に力を入れてほしい。X(旧Twitter)やInstagramでの積極的な広報(週1回は最低)が無い為、催しがあっても気付けない。若年層でFacebookを利用している人はまずいない。時代に合わせてSNSを積極的に取り入れてほしい。アカウントも見つけづらい。人手が足りていない事は重々承知しているが、支援事業所からの連絡や支援が少ないように感じる。サービスに登録しているにも関わらず、社会からの孤立を感じる。(医療的ケア者)

■差別・理解

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・問 14-1 など回答仕づらい。障害者の人でも分かりやすいアンケートを作ることも、配慮すべきことではないか。(知的障がい)
	言語障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の一人一人によって対応は大変な事も多いと思います。スタッフの方(利用施設)は、一人の人間として寄りそって頂きたい。障がい者の方を下に見るような、心ない言動はやめてほしい。気長に聞く事を心がけてほしいです。主人は言語障がい、脳障がいが残りました。2才児位の知能になりました。通院の頃副婦長さんが、ご主人は子供になってますが、言葉使いなどは今までと変わらず大人として接して下さい。大変難しい事ですが・・・と言われた事を、29年間心において、介護生活をしています。それは、主人の病気を通して、教えてもらった事への感謝からです。行政の窓口の方も事務的ではなくよりそってほしい。(精神障がい, 医療的ケア者)
	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者への理解は年々良くなっているとは感じています。これからもこの方面の教育が日本は必要だと思います。(知的障がい, 医療的ケア者) ・お酒を少々たしなみますが、その時に店員さんに驚かれますので不安に思います。安心してお酒が飲みたいです。(飲食店)
知的障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対する理解が深まることを願います。(発達障がい) ・重度の知的、自閉障害です。高齢の職員の方から市営駐車場の入口で「すみません、療育手帳を忘れました」と母親の私が告げたところ(もちろんサービスは受けられないと思っていました)「ええわ、ええわ、顔見りや分かる」と息子を見て言われました。また、旧市役所の建物で、1Fの総合受付で若い女子職員さんに「療育手帳の更新のことで来ました」と言うと、「療育手帳って何ですか?」とまさかの返事。30年前のことですが、口のきき方、人への接し方、現場の職員にまで行き届かせて下さい。(発達障がい, 医療的ケア者) ・身体障害の場合は外見で判断してやさしい方も中にはいるが、精神障害の場合は外見からおかしいのでジロジロ見られるだけでこわがって寄って来ない場合が多い。出来そうで出来ない事が多いので判断しにくいのかも知れませんが。(発達障がい) ・うちの息子は知的障害でヘルプマークをつけてます。近所の80代の人から、「あんたん家の子は、若いのになんで、ヘルプマークをつけとるんや!!」私は、「障害があるから、念のためにつけている」とつたえました。その人は、ヘルプマークは、身体障害のとしよりがつけるものだと思っているようで、納得してもらえませんでした。ヘルプマークの認知度をあげて下さい!!(発達障がい) ・学生の時に、先生から差別をされていたと思います。個人懇談の時、「何にも、できんから、B1や!!うちの学校には、B1はそんなに、いない!!」とののしられました。つらかったです。本人は、何もいわずに毎日通っていましたが、つらかったらうと思います。(発達障がい) ・保健所で以前に障害で差別を受けたことがありとても悲しい思いをして泣いてしまったことがありました。まだまだ、理解されない現状は多くあると思います。以前の市役所の障害福祉課は対応が悪いことが多かったが、最近は少しましになりましたがまだまだ対応は上から目線が多くとても悲しいです。(発達障がい) 	

精神障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプマークを付けているのだが（解離と起立性のため）、症状が起きた時にヘルプマークを見て声を掛けてくれる方とくれない方の差が激しいと感じる。また、起立性のほうで長時間立ってられないため、優先席に座らせていただいた時の目が冷たい人がたまにいたのでヘルプマークユーザーの人にも優しい生活になってほしいと思った。（発達障がい） ・バスをおりる時に手帳を出す時周囲の目が気になる。 ・うつ病で精神手帖3級なのですが、まわりの理解があまりなく、「何ともないのに・・・。」と思われがちです。現在、A型で働き、障害年金の受給もある為、何とか生活できてますが、この先、不安でたまりません。（医療的ケア者）
手帳未所持	<ul style="list-style-type: none"> ・精神的に患っているため自治会入会をお断りしているのに近所の方が自治会長さんになったとたん入ってないから・・・と無視、さけるなどされる・・・ゴミもその人が越してくる前から、となりの人に協力してもらって別に出してるのに・・・自治会入ってないだけでそこまでされるとうつがひどくなり今とても生きづらいです。（医療的ケア者）

■その他・全般

区 分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートを集計をして、どれだけ、障害者の役に立つのですか？福祉サービス受給者証を申請して2か月たつのにまだ来ないのはなぜですか？（医療的ケア者）
	肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者だから家族と別れて生きていかなければならない人生は辛いと思います。生きる意味はあるのでしょうか。（高次脳機能障がい，医療的ケア者）
知的障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、家と作業所しか居場所がなく、できれば趣味で集まれる機会が欲しいです。（趣味が似ている人などと。）（発達障がい，医療的ケア者） ・このようなアンケートで意見を聞いていただきありがとうございます。障害と一口に言いましてもあまりに範囲が広く私共のように（精薄）、本人が意志表示ができない立場のアンケートもよろしく願い致します。（不安がとても強いです。どうしていいかわからないことや、ただ漠然とした不安も・・・）〈肢体不自由の方のように見た目で見える場合や精神のように意志表示できる場合と比べ〉（医療的ケア者）
精神障がい		<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市のアンケートの集計分析を他県の業者さんに依頼は、雇用的にどうなのだろう？行政ならではあるあるで興味深い。市税の使い方を考えて欲しい。もっとも岐阜市内には業者がないのかもしれないが。（高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・障害者への支援が少ない。すべてにおいて。（発達障がい） ・沢山いらっしゃる障がい者（児）様の中からランダムとはいえ、私を選んでいただきありがとうございます。十人十色なのでムズかしいとは思いますが、全ての人がより暮らしやすい地域になりますようによろしくお願いいたします。（発達障がい） ・このアンケートで何か改善されるのか？ ・文字を書くのが辛いのでインターネットで回答できるようにしてほしい。障がい者の友達や彼女を作ったりする交流の場を行政主導で実施してほしい。障がいでも生き辛くとも仲間がいれば勇気付けられる。（発達障がい，医療的ケア者）